

ファイル比較&ファイル抽出&バイナリダンプ

開発者支援システム

【DAS】

【ファイル操作支援】

第 46 版

作 成 者	塩野 富教
作 成 日	平成29年02月20日
最終更新日	令和7年12月10日
バージョン	DAS Ver.1.46

目次

開発者支援システム	1
【DAS】	1
目次	2
1. 概要	3
1.1 システム概要	3
1.2 システム動作順概要	6
1.3 チュートリアル	7
2. 操作	31
2.1 起動	31
2.2 画面の操作	32
3. 定義	74
3.1 初期値ファイル (DAS.ini) の定義	74
3.2 ソースステップ数カウント対象定義ファイル (DAS_TextStepDef.ini) の定義	76
3.3 検索文字列定義ファイル (任意.txt) の定義	76
3.4 コメント文字列定義ファイル (任意.txt) の定義	76
3.5 一括バイナリダンプ定義ファイル (一括バイナリダンプ定義.csv) の定義	77
3.6 一括バイナリダンプ定義ファイル作成 (一括バイナリダンプ定義.xls) の定義	78
3.7 空フォルダ削除コマンド (DeleteEmptyDirectory.bat)	79
3.8 修正コメント CSV ファイル (****-修正コメント.csv)	80
3.9 修正コメントマージマクロシートファイル (修正コメントマージマクロシート (原本).xlsm)	81
4. ファイル／フォルダ構成	82
4.1 フォルダ構成	82
4.2 ファイル構成	83
5. インストール方法	84
5.1 インストール概要	84
5.2 アンインストール概要	87
6. 困った時の対処方法	88

1. 概要

1.1 システム概要

開発者支援システム(以降、DAS と略す)は、ファイル操作を支援するツールです。

指定したフォルダのファイルリストを作成(指定した拡張子のみをリストアップもできます)【ファイル情報作成】し、リストアップしたファイルを指定したフォルダに抽出してコピーしたり【ファイル抽出コピー】、リストアップしたファイルの比較やバイナリダンプを行うことができます。

ファイルの比較は、フリーソフト(DF、windiff、diff(*1))により実現しています。また、**差分比較ツール(外部ツール)を組み込んで使用することもできます。**

本ツールは、比較モード、リストモードの2つのモードで使用できます。

使用できる機能の概要を下記に示します。

(1) 【比較モード】

- ① 指定したフォルダとフォルダのファイルをフィルタ選択に指定した条件に従い行い、リストアップしファイルリストに表示します。
このことにより、フォルダの階層を意識することなく、ファイルを参照できます。
- ② ① で作成したファイルリストのファイルを抽出して、必要なファイルだけを指定したフォルダに格納することができます。
- ③ ① で作成したファイルリストのファイルを選択し、差分比較ツール(外部ツール)を指定して、指定したファイルの差分情報を表示させることができます。

※ **ファイル比較のアプリ(外部アプリ)を組み込んで使用することができます。**

SendToDiff フォルダにショートカットを登録することで実現します。

ファイルリストの右クリックメニューで指定できます。

格納先フォルダは、4.1 フォルダ構成を参照ください。

(2) 【リストモード】

- ① 指定したフォルダのファイルをフィルタ選択に指定した条件に従い、リストアップしファイルリストに表示します。
このことにより、フォルダの階層を意識することなく、ファイルを参照できます。
- ② ① で作成したファイルリストのファイルを抽出して、必要なファイルだけを指定したフォルダに格納することができます。
- ③ ① で作成したファイルリストのファイルを選択し、表示ツール(Windows の既定のアプリ)に従い、ファイルを表示させることができます。

※ **ファイルを開くためのアプリ(外部アプリ)を組み込んで使用することもできます。**

SendTo フォルダにショートカットを登録することで実現します。

ファイルリストの右クリックメニューで指定できます。

格納先フォルダは、4.1 フォルダ構成を参照ください。

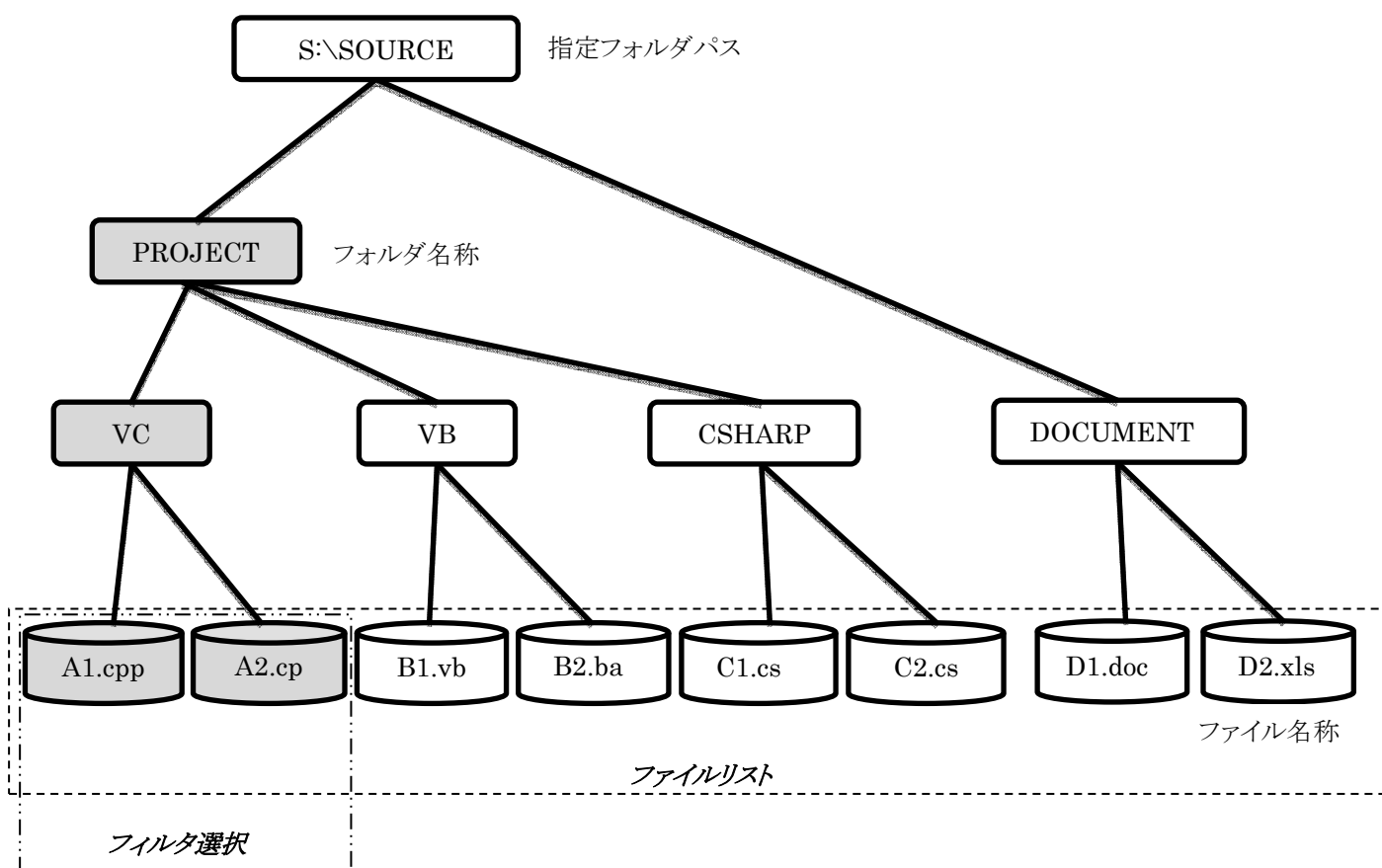
(※1) フリーソフトの入手先は、「4.1 フォルダ構成」に記載しています。

(3) 【ファイル情報作成とは】

ファイル情報作成とは、指定したフォルダ下に存在するファイルの情報を**ファイルリスト**として作成することです。

作成した**ファイルリスト**の表示をフィルタ対象の拡張子、固定ファイル名称、および、フィルタ対象外の拡張子、固定フォルダ名称を指定して、フィルタリング表示できます。

- ① **フィルタ選択**で、「全てのファイル」を指定し、指定フォルダパス下のすべてのファイルをリストアップします。
下図の場合、A1.cpp,A2.cpp,B1.vb,B2.bas,C1.cs,C2.cs,D1.docx,D2.xlsx ファイルがファイルリストに表示されます。
- ② **フィルタ選択**で、「Visual C++」に関する拡張子(cpp)を指定し、特定の情報を指定フォルダパスからリストアップします。
下図の場合、A1.cpp,A2.cpp ファイルがファイルリストに表示されます。



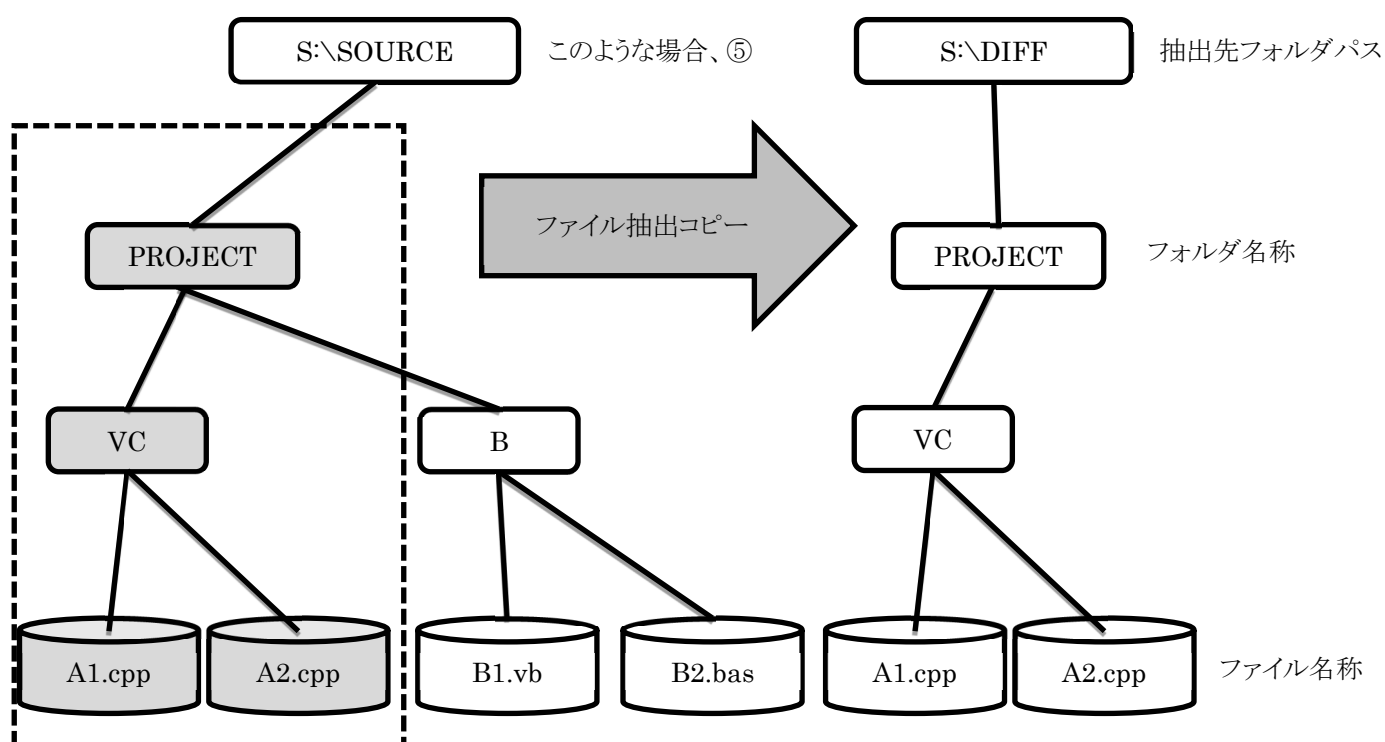
(4) 【ファイル抽出コピーとは】

操作画面のファイル情報作成操作により指定フォルダパス下のファイルを指定フィルタに従ってファイルリストに表示します。

ファイル抽出コピーは、ファイルリスト、またはファイルリストから選択した選択ファイルを指定のフォルダにコピーすることができます。

ファイル抽出コピーには、2つの種類があります。

- ① ファイルリストに表示されているファイルをすべてファイルリスト抽出コピーする。
- ② ファイルリストのファイルをマウス選択して選択ファイルのみ抽出コピーする。



<比較モードの場合のファイル抽出 ～ 差分を抽出>

比較フォルダ1 (OLD)、比較フォルダ2 (NEW) 下の比較対象ファイル／比較対象フォルダを抽出コピーします。

「2. 2. 3 メニューとツールバー」の「ユーティリティ」メニュー【比較モード】の「ファイルリスト抽出コピー(C)」、または、ポップアップメニュー【比較モード】の「ファイルリスト抽出コピー」により実現します。

<リストモードの場合のファイル抽出 ～ ファイルを抽出>

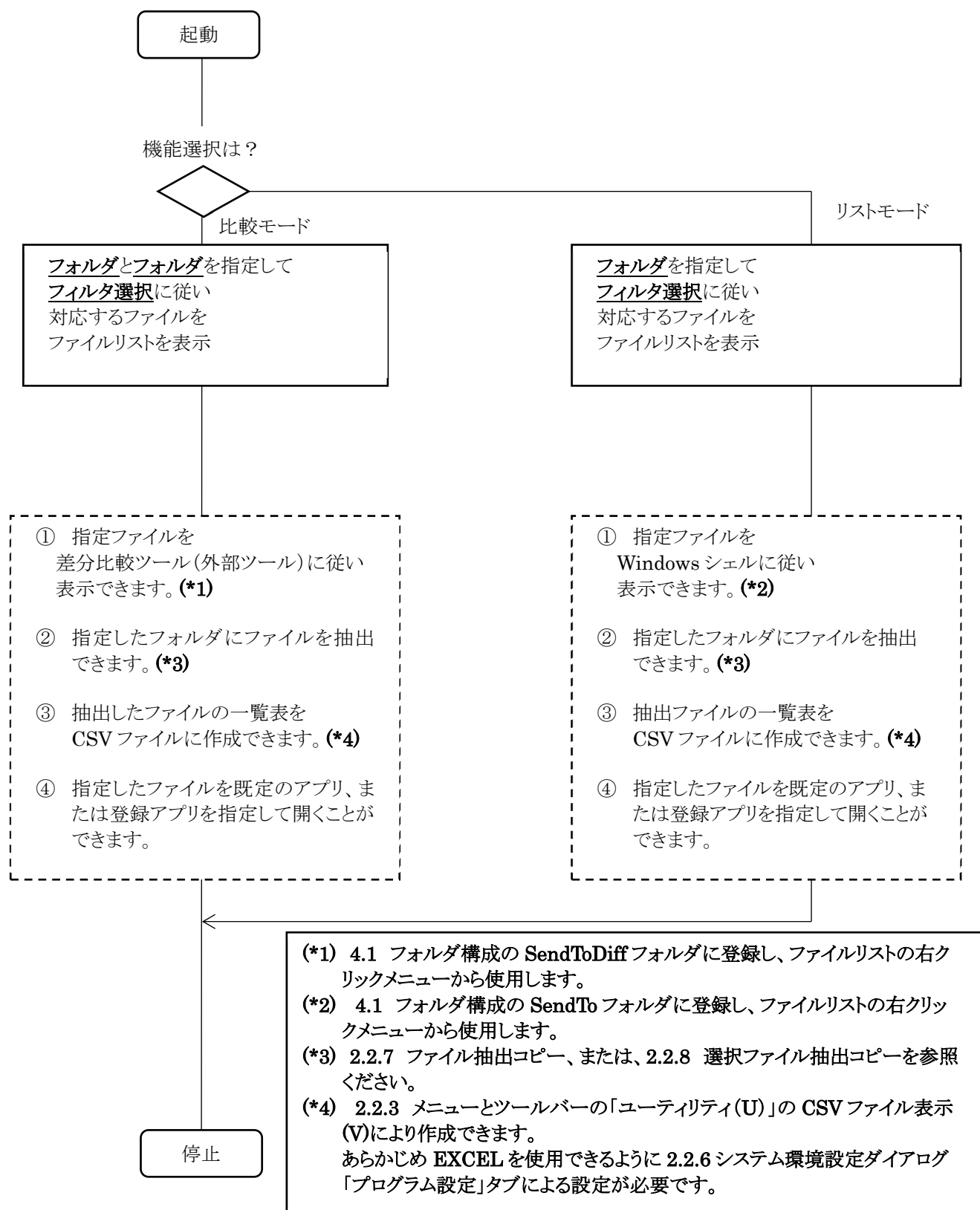
抽出フォルダ (NEW) にリスト作成フォルダ (OLD) のファイルリストからコピーします。

「2. 2. 3 メニューとツールバー」のポップアップメニュー【リストモード】の「選択ファイル (OLD) を抽出フォルダ (NEW) にコピー」により実現します。

1.2 システム動作順概要

DAS 起動後の動作順概要を下図に示す。

操作の概要については、1.3 チュートリアルを参照してください。



1.3 チュートリアル

チュートリアルで基本操作を学んでください。

1.3.1 比較モードを使用する

DAS を起動します。

(1) 機能選択＝比較モードとフィルタを選択後、フォルダの指定をして実行

① 比較モードを選択します。

② フィルタを選択します。

③ ドラッグ&ドロップでフォルダパスを指定します。

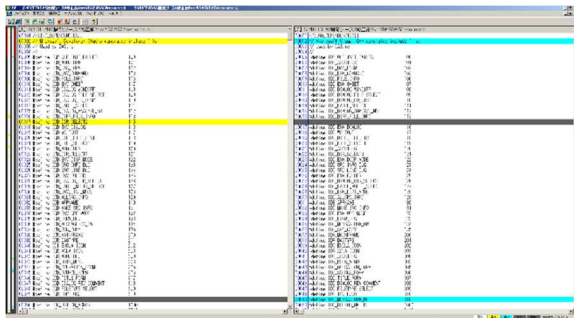
④ 「ファイル情報作成実行」 紐クリックして比較リストを作成、表示します。

(2) 比較フォルダ1と比較フォルダ2の比較リストからのダブルクリック表示操作

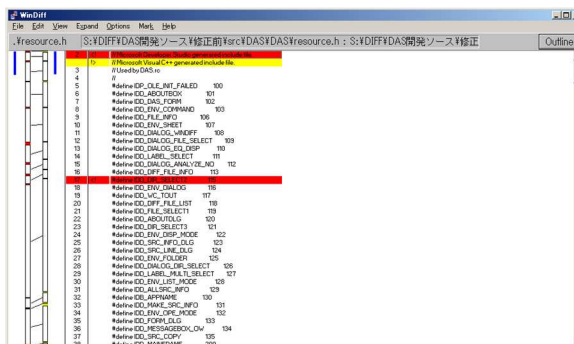
① ファイルを選択し、ダブルクリックすると操作選択コンボボックスで選んだ機能を実行します。

(3) 選択した操作による表示

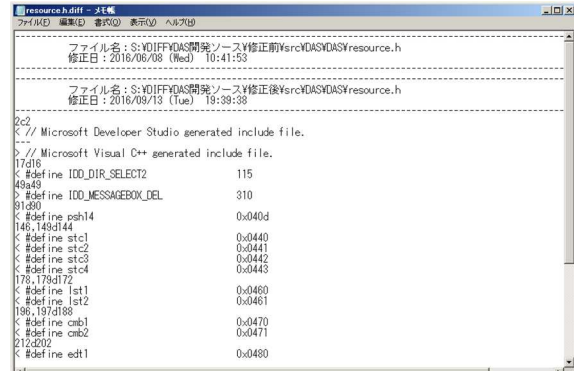
DF 表示



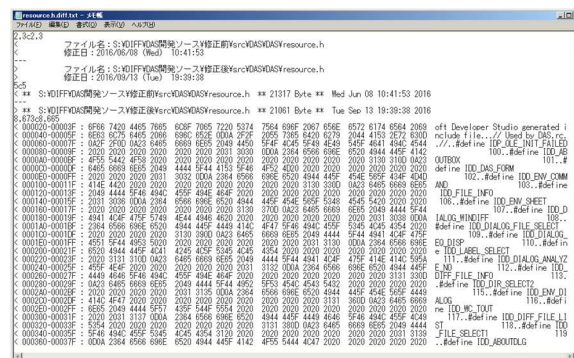
windiff 表示



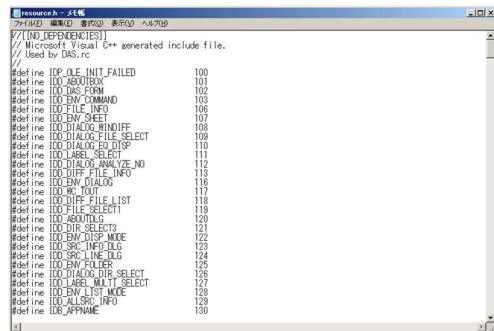
diff 表示



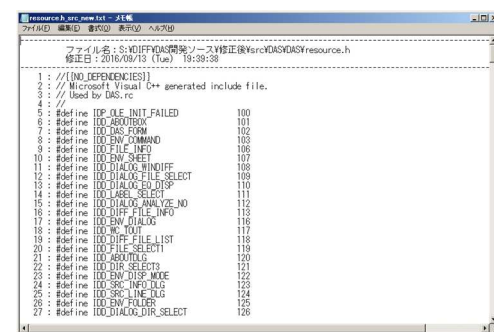
バイナリダンプ diff 表示



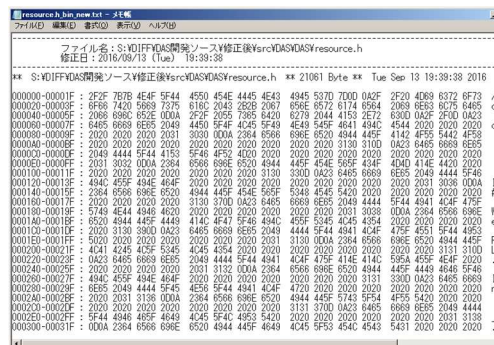
テキストファイル表示(NEW, OLD)



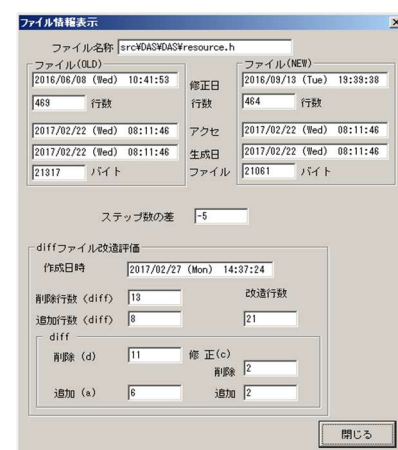
行番号付テキストファイル表示(NEW, OLD)



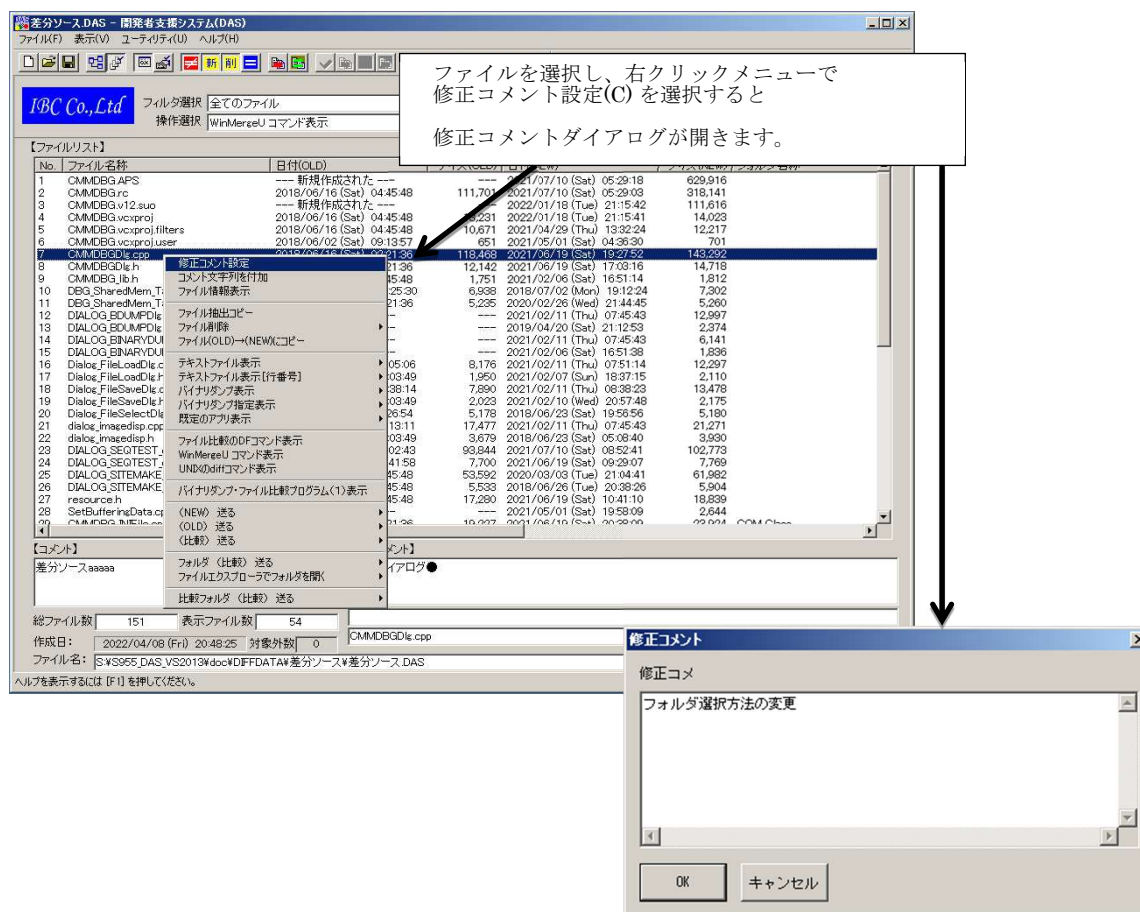
バイナリダンプ表示(NEW, OLD)



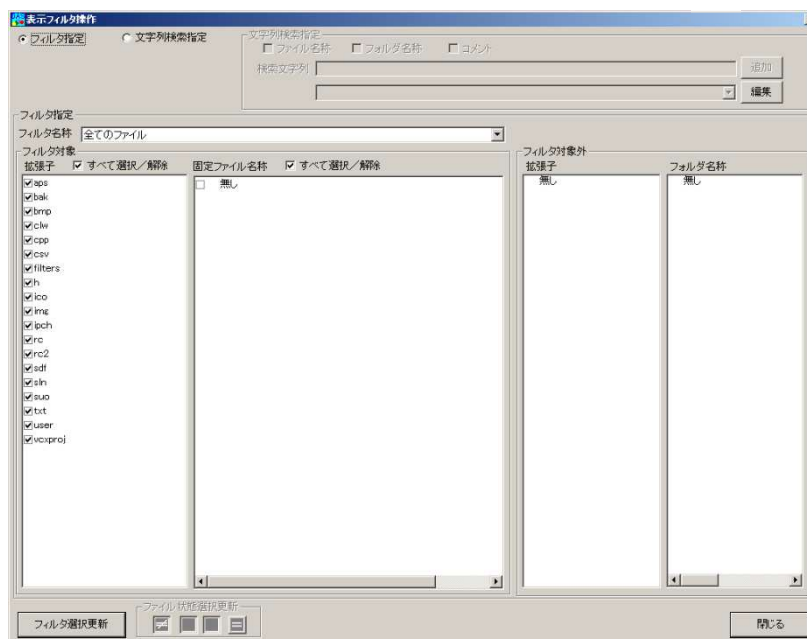
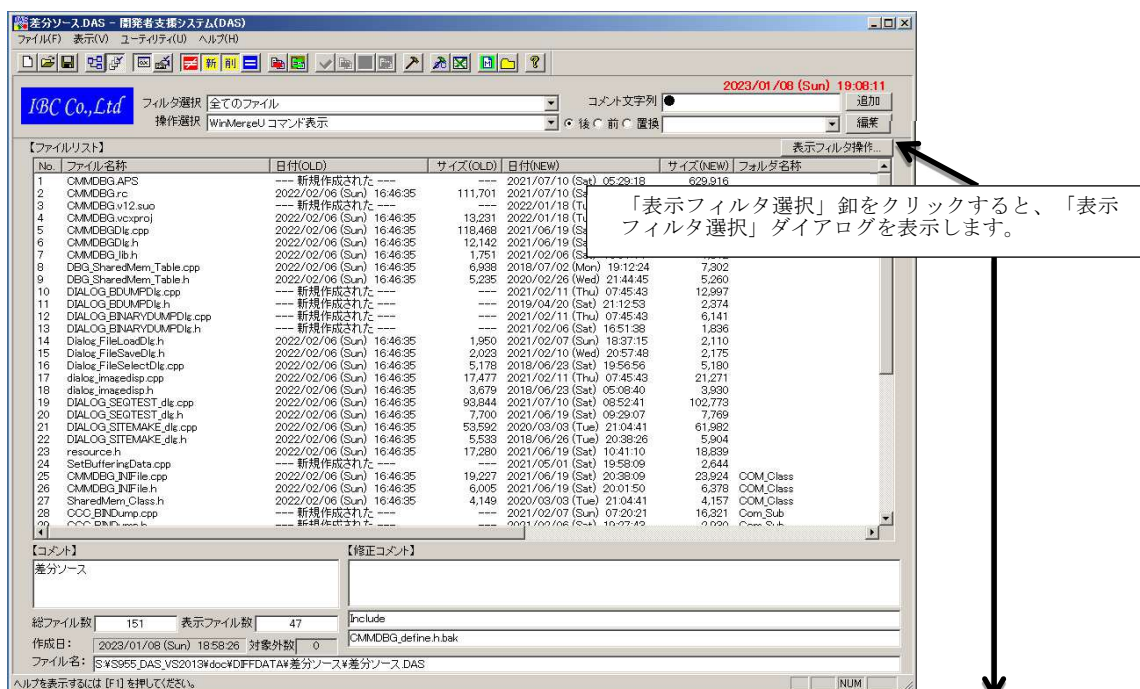
ファイル情報表示



(5) ファイルに対するコメント入力操作



(6) 「表示フィルタ操作…」鉤によるファイルリストの絞り込み



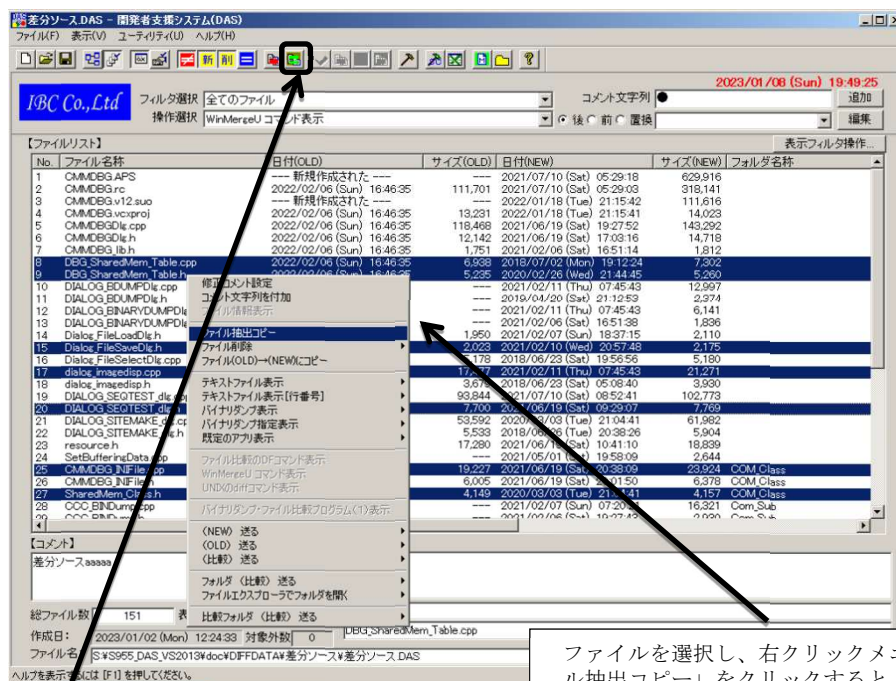
「ファイル情報作成実行」を実行すると、指定した比較フォルダ下に存在する拡張子、および拡張子のない固定ファイル名称がリスト表示されます。

チェックを外すと該当拡張子は、対象外の拡張子となります。

※ ファイル表示選択状態がすべて選択された状態における拡張子、固定ファイル名称を示します。

(8) 選択ファイル抽出コピー

ファイルリストからファイルを選択してファイルを指定フォルダにコピーします。

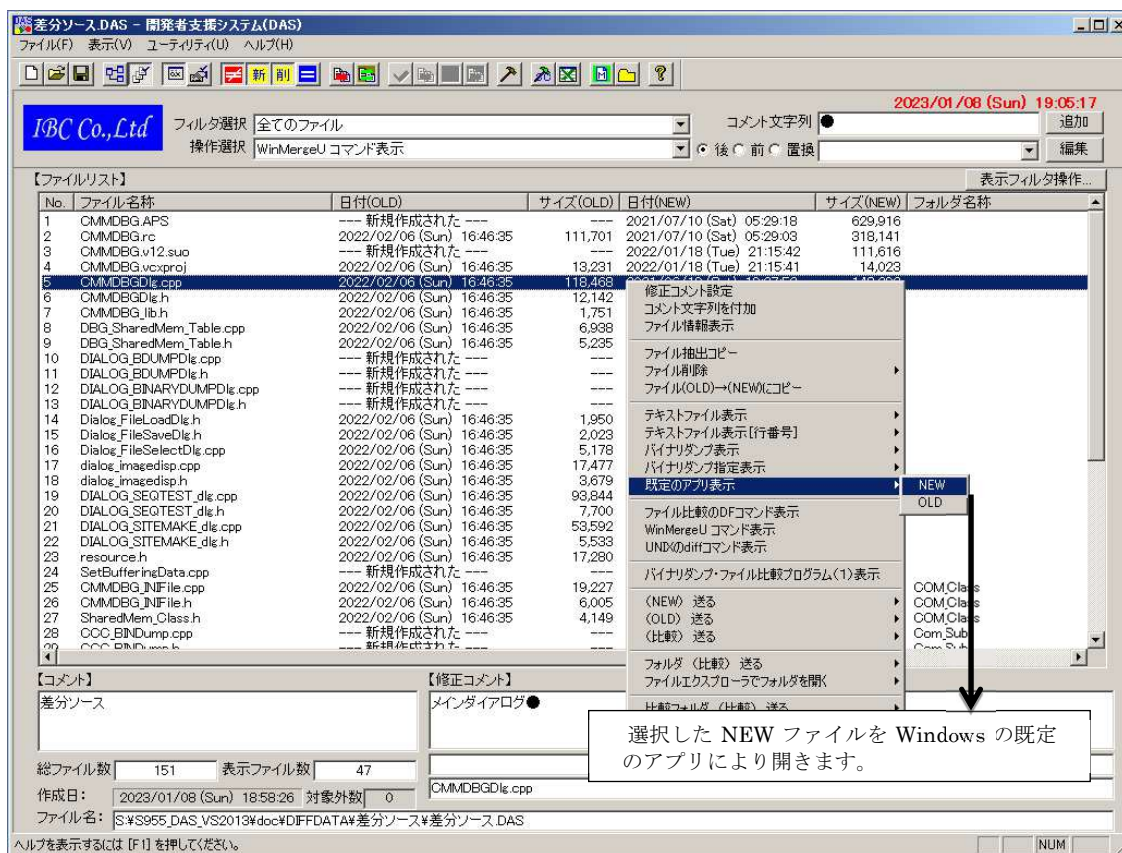


「抽出コピー」鈕をクリックすると、抽出先フォルダを設定します。選択ファイルを抽出先フォルダにコピーします。



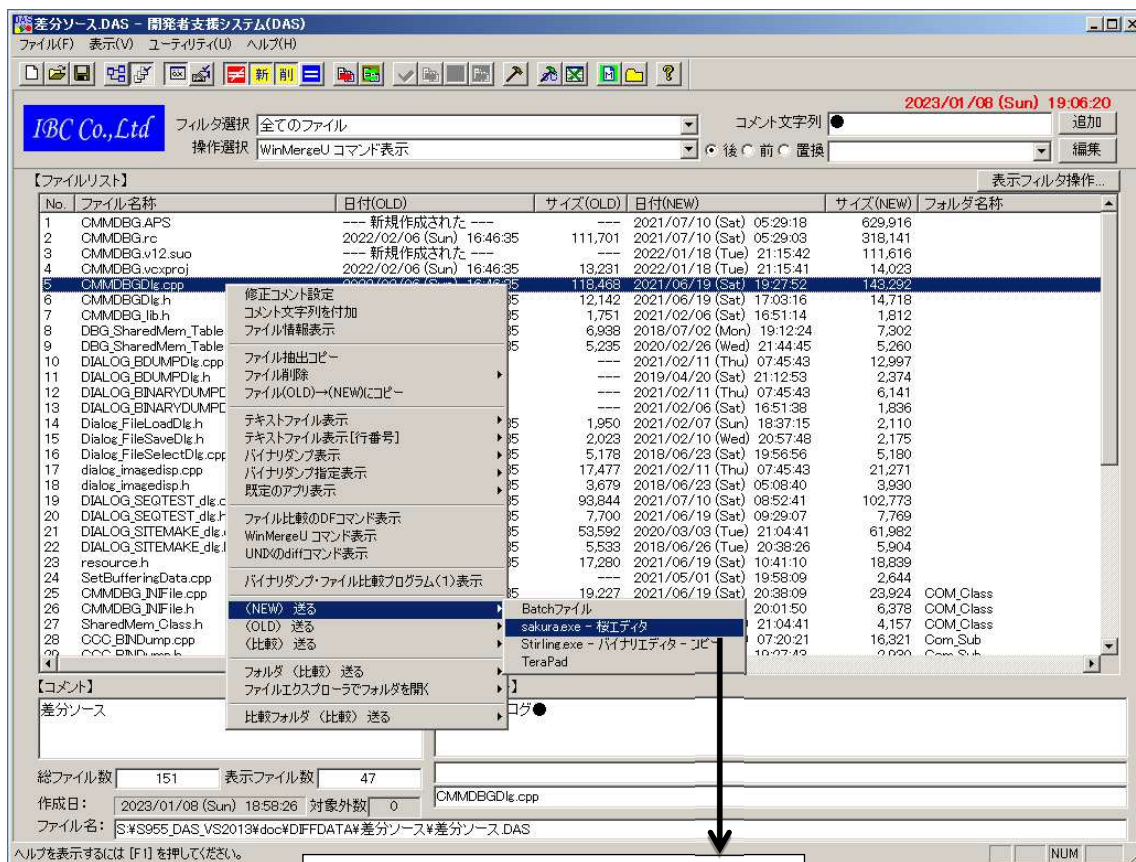
(9) 既定のアプリ表示

ファイルリストから選択したファイルを Windows の既定のアプリに従って開きます。



(10) 登録アプリ表示

ファイルリストから選択したファイルを SendTo フォルダに登録したアプリを指定して開きます。



選択したファイルを指定したアプリで開きます。

【アプリの登録】

アプリを登録するフォルダを以下に示します。
(インストールフォルダが
「C:\Win32App\DAS」
である場合)

インストールフォルダにある SendTo フォルダ下に
実行ファイルを格納しておきます。

- ・ ショートカット
- ・ exe ファイル
- ・ bat ファイル など

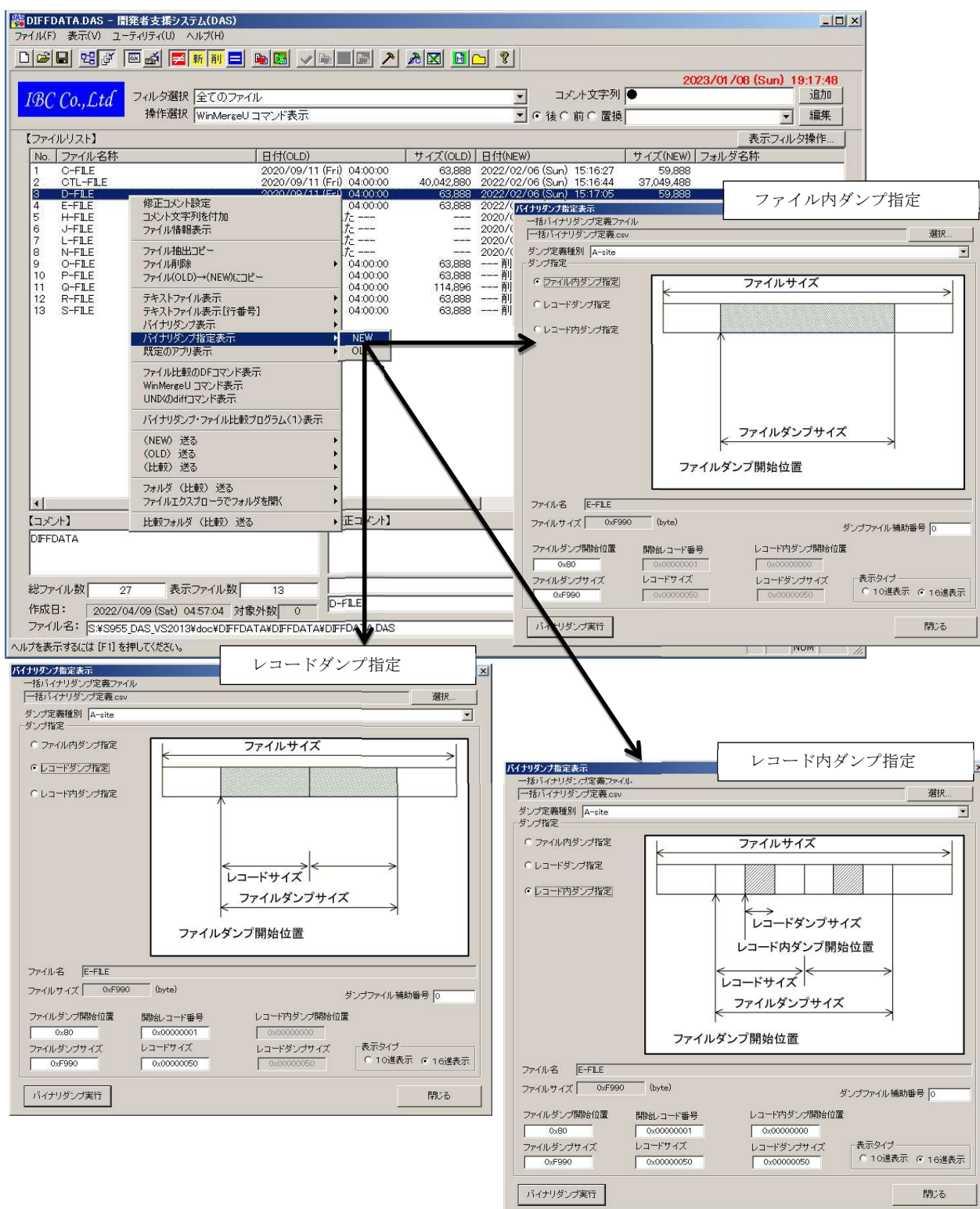


名前 ▲

- Batchファイル.bat
- sakura - 桜エディタ
- Stirling - バイナリエディタ
- TeraPad.exe

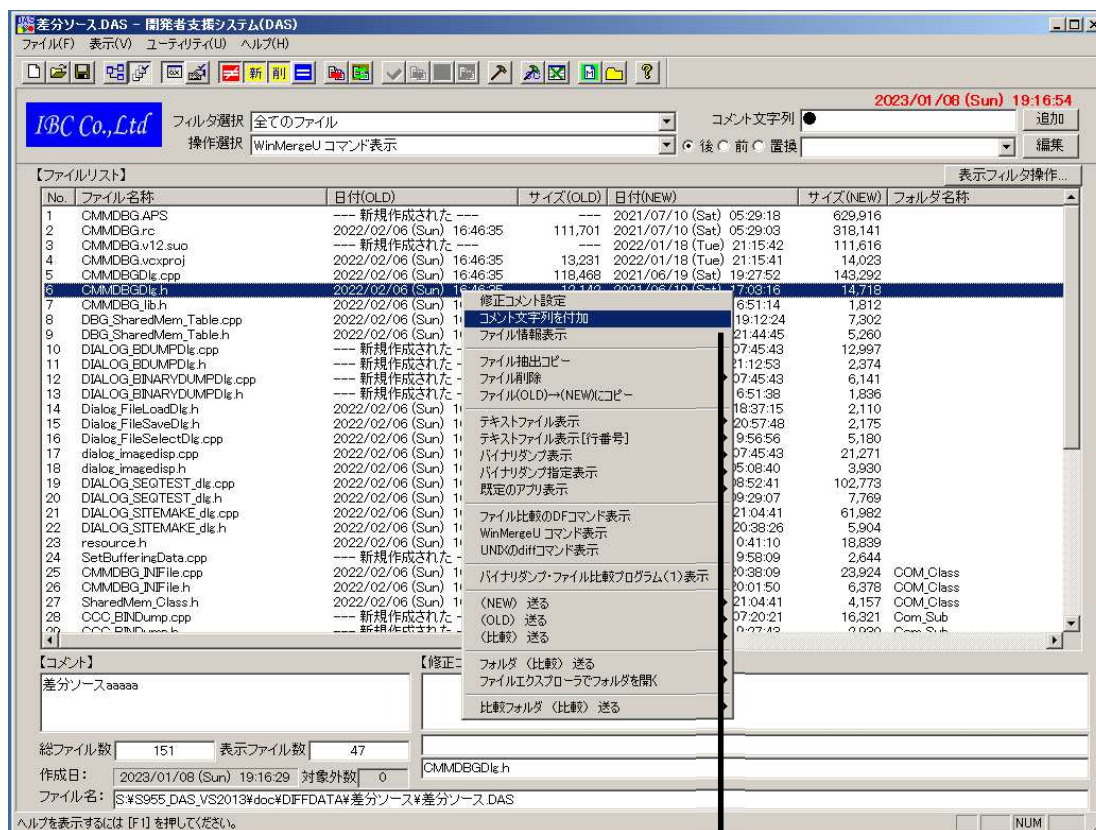
(11) バイナリダンプ指定表示

ファイルリストから選択したファイルのバイナリダンプ方法を指定して表示します。



(12) コメント文字列を付加

ファイルリストから選択したファイルのバイナリダンプ方法を指定して表示します。



コメント文字列を修正コメント欄に追加します。

後 : 修正コメントの後にコメント文字列を付加
 前 : 修正コメントの前にコメント文字列を付加
 置換 : 修正コメントをコメント文字列と置き換え

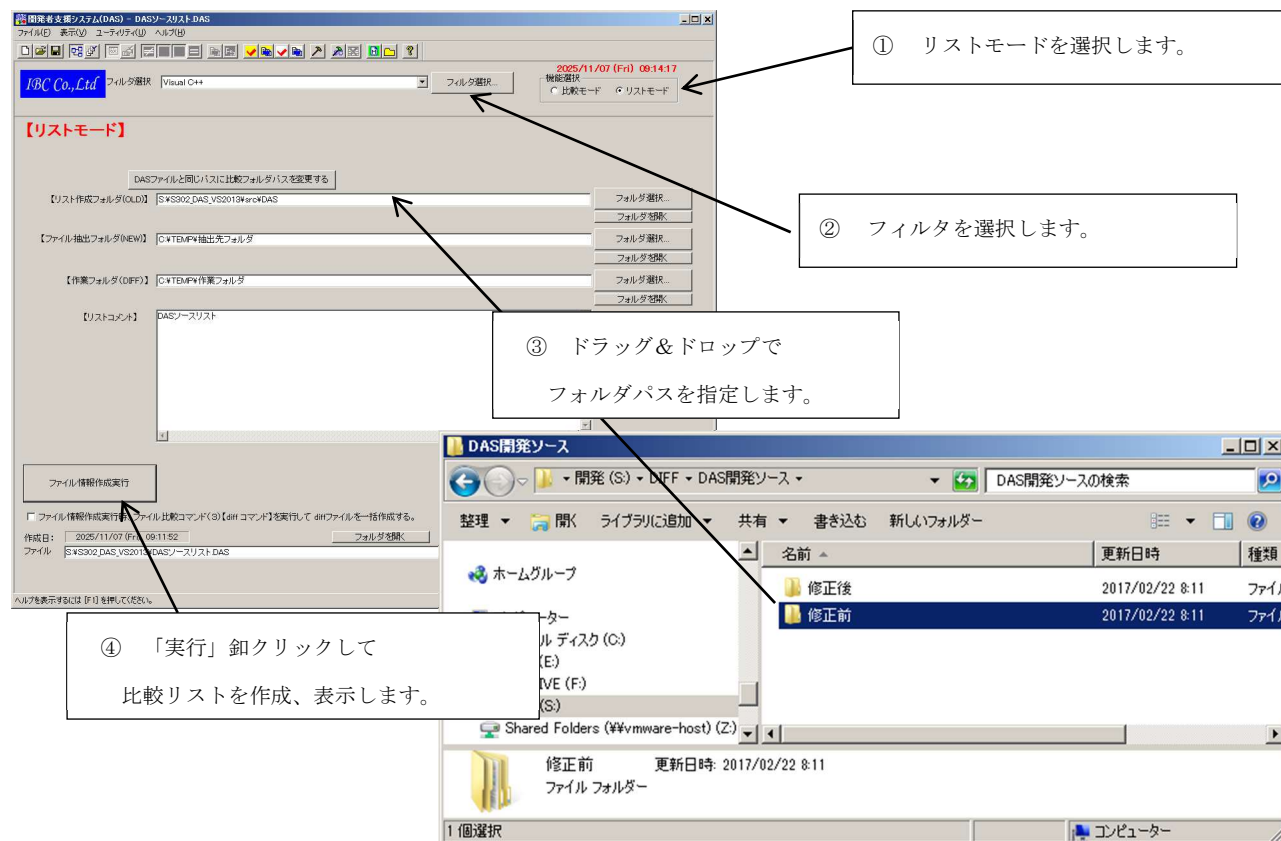
<上記の場合の例>

後 : 修正理由 1 修正理由 4
 前 : 修正理由 4 修正理由 1
 置換 : 修正理由 4

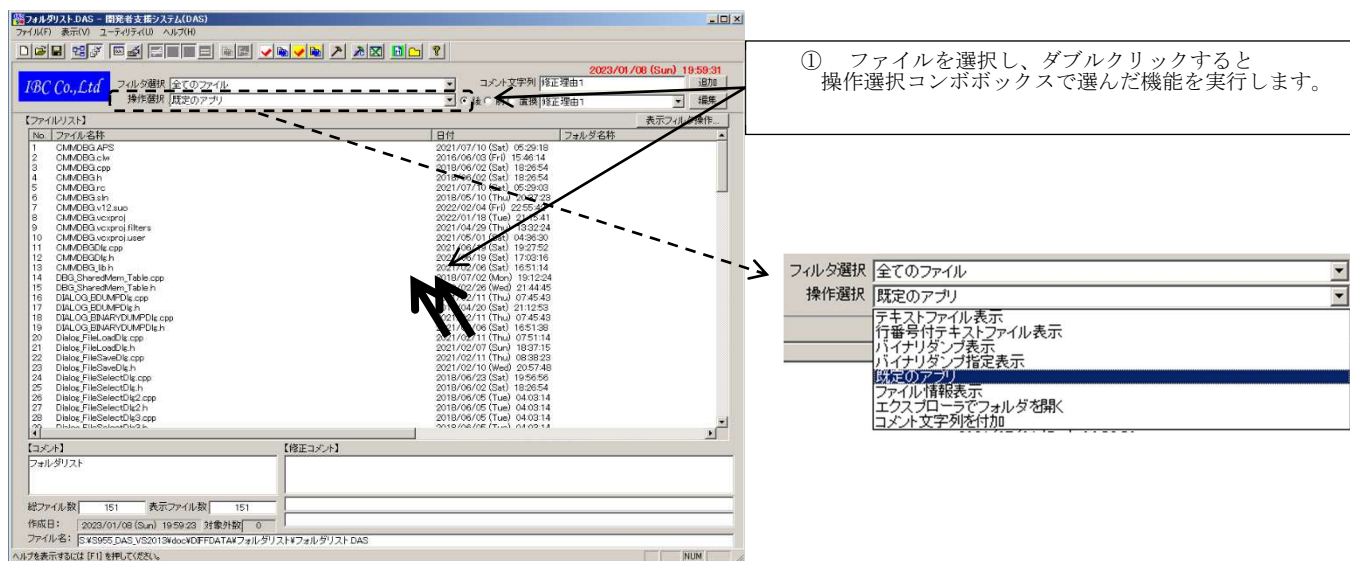
1. 3. 2 リストモードを使用する

DAS を起動します。

(1) 機能選択=リストモードとフィルタを選択後、フォルダの指定をして実行



(2) リスト作成フォルダのリストからのダブルクリック表示操作



(3) 選択した操作による表示

テキストファイル表示(OLD)

```

MainFrm.cpp - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

//
#include "stdafx.h"
#include "TTSWinX.h"
#include "MainFrm.h"
#include "TtsCitFrm.h"

#include <direct.h>

#ifdef _DEBUG
#define new DEBUG_NEW
#undef THIS_FILE
static char THIS_FILE[] = _FILE_;
#endif

//
// CMainFrame
IMPLEMENT_DYNAMIC(CMainFrame, CMDIFrameWnd)
BEGIN_MESSAGE_MAP(CMainFrame, CMDIFrameWnd)
//[[AFX_MSG_MAP(CMainFrame)
ON_WM_CREATE()
ON_WM_DESTROY()
]]

```

行番号付テキストファイル表示(OLD)

```

MainFrm.cpp,src,old.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

8: // MainFrm.cpp : CMainFrame クラスの動作の定義を行います。
9: //
10:
11: #include "stdafx.h"
12: #include "TTSWinX.h"
13: #include "MainFrm.h"
14: #include "TtsCitFrm.h"
15:
16: #include <direct.h>
17:
18: #ifdef _DEBUG
19: #define new DEBUG_NEW
20: #undef THIS_FILE
21: static char THIS_FILE[] = _FILE_;
22: #endif
23:
24: //
25: // CMainFrame
26:
27: IMPLEMENT_DYNAMIC(CMainFrame, CMDIFrameWnd)
28:
29: BEGIN_MESSAGE_MAP(CMainFrame, CMDIFrameWnd)
30: //[[AFX_MSG_MAP(CMainFrame)
31: ON_WM_CREATE()
32: ON_WM_DESTROY()
33: ON_COMMAND(ID_TTS_CITVIEW, OnTtsCitView)
34: ]]

```

バイナリダンプ表示(OLD)

```

MainFrm.cpp.bin,old.txt - メモ帳
ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

ファイル名: S:\DIFFYDAS環境ソース\修正前MainMainFrm.cpp
修正日: 2016/07/09 (Sat) 20:33:35

** S:\DIFFYDAS環境ソース\修正前MainMainFrm.cpp ** 12673 Byte ** Sat Jul 09 20:33:35 2016 **

00000000-00001F: 000A 2F2A 2A0D 0A20 2A0D 0A20 2A20 5454 5320 9085 8381 8343 8393
000020-00003F: 8380 000A 202A 000A 202A 2F0D 0A0D 0A2F 2F2D 4061 698E 4672 602E
000040-00005F: 434D 6169 6E46 7261 6065 2063 4E93 8393 5882 C338 A65D C332 C332
000060-00007F: 7382 4282 C332 5781 420D 0A2F 2F0D 0A0D 0A23 698E 636C 7864 852D
000080-00009F: 782E 6822 000A 2369 6E63 6C75 6465 2022 5454 5357 698E 582E 6822
0000A0-0000BF: 6C75 6465 2022 4061 698E 4672 602E 6822 000A 2369 6E63 6C75 6465
0000C0-0000DF: 6974 4672 602E 6822 000A 000A 2369 6E63 6C75 6465 2030 4A69 7265
0000E0-0000FF: 0A0D 0A2F 2F23 698E 6465 662D 5F44 4542 5547 000A 2F2F 2364 6568
000100-00011F: 772D 4445 4295 475F 4E45 570D 0A2F 2F23 756E 6465 662D 5448 4953
000120-00013F: 0A2F 2F73 7461 7469 632D 6368 6172 2054 4849 535F 4649 4C45 565D
000140-00015F: 494C 455F 5F46 000A 2F2F 2365 6E64 6986 000A 000A 2F2F 2F2F 2F2F
000160-00017F: 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F
000180-00019F: 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F 2F2F
0001A0-0001BF: 2F0D 0A2F 2F2D 434D 6169 6E46 7261 6065 000A 000A 494D 504C 454D
0001C0-0001DF: 4E41 4D49 4328 434D 6169 6E46 7261 6065 2C2D 434D 4449 4672 616D
0001E0-0001FF: 0A0D 0A2F 4547 494E 5F4D 4553 5341 4745 5F4D 415D 2843 4D61 698E
000200-00021F: 2043 4D44 4946 7261 6065 576E 6429 000A 092F 2F7B 7B41 4658 5F4D
000220-00023F: 2843 4D61 698E 4672 616D 6529 000A 094F 4E5F 574D 5F43 5245 4154
000240-00025F: 4F4E 5F43 4F4D 4D41 4E44 2849 445F 4545 535F 4349 445E 4945 572C
000260-00027F: 4369 7456 6985 7229 000A 094F 4E5F 555D 4441 5445 5F43 4F4D 4D41
000280-00029F: 4944 5F54 5453 5F43 4954 5649 4557 2C2D 4F6E 557D 6461 7465 5474

```

ファイル情報表示

ファイル情報表示

ファイル名称: MainMainFrm.cpp

ファイル(OLD)		ファイル(NEW)	
2016/07/09 (Sat) 20:33:35	修正日		
466 行数	行数	0 行数	
2017/02/26 (Sun) 17:30:03	アクセ		
2017/02/26 (Sun) 17:30:03	生成日		
12673 バイト	ファイル	0 バイト	

ステップ数の差: -466

diffファイル改訂評価

作成日時:

削除行数 (diff): 0 改訂行数:

追加行数 (diff): 0 0

diff

削除 (d): 0 修正 (c): 0

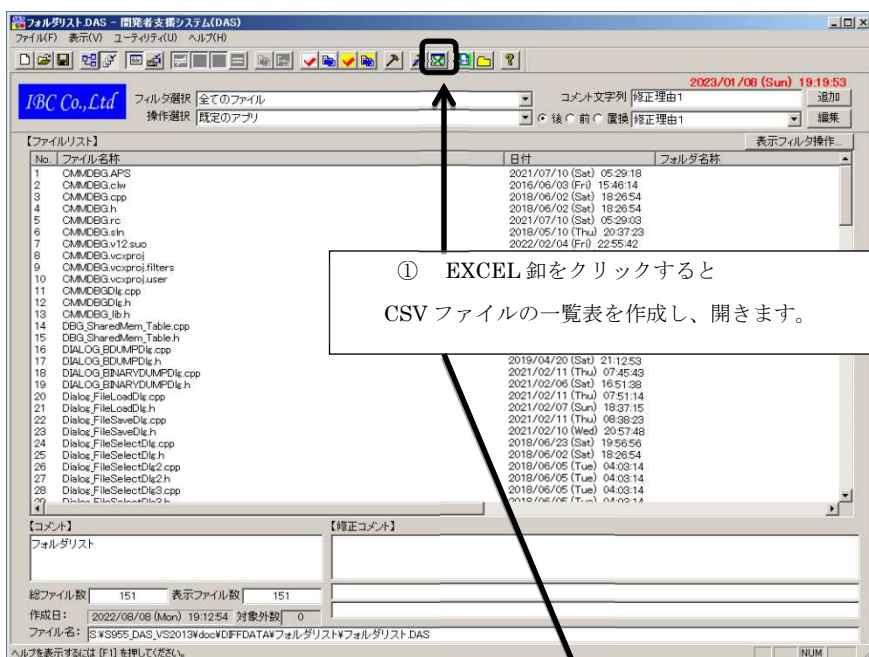
追加 (a): 0 追加: 0

開じる

既定のアプリ

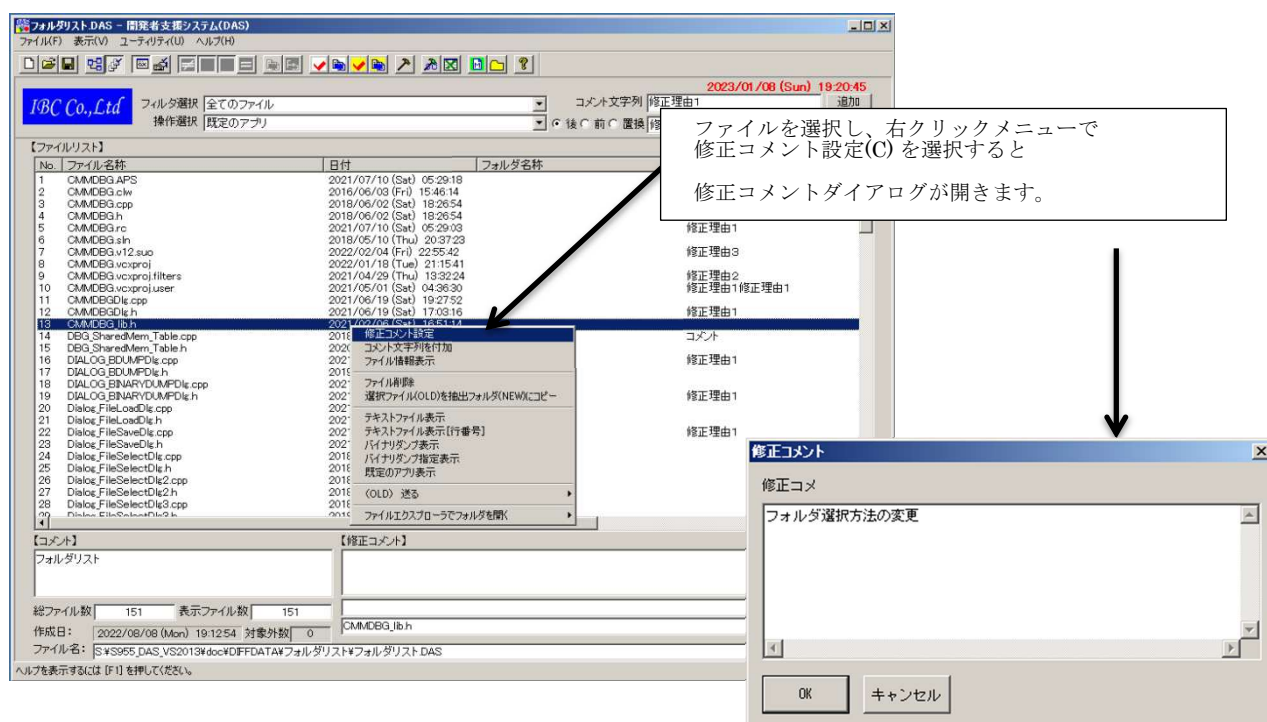
指定したファイルを拡張子に対する
Windows が管理する既定のアプリを
使用して開きます。

(4) EXCEL による一覧表の表示

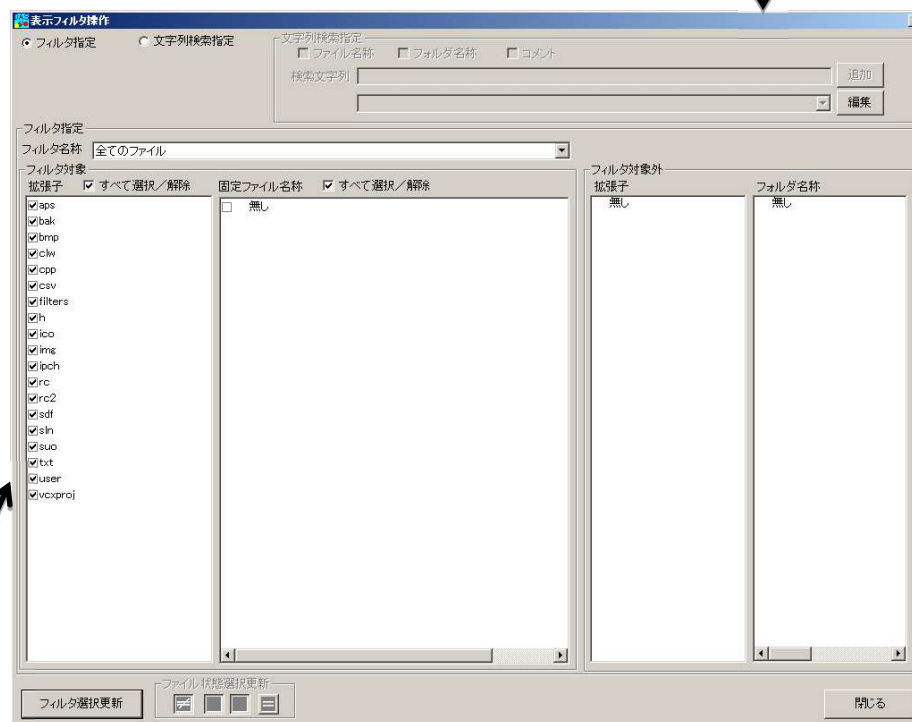
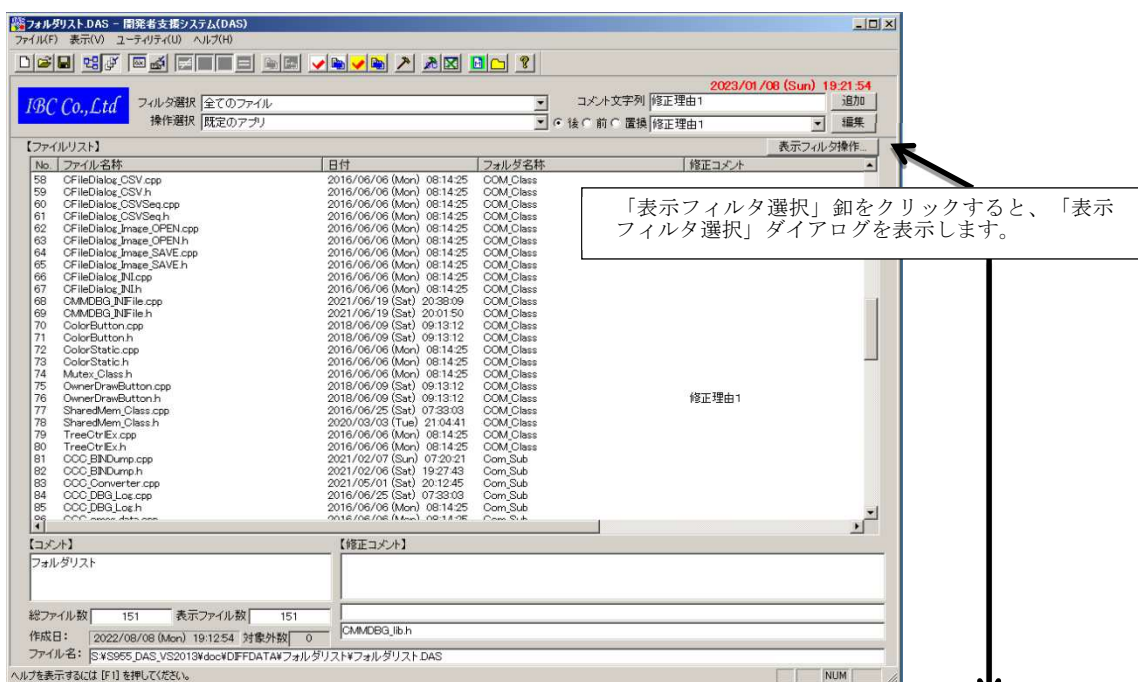


No.	ファイル名称	行数	日付	サイズ	ディレクトリ名称	修正コメント
1	DAS.cw	648	2016/06/28 (Sun)	21,34.28	18581 DASVDAS	
2	DAS.cpp	1002	2017/02/24 (Fri)	18,43.28	37851 DASVDAS	
3	DAS.rc	1011	2017/02/25 (Sat)	08,21.08	43894 DASVDAS	
4	DASDoc.cpp	352	2017/02/23 (Thu)	22,51.39	11201 DASVDAS	
5	DASDoc.h	95	2017/02/21 (Tue)	18,56.28	2908 DASVDAS	
6	DIALOG_REV_COMMENT.cpp	63	2016/06/08 (Wed)	10,41.53	1921 DASVDAS	
7	ENV.COMMAND.cpp	243	2017/02/24 (Fri)	18,43.28	8469 DASVDAS	
8	File Type Select.dlg.cpp	117	2016/10/31 (Mon)	10,53.15	3519 DASVDAS	
9	File Type Select.dlg.h	67	2016/06/08 (Wed)	10,41.53	1919 DASVDAS	
10	MainFrm.cpp	1007	2017/02/24 (Fri)	18,43.28	34429 DASVDAS	
11	resource.h	479	2017/02/24 (Fri)	18,43.28	21768 DASVDAS	
12	wc_src.cpp	343	2017/02/21 (Tue)	18,56.28	8054 DASVDAS	
13	das_CSV_FILE_OUT.cpp	111	2017/02/21 (Tue)	18,56.28	3899 DASVDASVCommon	
14	das_file_exist.cpp	76	2017/02/21 (Tue)	18,56.28	2443 DASVDASVCommon	
15	das_GetFileType.cpp	395	2017/02/21 (Tue)	18,56.28	15690 DASVDASVCommon	
16	das_GetSROCMPI_Info.cpp	169	2017/02/21 (Tue)	18,56.28	6130 DASVDASVCommon	
17	das_LIST_MODE_check.cpp	102	2017/02/21 (Tue)	18,56.28	3023 DASVDASVCommon	
18	das_Make_FileInfo.cpp	83	2017/02/19 (Sun)	21,50.47	2771 DASVDASVCommon	
19	das_OnDoubleClick.cpp	1118	2017/02/21 (Tue)	18,56.28	38132 DASVDASVCommon	
20	das_String_edit01.cpp	87	2017/02/21 (Tue)	18,56.28	2589 DASVDASVCommon	
21	RBTH_ListView.cpp	401	2017/02/24 (Fri)	18,43.28	13789 DASVDASVCOMClass	

(5) ファイルに対するコメント入力操作



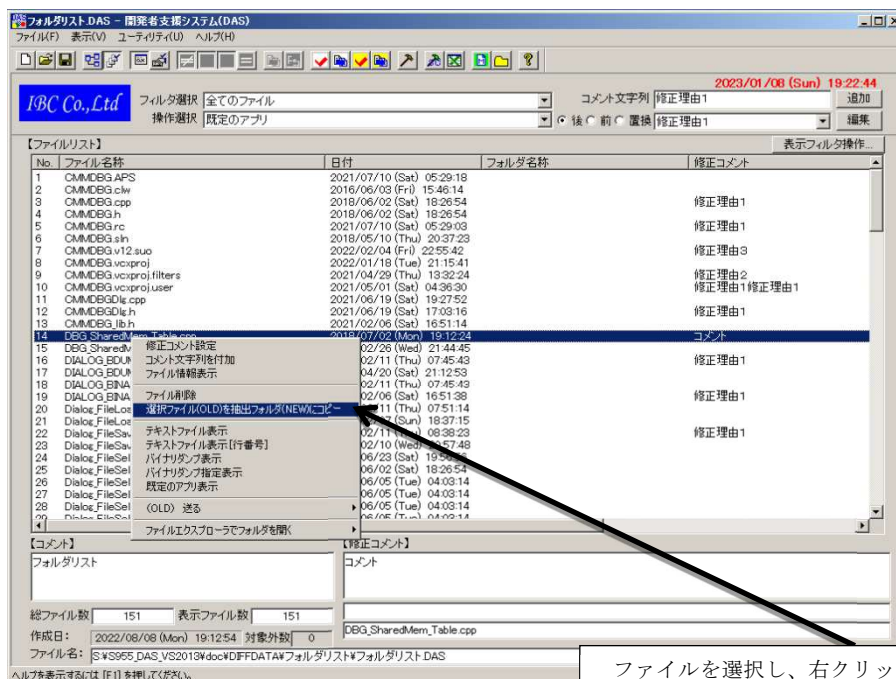
(6) 「表示フィルタ操作…」鉤によるファイルリストの絞り込み



文字列検索指定の場合、ファイル名称、フォルダ名称、コメントのいずれかを指定して、指定した文字列が入っているファイルリストが表示されます。

(7) 選択ファイル(OLD)を抽出フォルダ(NEW)にコピー

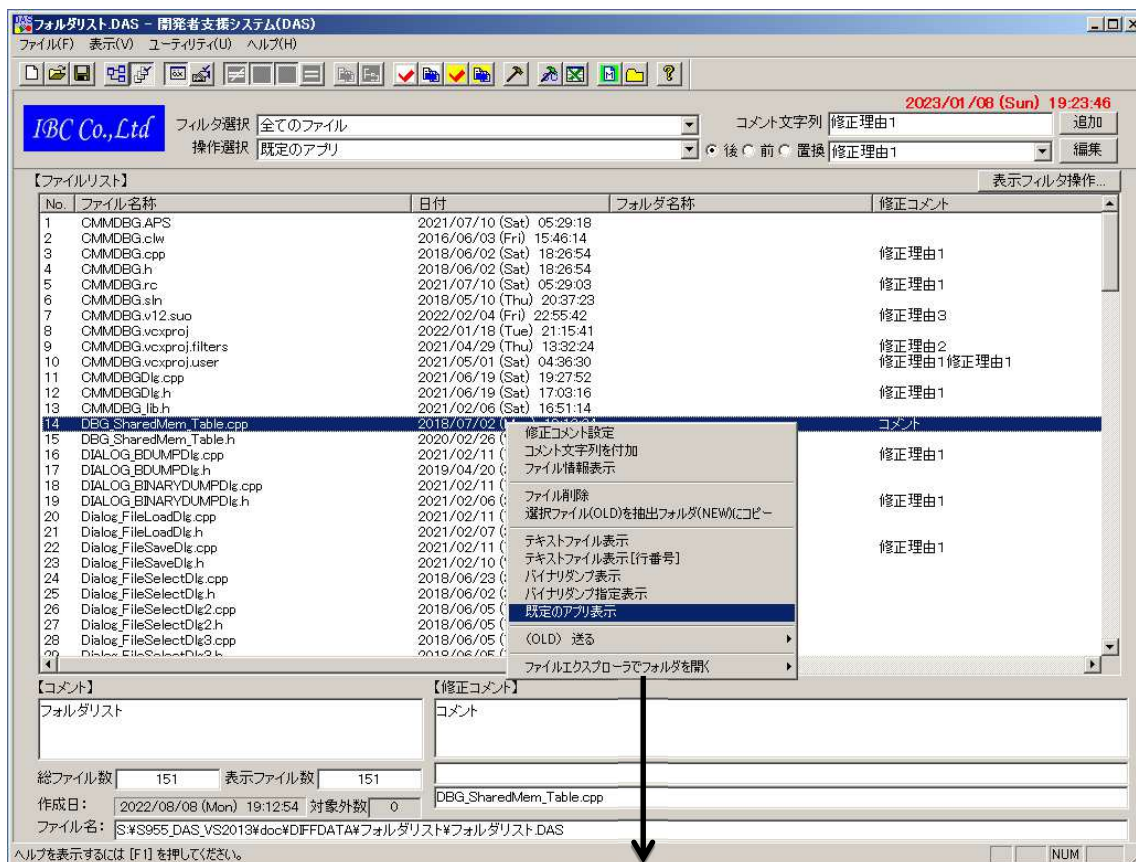
ファイルリストからファイルを選択してファイルを抽出フォルダにコピーします。



ファイルを選択し、右クリックメニューの「選択ファイル(OLD)を抽出フォルダ(NEW)にコピー」をクリックすると、選択ファイル(OLD)を抽出フォルダ(NEW)にコピーします。

(8) 既定のアプリ表示

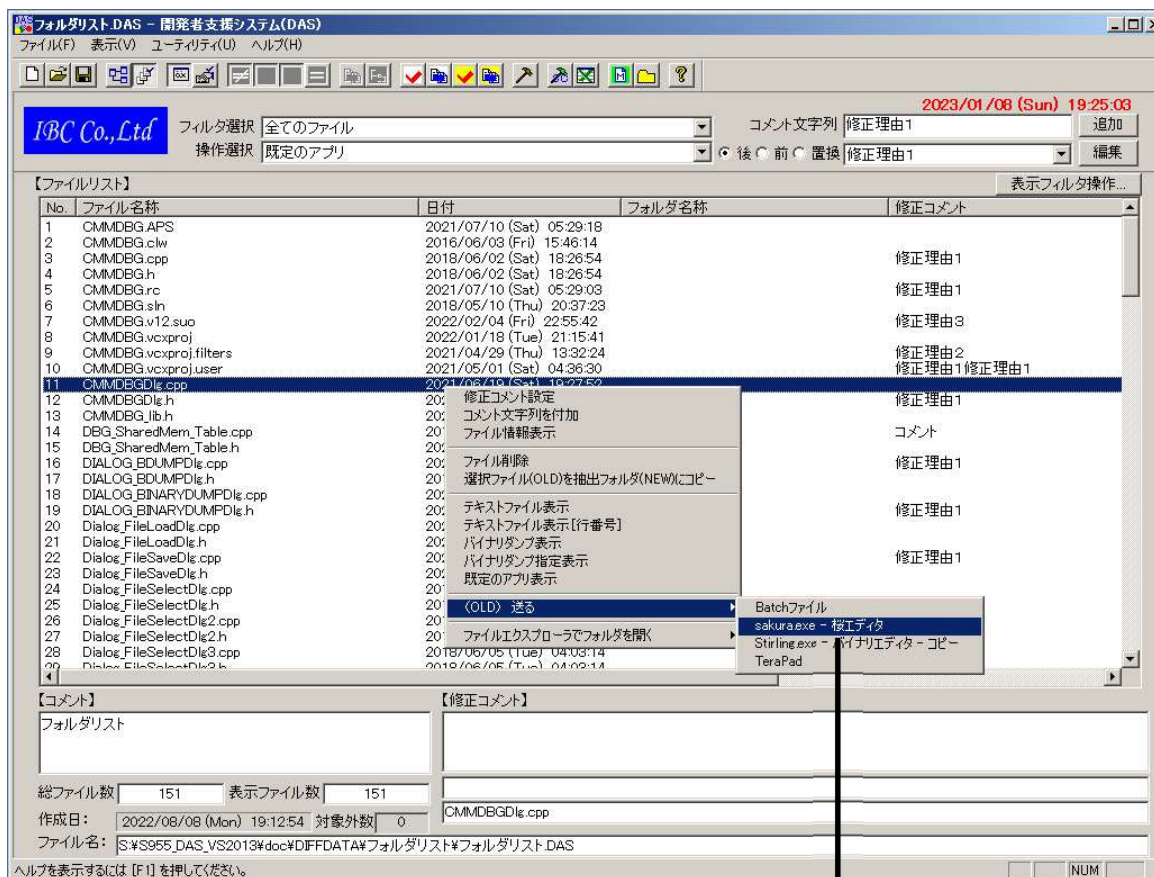
ファイルリストから選択したファイルを Windows の規定のアプリ登録に従って開きます。



選択したファイルを Windows の既定のアプリにより開きます。

(9) 登録アプリ表示

ファイルリストから選択したファイルを SendTo フォルダに登録したアプリを指定して開きます。



選択したファイルを指定したアプリで開きます。

【アプリの登録】

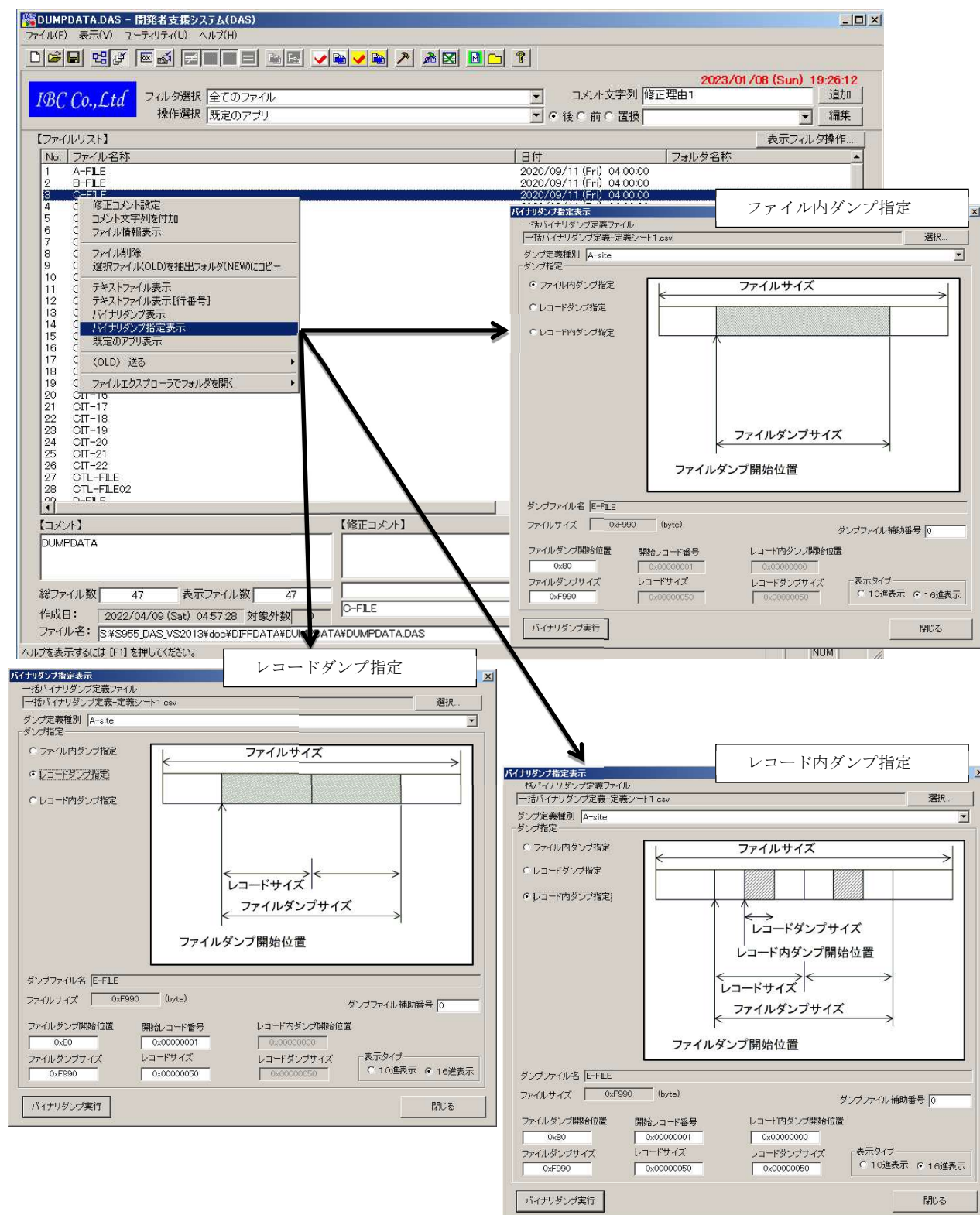
アプリを登録するフォルダを以下に示します。
(インストールフォルダが
「C:\Win32App\DAS」
である場合)

インストールフォルダに実行ファイルを格納しておきます。
ショートカット
exe ファイル
bat ファイル など



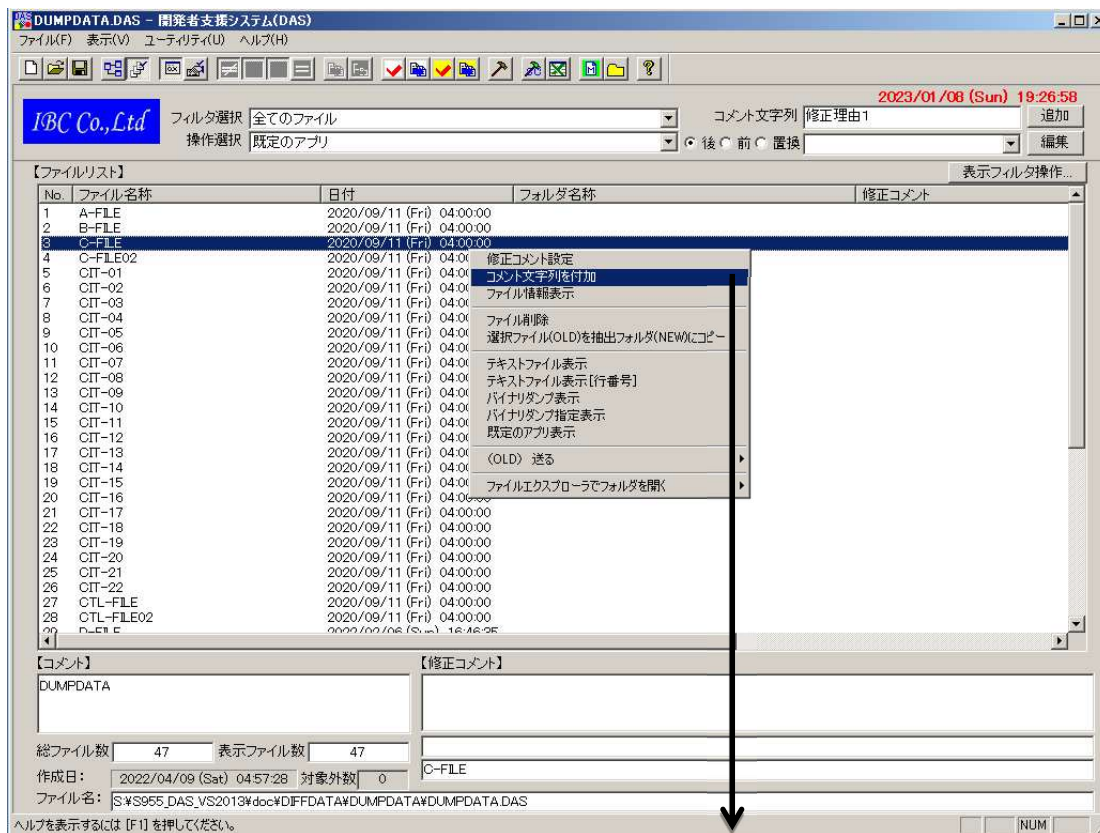
(10) バイナリダンプ指定表示

ファイルリストから選択したファイルのバイナリダンプ方法を指定して表示します。



(11) コメント文字列を付加

ファイルリストから選択したファイルのバイナリダンプ方法を指定して表示します。



コメント文字列を修正コメント欄に追加します。

後 : 修正コメントの後にコメント文字列を付加

前 : 修正コメントの前にコメント文字列を付加

置換 : 修正コメントをコメント文字列と置き換え

<上記の場合の例>

後 : 修正理由 1 修正理由 4

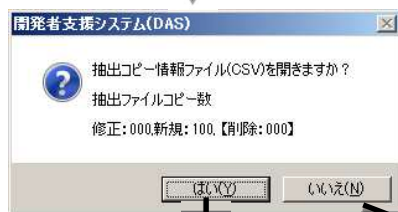
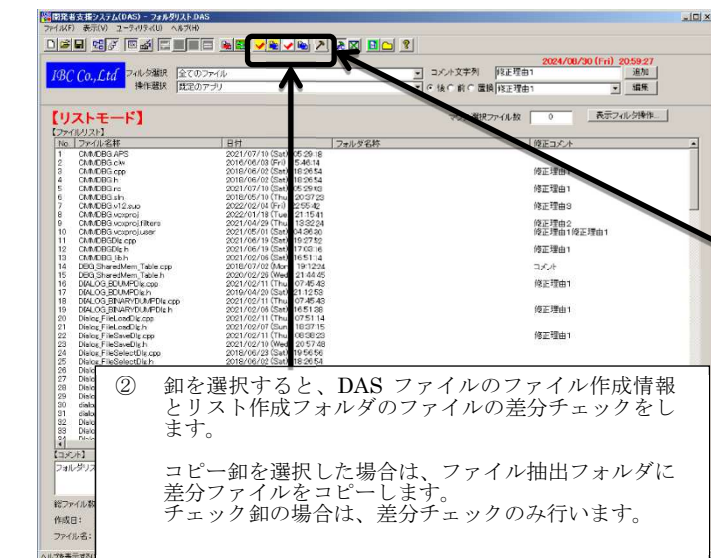
前 : 修正理由 4 修正理由 1

置換 : 修正理由 4

(3) リスト作成フォルダ内のファイルを修正、削除、新規作成

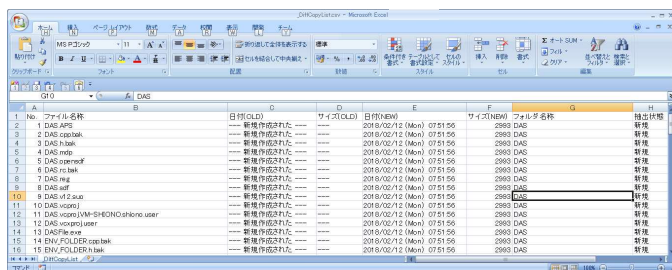
リスト作成フォルダ内のファイル修正、削除、新規作成を行います。

(4) DAS ファイル(2)保存時のものとリスト作成フォルダの差分をチェック



③ 「はい」鉤を選択すると、差分ファイル情報を EXCEL 表示します。

「いいえ」鉤を選択すると、何もせず終了します。



① チェック鉤と抽出コピー鉤の2種類があります。



表示されているファイルリストのファイルの差分チェック



表示されているファイルリストのファイルの差分コピー



リスト作成フォルダのファイルと DAS ファイルの差分チェック



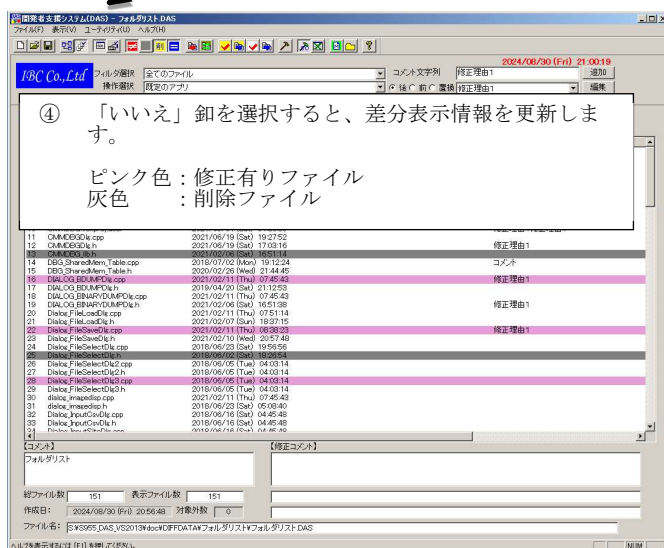
リスト作成フォルダのファイルと DAS ファイルの差分コピー

※ 総ファイルと表示ファイルの違い

総ファイル：フォルダの全てのファイルに対する修正と削除と新規作成の差分です。

表示ファイル：ファイルリストの表示に対する修正と削除の差分です。

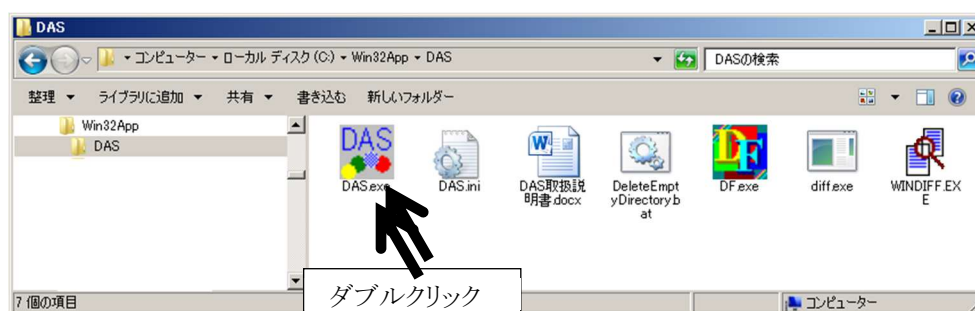
※ 修正有無は、ファイル日時とファイルサイズが異なる場合、ファイルの内容が同じでも修正有りファイルとして扱います。
比較元のファイルがリストモードではファイルの内容の比較ができないためです。



2. 操作

2.1 起動

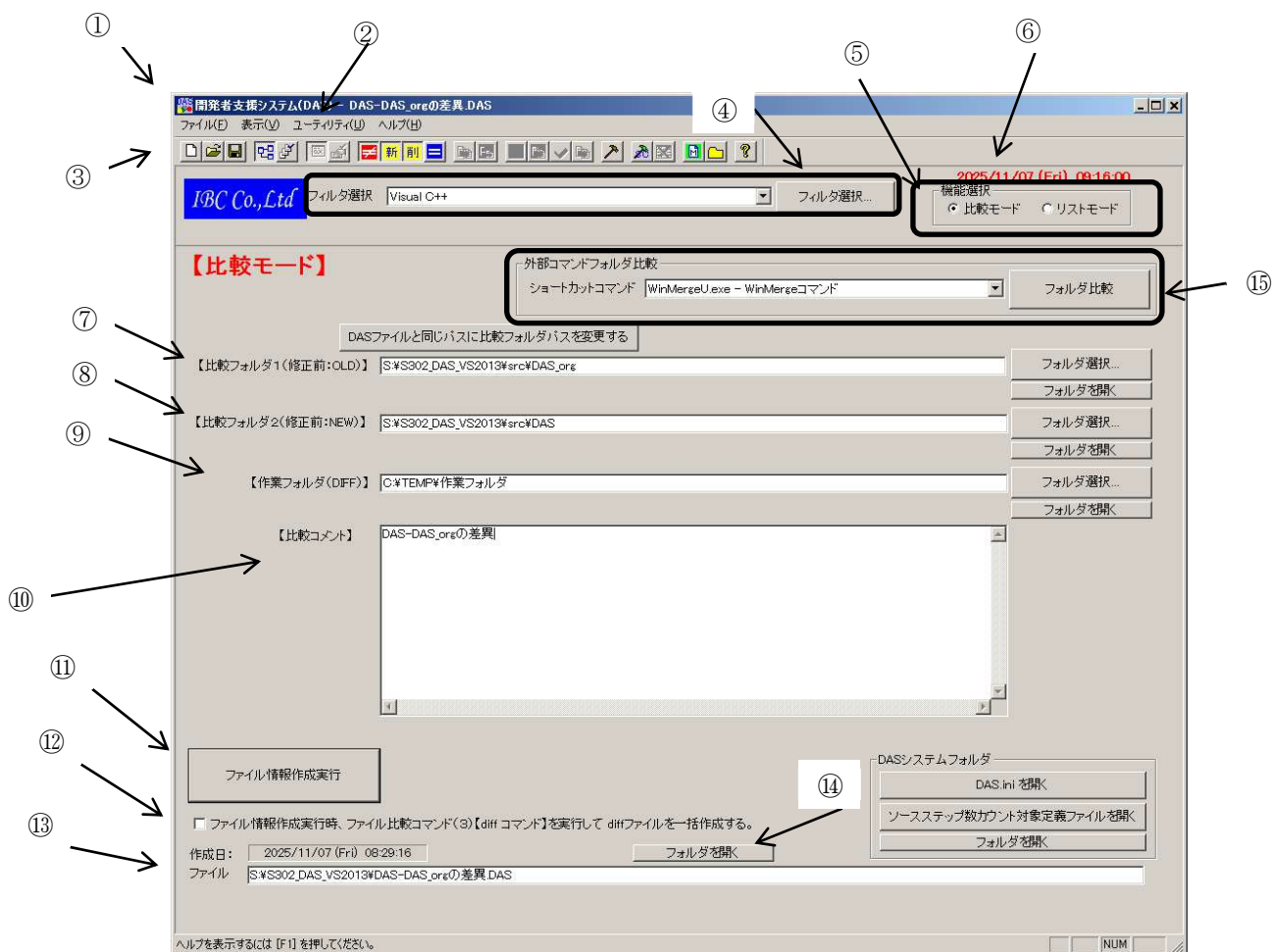
C:\Win32App\DAS\DAS.exe をダブルクリックして起動する。



2. 2 画面の操作

2. 2. 1 比較モード

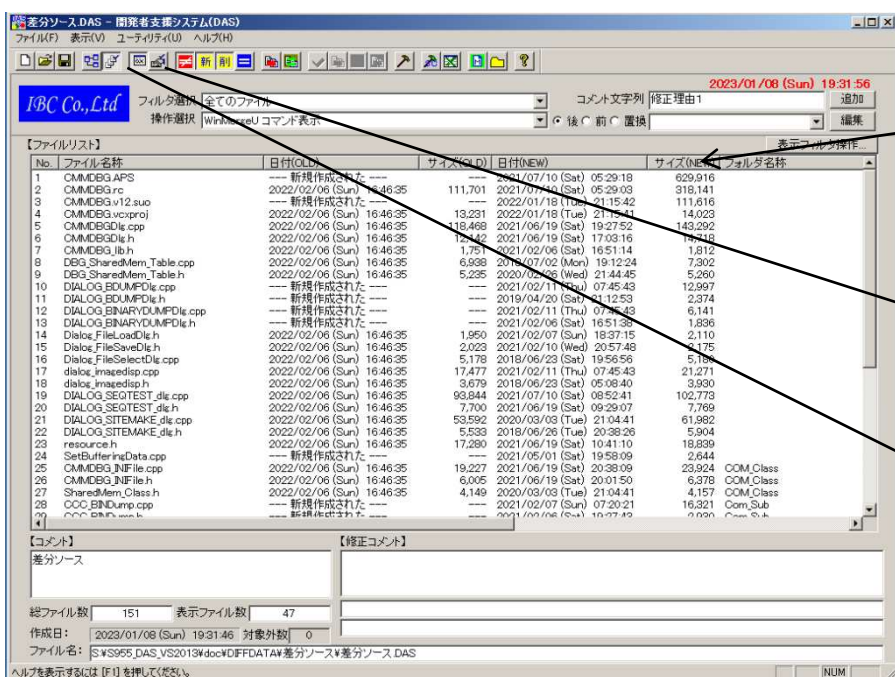
(1) 操作画面



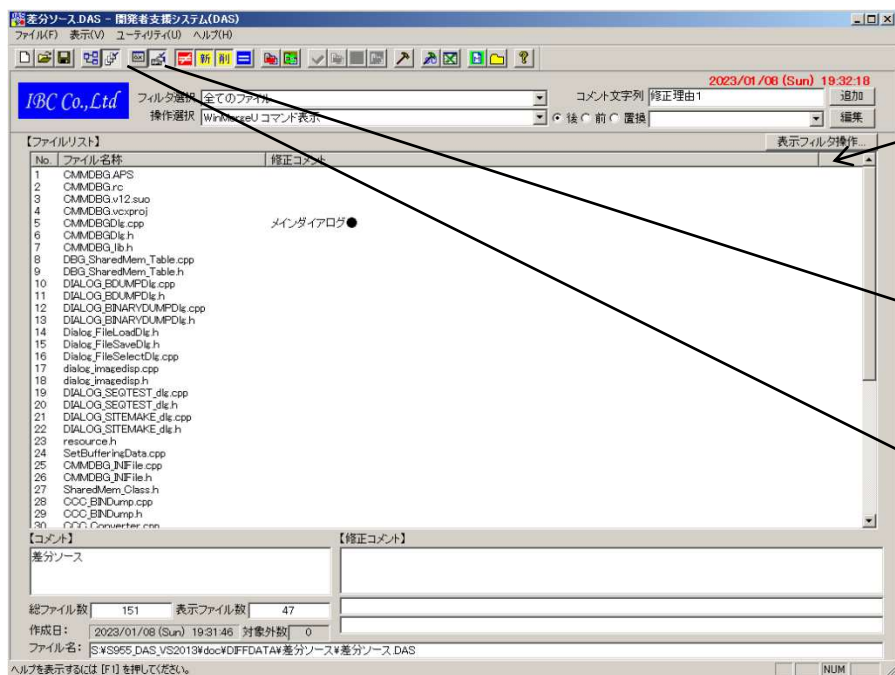
No.	名称	内容	備考
①	画面タイトル	画面のタイトルを表示します。	
②	メニュー	メニューを表示します。 ファイル (F) 表示 (V) ユーティリティ (U) ヘルプ (H)	
③	ツールバー	ツール釦です。メニューの機能に対応しています。	
④	フィルタ選択	「フィルタ選択」釦によりフィルタを選択します。 選択したフィルタの内容は、コンボボックスにリスト表示します。	
⑤	機能選択	機能選択 (比較モード、リストモード) をします。	

No.	名称	内容	備考
⑥	現在日時	現在の PC の日時を表示します。	
⑦	比較フォルダ1 (修正前: OLD)	比較フォルダを指定します。 「フォルダ選択…」釦で選択するか、ファイルエクスプローラからフォルダをドラッグ&ドロップで指定します。	
⑧	比較フォルダ2 (修正後: NEW)	比較フォルダを指定します。 「フォルダ選択…」釦で選択するか、ファイルエクスプローラからフォルダをドラッグ&ドロップで指定します。	
⑨	作業フォルダパス (DIFF)	作業フォルダパスを指定します。 diff ファイルなどの一時ファイルや作業用のファイルを作成します。	
⑩	コメント	作成したファイルの内容をコメントとして保存するために指定します。 比較モード (リストモード) で作成した内容は、ファイルに保存できません。	
⑪	「ファイル情報作成実行」釦	選択した機能選択の比較モード (またはリストモード) に従って実行します。	
⑫	ファイル情報の作成日時	ファイル情報の作成日時とファイル名称を表示します。	
⑬	ステータスバー	ステータスを表示します。	
⑭	ファイル情報作成実行時、 ファイル比較コマンド (3) 【diff コマンド】 を実行して diff ファイルを一括作成する。	「ファイル情報作成実行」釦を選択時、diff ファイルの一括作成を指定するためにチェックを入れる。	
⑮	外部コマンドフォルダ比較	ショートカットコマンドのコンボボックスからフォルダ比較コマンドのショートカットを選択し、「フォルダ比較」釦を選択すると、⑦と⑧で指定したフォルダに対してフォルダ比較コマンドを実行します。 フォルダ比較コマンドのショートカットは、「4.1 フォルダ構成」の ExternalDiff 【外部コマンドフォルダ比較】 に格納しておくことで使用できます。	

(2) ファイルリスト画面(ファイル情報リスト)

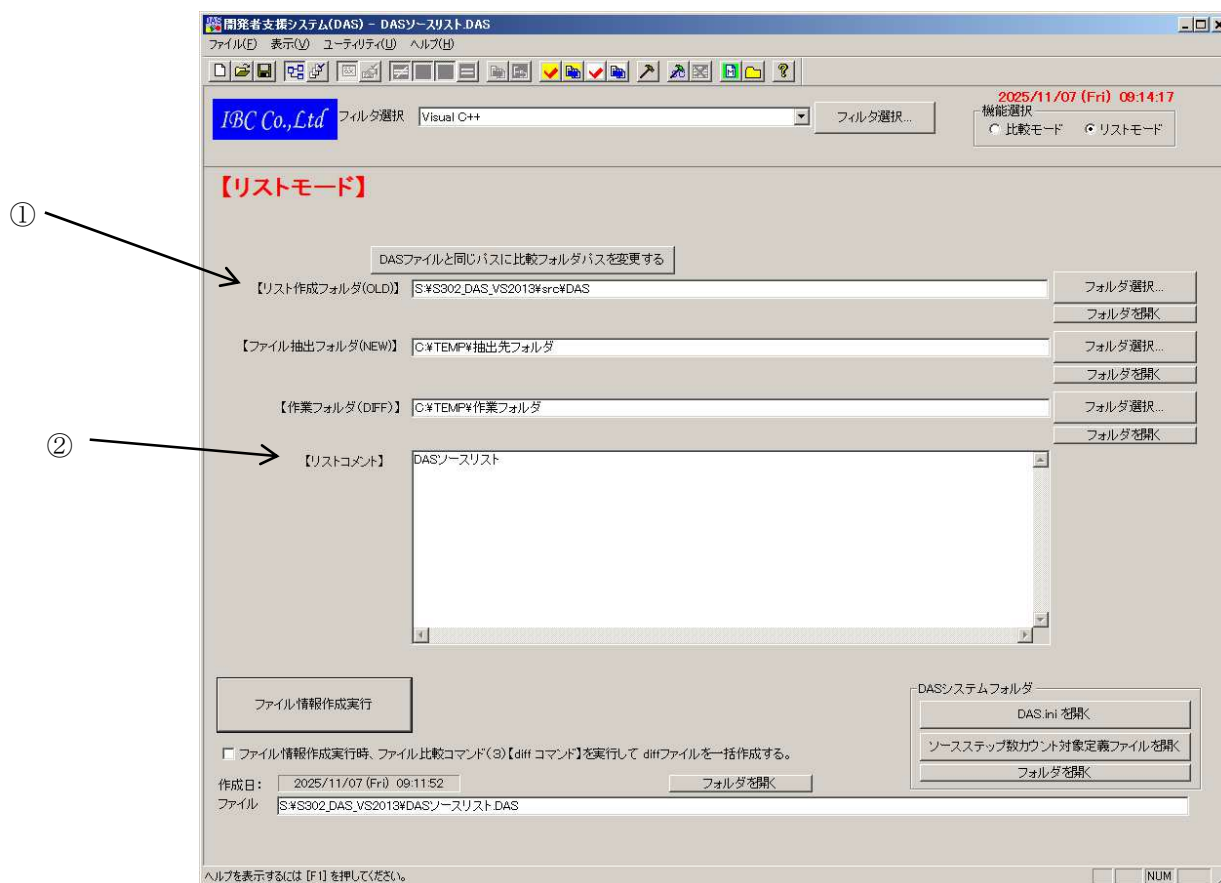


(3) ファイルリスト画面(ファイル修正コメント)



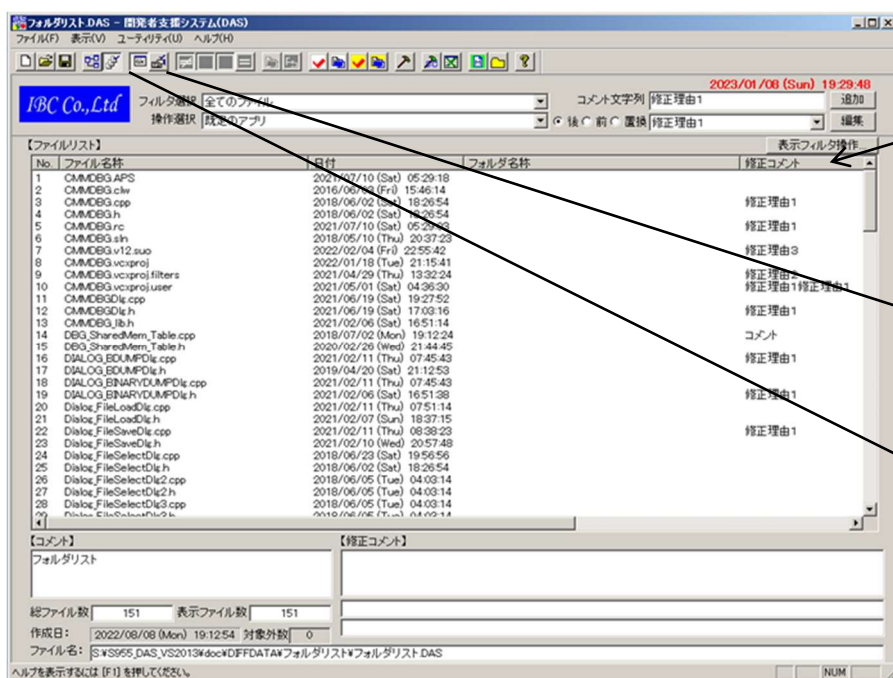
2. 2. 2 リストモード

(1) 操作画面



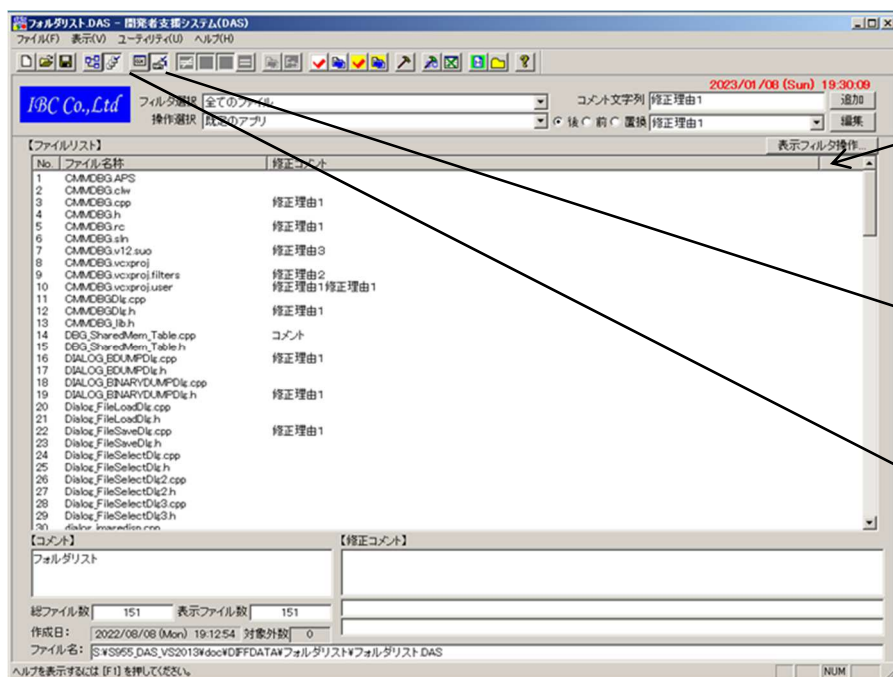
No.	名称	内容	備考
①	リスト作成フォルダ	リスト作成を行うフォルダを指定します。 「フォルダ選択…」鈕で選択するか、ファイルエクスプローラからフォルダをドラッグ&ドロップします。	
②	コメント	リストモード(比較モード)で作成した内容は、ファイルに保存できます。 その場合、作成したファイルの内容をコメント記載できます。	

(2) ファイルリスト画面(ファイル情報リスト)



(3) ファイルリスト画面(ファイル修正コメント)

切替



右クリックメニューの「コメント文字列を付加」を選択すると、コメント文字列のコメントを修正コメントとして設定します。

2. 2. 3 メニューとツールバー

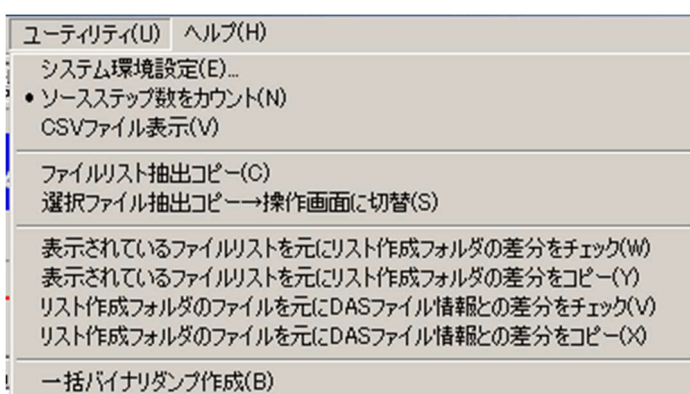
(1) 「ファイル(F)」メニュー



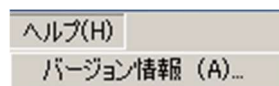
(2) 「表示(V)」メニュー



(3) 「ユーティリティ(U)」メニュー

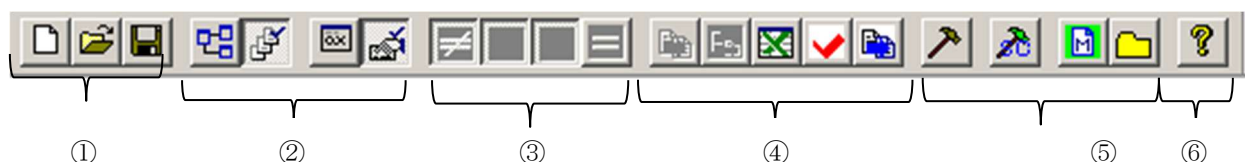


(4) 「ヘルプ(H)」メニュー






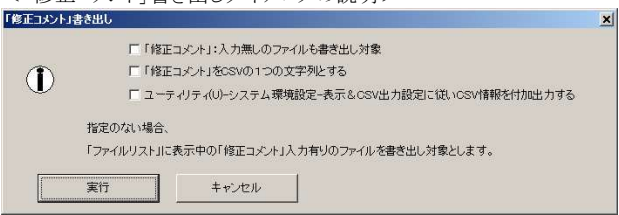
(6) その他

(5) ファイル表示状態選択 (ツールバー)







No.	名称	内容	備考
ツールバー			
①	「ファイル(F)」メニュー	ファイルに関連するメニューです。	
②	「表示(V)」メニュー	表示に関連するメニューです。	
③	ファイル表示状態選択		
④	「ユーティリティ(U)」メニュー		
⑤	その他		
⑥	「ヘルプ(H)」メニュー		

(1) 「ファイル(F)」メニュー

No.	名称	内容	備考
	「ファイル(F)」メニュー		
①	新規作成(N) 	設定の定義 CSV ファイルを読み込みます。 読み込んだ設定の定義 CSV ファイルは、「CSV ファイル選択鈕」の新しい読込 # に割り付けられます。	
②	開く(O)… 	読み込んだ設定の定義 CSV ファイルの設定データをメモリに設定します。 ①の操作後は、共有メモリのデータを表示しているだけです。 設定鈕をクリックした時に初めて、設定の定義 CSV ファイルの値が共有メモリに設定されます。	
③	上書き保存(S) 	ファイルを上書き保存します。	
④	名前を付けて保存(A)…	ファイルに名前を付けて保存します。	
⑤	「修正コメント」読み出し(R)	修正コメント CSV ファイルを指定して読み込みます。 修正コメント CSV ファイル(****-修正コメント.csv)を指定して読み込んでください。	3. 8 修正コメント CSV ファイル(****-修正コメント.csv)参照
⑥	「修正コメント」書き出し(W)	<p>「修正コメント」書き出し(W)を選択すると下記のダイアログが表示されます。</p> <p>チェック項目の指定がない場合は、「ファイルリスト」に表示されている「修正コメント」の入力のある情報だけを修正コメント CSV ファイル(一時ファイル)に書き出します。</p> <p>EXCEL で開きますので、名前を付けて保存で、修正コメント CSV ファイル(****-修正コメント.csv)に書き出してください。</p> <p>※ 保存した CSV ファイルの末尾が、「-修正コメント.csv」でない場合は、「修正コメント」読み出しをできません。</p> <p><「修正コメント」書き出しダイアログの説明></p>  <p>(1) 「修正コメント」: 入力無しのファイルも書き出しも対象 「修正コメント」の入力はしてなくても書き出し対象とします。</p> <p>(2) 「修正コメント」を CSV の 1 つの文字列とする 「修正コメント」の改行毎に 1 つの項目とせずすべてを 1 つの CSV 項目として指定する場合に指定します。</p> <p>(3) ユーティリティ(U) システム環境設定 - CSV 出力設定に従い CSV 情報を付加出力する ユーティリティ(U) システム環境設定 - CSV 出力設定にチェックの入った項目を付加します。</p>	3. 8 修正コメント CSV ファイル(****-修正コメント.csv)参照
⑦	ファイルの情報(I)	ファイルの情報を表示します。 詳細は、「2. 2. 4 ファイル情報(I)」を参照のこと。	2. 2. 4 参照

No.	名称	内容	備考
⑧	最近のファイル	最近のファイルを4個まで表示します。	
⑨	アプリケーションの終了(X)	DAS アプリケーションを終了します。	


(2) 「表示(V)」メニュー

No.	名称	内容	備考
「ユーティリティ(U)」メニュー			
①	ツールバー(T)	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。	2. 2. 3 参照
②	ステータスバー(S)	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。	
③	操作(O) 	操作画面を表示します。	2. 2. 1または2. 2. 2 参照
④	ファイル(R) 	ファイルリスト画面を表示します。	2. 2. 1または2. 2. 2 参照
⑤	ファイル情報リスト表示(C) 	ファイルリスト画面 (ファイル情報リスト) を表示します。	2. 2. 1または2. 2. 2参照
⑥	ファイル修正コメント表示(M) 	ファイルリスト画面 (ファイル修正コメント) を表示します。	2. 2. 1または2. 2. 2 参照





(3) 「ユーティリティ(U)」メニュー

No.	名称	内容	備考
「表示(V)」メニュー			
①	システム環境設定(E)… 	システム環境設定を行います。	2. 2. 6 参照
②	ソースステップ数をカウン ト 	テキストファイルのステップ数のカウントを指示します。 指定しない場合、ファイルのリストアップのみ行い、ステップ数の カウントは行いません。	
③	CSV ファイル表示(V) 	ファイル情報を CSV ファイル出力し表示します。	
④	ファイルリスト抽出コピー(C) 	ファイルリスト抽出コピーを行います。	2. 2. 7 参照
⑤	選択ファイル抽出コピー→操作 画面に切替(S) 	選択ファイル抽出コピーした抽出先フォルダを使って、操作画 面に切替を行います。 選択ファイルの抽出コピーを行った抽出先フォルダ設定を操作 画面のフォルダに設定します。	2. 2. 8 参照
⑥	表示されているファイルリストを 元にリスト作成フォルダの差分 をチェック(W) 	DAS ファイルのファイル作成情報のファイルを対象にします。 DAS ファイルのファイル作成情報とリスト作成フォルダの異なる ファイル(修正数、削除数)をチェックします。	
⑦	表示されているファイルリストを 元にリスト作成フォルダの差分 をコピー(Y) 	DAS ファイルのファイル作成情報のファイルを対象にします。 DAS ファイルのファイル作成情報とリスト作成フォルダの異なる ファイル(修正数、削除数)をコピーします。	新規作成したファイルのコピーは できません。
⑧	リスト作成フォルダのファイルを 元に DAS ファイル情報との差 分をチェック(V) 	リスト作成フォルダのすべてのファイルを対象にします。 DAS ファイルのファイル作成情報と異なるファイル(修正数、削 除数、新規)をチェックします。	
⑨	リスト作成フォルダのファイルを 元に DAS ファイル情報との差 分をコピー(X) 	リスト作成フォルダのすべてのファイルを対象にします。 DAS ファイルのファイル作成情報と異なるファイル(修正数、削 除数、新規)をコピーします。	新規作成したファイルのコピーが できます。
⑩	一括バイナリダンプ作成(B)	指定ファイルを一括でバイナリダンプ作成をします。	2. 2. 10 参照



(4) 「ヘルプ(H)」メニュー

No.	名称	内容	備考
「ヘルプ(H)」メニュー			
①	バージョン情報(H) 	バージョン情報を表示します。	2. 2. 9 参照

(5) ファイル表示状態選択

No.	名称	内容	備考
ファイル表示状態選択			
①	「不一致ファイル表示」釦 	「不一致ファイル表示」釦の押下状態の時に不一致ファイルを表示します。	ファイルの更新日時が異なる場合を不一致とします。
②	「新規ファイル表示」釦 	「新規ファイル表示」釦の押下状態の時に新規ファイルを表示します。	
③	「削除ファイル表示」釦 	「削除ファイル表示」釦の押下状態の時に削除ファイルを表示します。	
④	「一致ファイル表示」釦 	「一致ファイル表示」釦の押下状態の時に一致ファイルを表示します。	ファイルの更新日時が同じ場合を一致とします。

(6) その他

No.	名称	内容	備考
その他			
①	DAS 取扱説明書 	DAS 取扱説明書を開きます。 本ファイルを開きます。	
②	エクスプローラー 	ファイルエクスプローラーを起動します。 フォルダを指定するために使用します。	

(7) ポップアップメニュー【比較モード】

修正コメント設定 コメント文字列を付加 ファイル情報表示
ファイル抽出コピー ファイル削除 ファイル(OLD)→(NEW)にコピー
テキストファイル表示 テキストファイル表示[行番号] バイナリダンプ表示 バイナリダンプ指定表示 既定のアプリ表示
ファイル比較のDFコマンド表示 WinMergeU コマンド表示 UNDのdiffコマンド表示
バイナリダンプ・ファイル比較プログラム(1)表示
(NEW) 送る (OLD) 送る (比較) 送る
フォルダ (比較) 送る ファイルエクスプローラでフォルダを開く
比較フォルダ (比較) 送る

No.	名称	内容	備考
ポップアップメニュー【比較モード】			
①	修正コメント設定	選択したファイルに修正コメント設定をします。	複数選択可
②	コメント文字列を付加	コメント文字列を修正コメント欄に追加します。 後 : 修正コメントの後にコメント文字列を付加 前 : 修正コメントの前にコメント文字列を付加 置換: 修正コメントをコメント文字列と置き換え	
③	ファイル情報表示	選択したファイルのファイル情報を表示します。 NEW、OLD の片方のファイルが存在しない場合は、比較情報は無効情報です。	
④	ファイル抽出コピー	選択したファイルを抽出コピーします。	複数選択可
⑤	ファイル削除	選択したファイルをファイル削除します。 複数ファイルを選択した場合は、ファイルが存在しなくてもメッセージを表示しません。	複数選択可
⑥	ファイル(OLD)→(NEW)にコピー	選択したファイルを OLD→NEW にコピーします。 フォルダ構成を含めて、コピーします。	複数選択可
⑦	テキストファイル表示	選択したファイルをテキストファイル表示します。	
⑧	テキストファイル表示[行番号]	選択したファイルに行番号を付与して表示します。	
⑨	バイナリダンプ表示	選択したファイルをバイナリダンプして表示します。	
⑩	バイナリダンプ指定表示	選択したファイルを情報に従ってバイナリダンプ指定して表示します。	

No.	名称	内容	備考
ポップアップメニュー【比較モード】			
⑪	既定のアプリ表示	選択したファイルを既定のアプリで表示します。	
⑫	ファイル比較の DF コマンド表示	選択したファイルを DF コマンド表示します。 ファイル比較プログラム(1)を「ユーティリティ(U)」メニューのシステム環境設定(E)…でプログラム及び比較文字列を変更できます。	
⑬	Windows SDK の windiff コマンド表示	選択したファイルを Windows SDK の windiff コマンド表示します。 ファイル比較プログラム(2)を「ユーティリティ(U)」メニューのシステム環境設定(E)…でプログラム及び比較文字列を変更できます。	
⑭	UNIX の diff コマンド表示	選択したファイルを UNIX の diff コマンド表示します。 ファイル比較プログラム(3)を「ユーティリティ(U)」メニューのシステム環境設定(E)…でプログラム及び比較文字列を変更できます。	
⑮	バイナリダンプ diff 表示	選択したファイルをバイナリダンプ後、diff 表示します。	
⑯	(NEW) 送る	選択した NEW ファイルを登録アプリを指定して表示します。 SendTo フォルダにプログラムのショートカットを登録しておくことで使用できます。	
⑰	(OLD) 送る	選択した OLD ファイルを登録アプリを指定して表示します。 SendTo フォルダにプログラムのショートカットを登録しておくことで使用できます。	
⑱	(比較) 送る	選択した NEW ファイルと OLD ファイルを登録アプリを指定して比較します。 SendToDiff フォルダにプログラムのショートカットを登録しておくことで使用できます。	
⑲	フォルダ(比較) 送る	選択したファイルの存在するディレクトリパスを登録アプリを指定して比較します。	
⑳	ファイルエクスプローラでフォルダを開く	選択したファイルの存在するフォルダをファイルエクスプローラで開きます。 指定フォルダが存在しない場合は、ログイン時のデフォルトフォルダに移動します。	
㉑	比較フォルダ(比較) 送る	操作画面の比較フォルダ1、比較フォルダ2を登録アプリを指定して比較します。 SendToDiff フォルダにプログラムのショートカットを登録しておくことで使用できます。	

(8) ポップアップメニュー【リストモード】

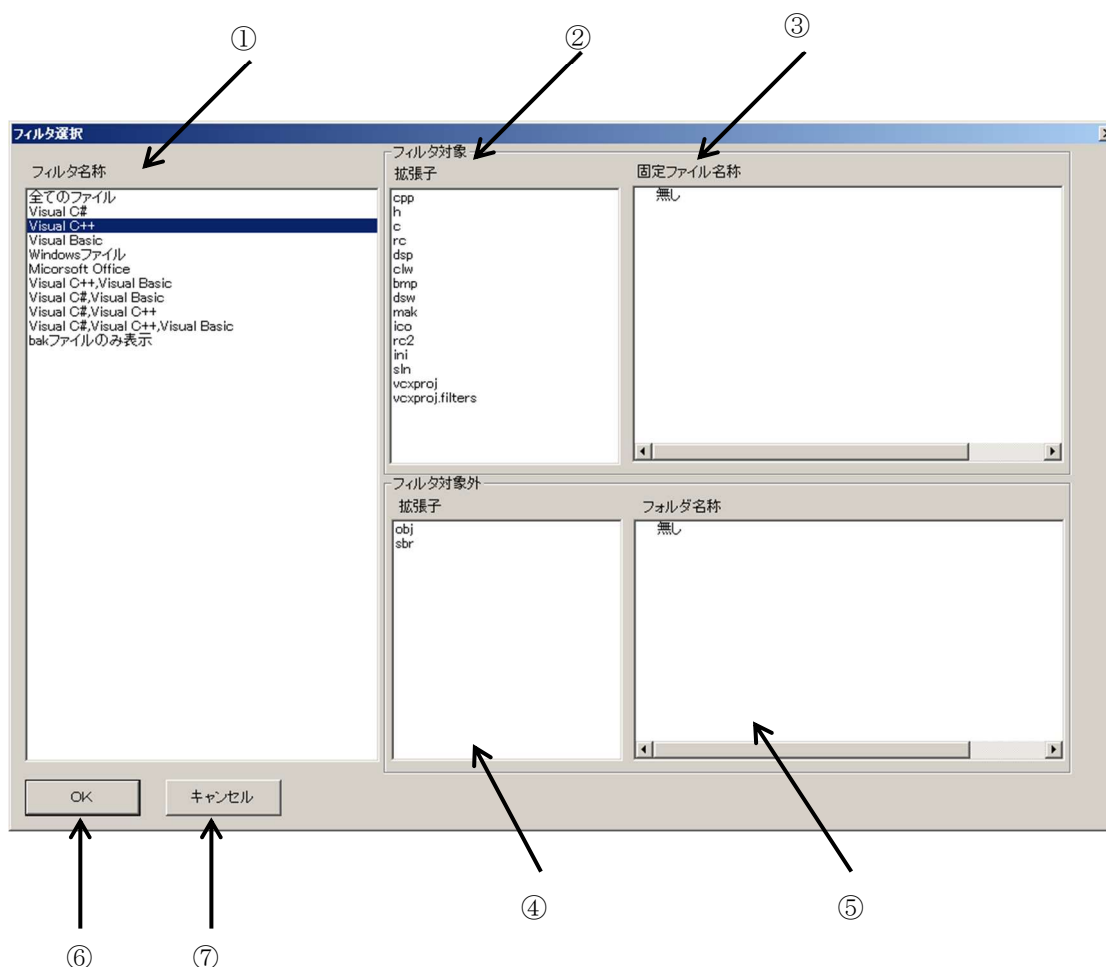
修正コメント設定 コメント文字列を付加 ファイル情報表示
ファイル抽出コピー ファイル削除 選択ファイル(OLD)を抽出フォルダ(NEW)にコピー
テキストファイル表示 テキストファイル表示[行番号] バイナリダンプ表示 バイナリダンプ指定表示 既定のアプリ表示
(OLD) 送る
ファイルエクスプローラでフォルダを開く

No.	名称	内容	備考
ポップアップメニュー【リストモード】			
①	修正コメント	選択したファイルに修正コメント設定をします。	複数選択可
②	コメント文字列を付加	コメント文字列を修正コメント欄に追加します。 後 : 修正コメントの後にコメント文字列を付加 前 : 修正コメントの前にコメント文字列を付加 置換: 修正コメントをコメント文字列と置き換え	
③	ファイル情報表示	選択したファイルのファイル情報を表示します。 OLD ファイル情報として表示します。	
④	ファイル抽出コピー	指定したファイルを抽出先フォルダにコピーします。	
⑤	ファイル削除	選択したファイルを削除します。	複数選択可
⑥	選択ファイル(OLD)を抽出フォルダ(NEW)にコピー	選択ファイル(OLD)を抽出フォルダ(NEW)にコピーします。 フォルダリストのファイルを抽出できます。	複数選択可
⑦	テキストファイル表示	選択したファイルをテキストファイル表示します。	
⑧	テキストファイル表示[行番号]	選択したファイルに行番号を付与して表示します。	
⑨	バイナリダンプ表示	選択したファイルをバイナリダンプして表示します。	
⑩	バイナリダンプ指定表示	選択したファイルを情報に従ってバイナリダンプ指定して表示します。	
⑪	既定のアプリ表示	選択したファイルを既定のアプリで表示します。	
⑫	(OLD) 送る	選択した OLD ファイルを登録アプリを指定して表示します。	
⑬	ファイルエクスプローラでフォルダを開く	選択したファイルの存在するフォルダをファイルエクスプローラで開きます。 指定フォルダが存在しない場合は、ログイン時のデフォルトフォルダに移動します。	

2. 2. 4 フィルタ選択ダイアログ

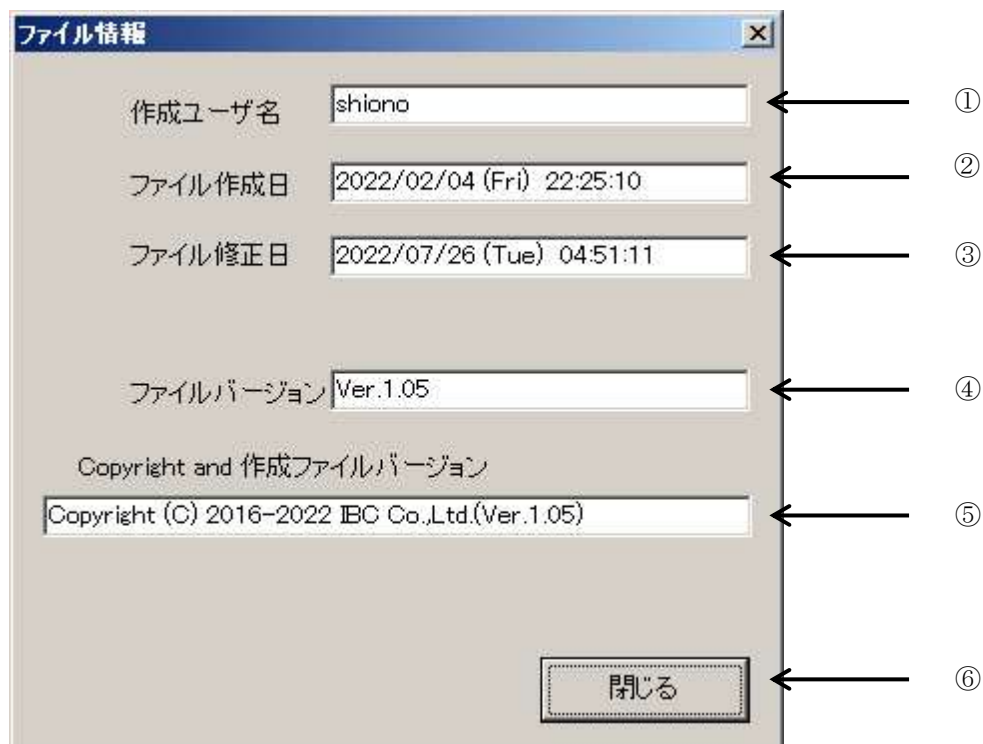
フィルタ選択を変更するためのダイアログです。

フィルタ名称を選択すると、選択したフィルタの定義内容(フィルタ対象:[拡張子、固定ファイル名称])、フィルタ対象外:[拡張子、フォルダ名称]場合にフィルタの定義内容を示し



No.	名称	内容	備考
①	ファイル名称	設定の定義 CSV ファイルを選択します。 初期値ファイル(DAS.ini)で定義しているフィルタ名称です。	
②	フィルタ対象: 拡張子	ファイルリストに表示対象となる拡張子を指定します。 ex. cpp	
④	フィルタ対象: 固定ファイル名称	ファイルリストに表示対象となる固定ファイル名称を指定します。 ex. makefile	
⑤	フィルタ対象外: 拡張子	ファイルリストに表示対象外となる拡張子を指定します。 ex. cpp	
⑥	フィルタ対象外: フォルダ名称	ファイルリストに表示対象外となるフォルダ名称を指定します。 ex. debug	
⑦	OK 鈕	選択した設定の定義 CSV ファイルを読み出し、その定義内容に従って表示します。 また、「CSV ファイル選択鈕」に新たに割り付けます。	
⑧	キャンセル鈕	何もせずにダイアログを閉じます。	

2. 2. 5 ファイル情報ダイアログ



No.	名称	内容	備考
①	作成ユーザ名	ファイルを作成したログインユーザ名を示します。	
②	ファイル作成日	ファイルを作成した日時を示します。	
③	ファイル修正日	ファイルを修正した日時を示します。	
④	ファイルバージョン	ファイルのバージョンを示します。	
⑤	Copyright and 作成バージョン	コピーライトと作成したプログラムのバージョンです。	
⑥	キャンセル釦	何もせずにダイアログを閉じます。	

2. 2. 6 システム環境設定ダイアログ

(1) 「表示 & CSV 出力設定」タブ

＜比較モードの場合＞



No.	名称	内容	備考
①	「CSV 出力」チェック鉤	CSV 出力する項目を指定します。	
②	「表示」鉤	表示する。項目を指定します。	
③	「OK」鉤	「OK」鉤をクリックすると表示内容を設定しダイアログを閉じます。	
④	「キャンセル」鉤	「キャンセル」鉤をクリックするとにもせずにダイアログを閉じます。	
⑤	レコード毎ヘッダ(ファイル位置)出力しない	レコード指定のバイナリダンプにおいて、レコード毎にファイル位置情報を出力しないようにします。	＜例＞を参照のこと。
⑥	レコード毎ヘッダ(レコード情報)出力しない	レコード指定のバイナリダンプにおいて、レコード毎にレコード情報を出力しないようにします。	＜例＞を参照のこと。

＜指定無しの場合の例＞

[1 / 279] FilePos= 0000000000000000(0x0000000000000000) RecSize= 00000512(0x00000200) RecPos= 00000000(0x00000000) RecDmpSize= 00000128(0x00000080)

＜レコード毎ヘッダ(ファイル位置)出力しないの例＞

[1 / 14] RecSize= 00004096(0x00001000) RecPos= 00000000(0x00000000) RecDmpSize= 00000128(0x00000080)

＜レコード毎ヘッダ(レコード情報)出力しないの例＞

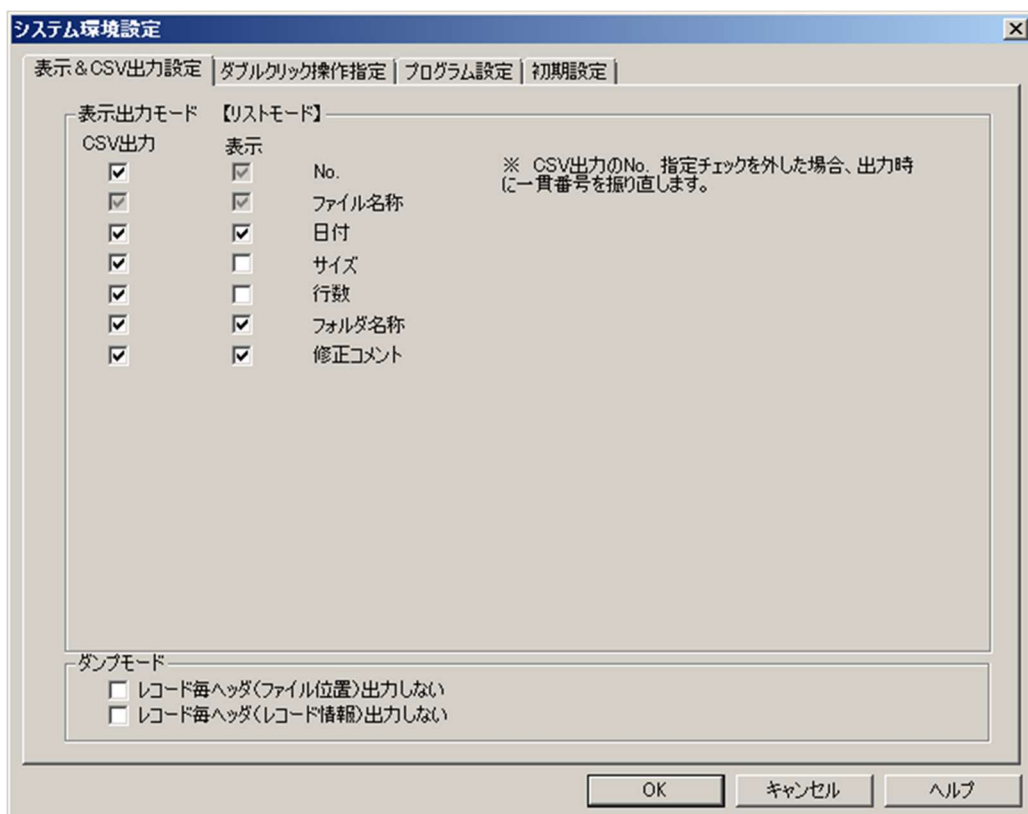
[1 / 18] FilePos= 0000000000000000(0x0000000000000000)

＜レコード毎ヘッダ(ファイル位置)出力しないとレコード毎ヘッダ(レコード情報)出力しないの両方を指定した例＞

[1 / 18]

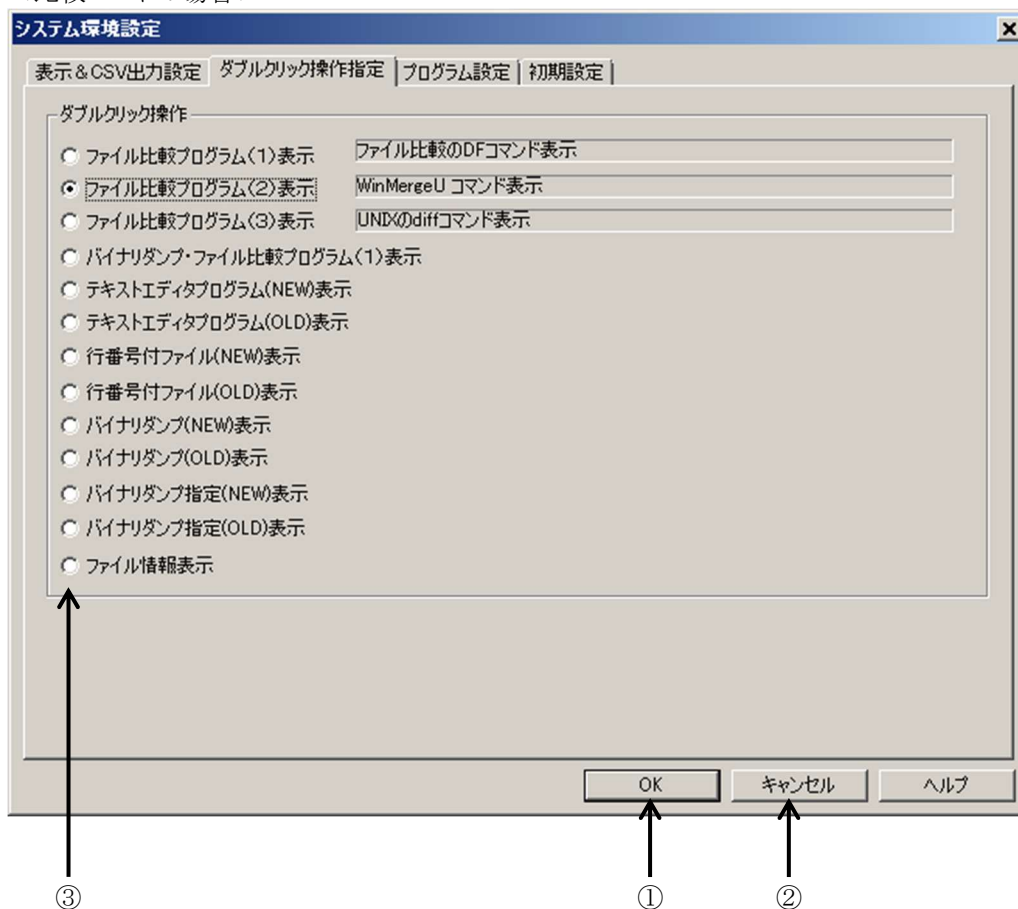
※ 両方指定した場合は、レコード番号のみ表示します。

<リストモードの場合>



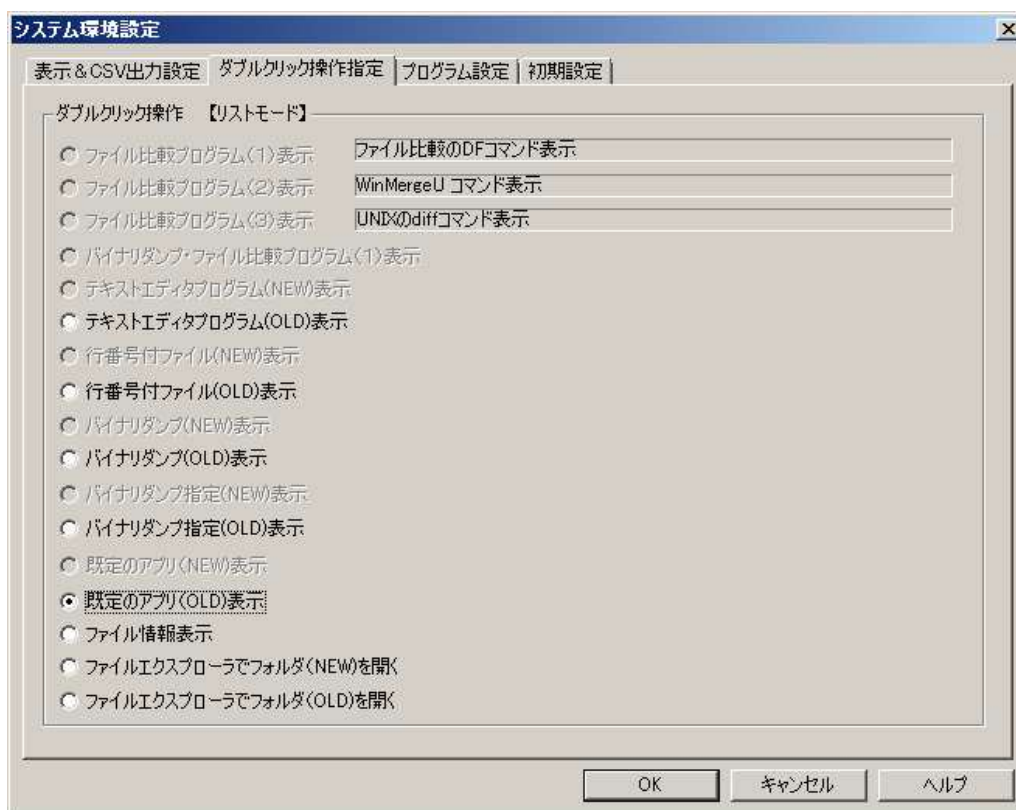
(2) 「ダブルクリック操作設定」タブ

DAS コマンドを起動時の初期表示、またはファイルの新規作成時の初期表示する情報を指定します。
 < 比較モードの場合 >

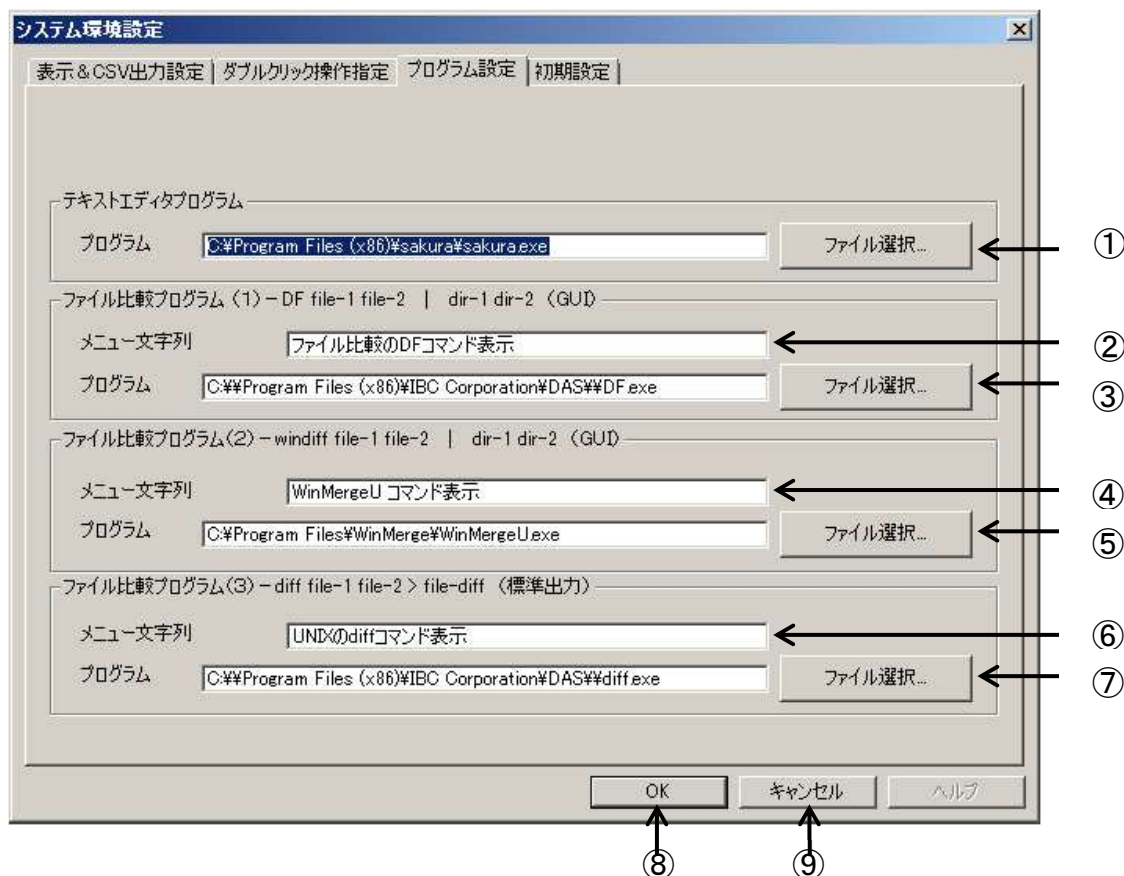


No.	名称	内容	備考
①	「ダブルクリック操作」ラジオ 釦	ファイルリストをダブルクリックした時の操作を指定します。	
②	OK 釦	「OK」釦をクリックすると表示内容を設定しダイアログを閉じます。	
③	キャンセル釦	「キャンセル」釦をクリックするとなにもせずにダイアログを閉じます。	

<リストモードの場合>



(3) 「プログラム設定」タブ

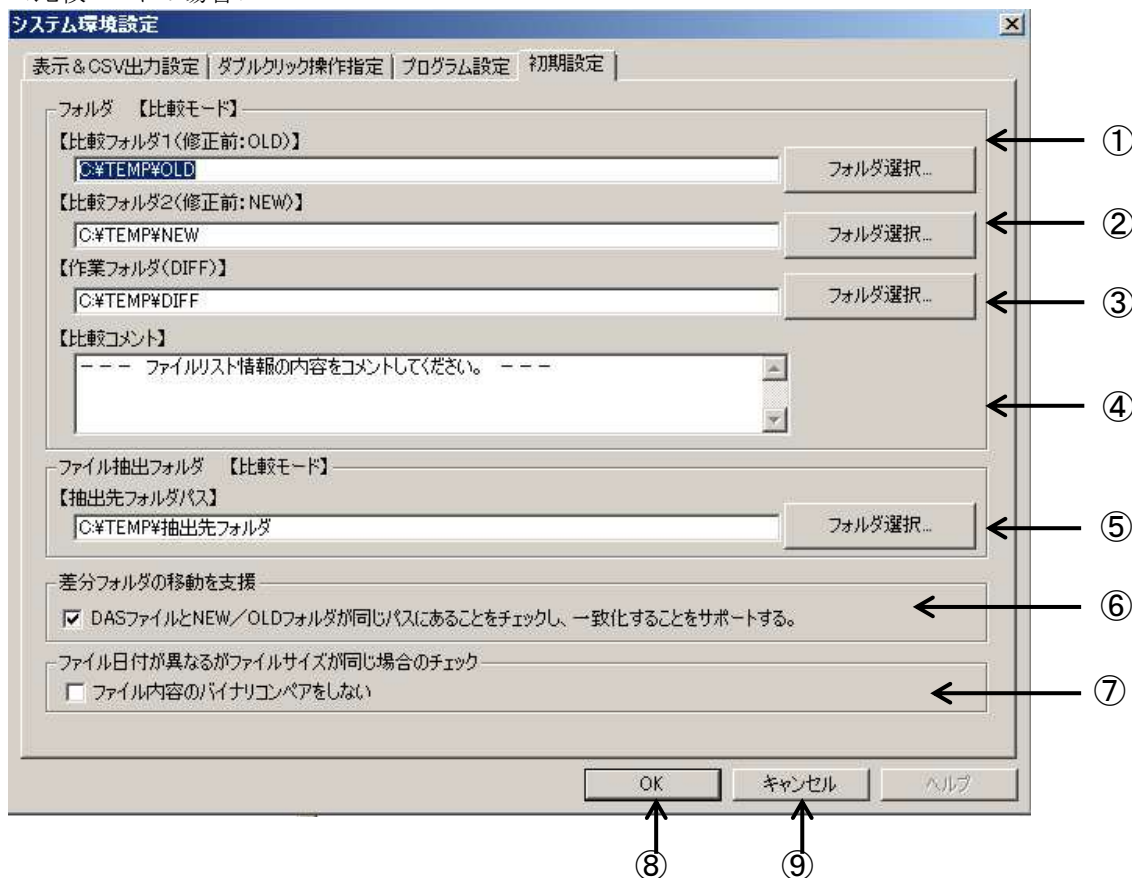


No.	名称	内容	備考
①	テキストエディタプログラム 「ファイル選択…」鈕	テキストファイルを表示するプログラムを指定します。 指定しない場合、Windows の notepad により開くように設定してあります。	
②	ファイル比較プログラム(1) のメニュー文字列指定	ファイル比較プログラム(1)のメニュー表示文字列を指定します。 指定しない場合、”ファイル比較の DF コマンド表示”と表示します。	
③	ファイル比較プログラム(1) 「ファイル選択…」鈕	ファイル比較を行うプログラム(GUI)を指定します。 指定しない場合、DF コマンドにより開くように設定してあります。	
④	ファイル比較プログラム(2) のメニュー文字列指定	ファイル比較プログラム(2)のメニュー表示文字列を指定します。 指定しない場合、”Windows SDK の windiff コマンド表示”と表示します。	
⑤	ファイル比較プログラム(2) 「ファイル選択…」鈕	ファイル比較を行うプログラム(GUI)を指定します。 指定しない場合、windiff コマンドにより開くように設定してあります。	
⑥	ファイル比較プログラム(3) のメニュー文字列指定	ファイル比較プログラム(3)のメニュー表示文字列を指定します。 指定しない場合、”UNIX の diff コマンド表示”と表示します。	
No.	名称	内容	備考
⑦	ファイル比較プログラム(3) 「ファイル選択…」鈕	ファイル比較を行うプログラム(標準出力)を指定します。 指定しない場合、diff コマンドにより開くように設定してあります。	
⑧	「OK」鈕	「OK」鈕をクリックすると表示内容を設定しダイアログを閉じます。	
⑨	「キャンセル」鈕	「キャンセル」鈕をクリックするとなにもせずにダイアログを閉じます。	

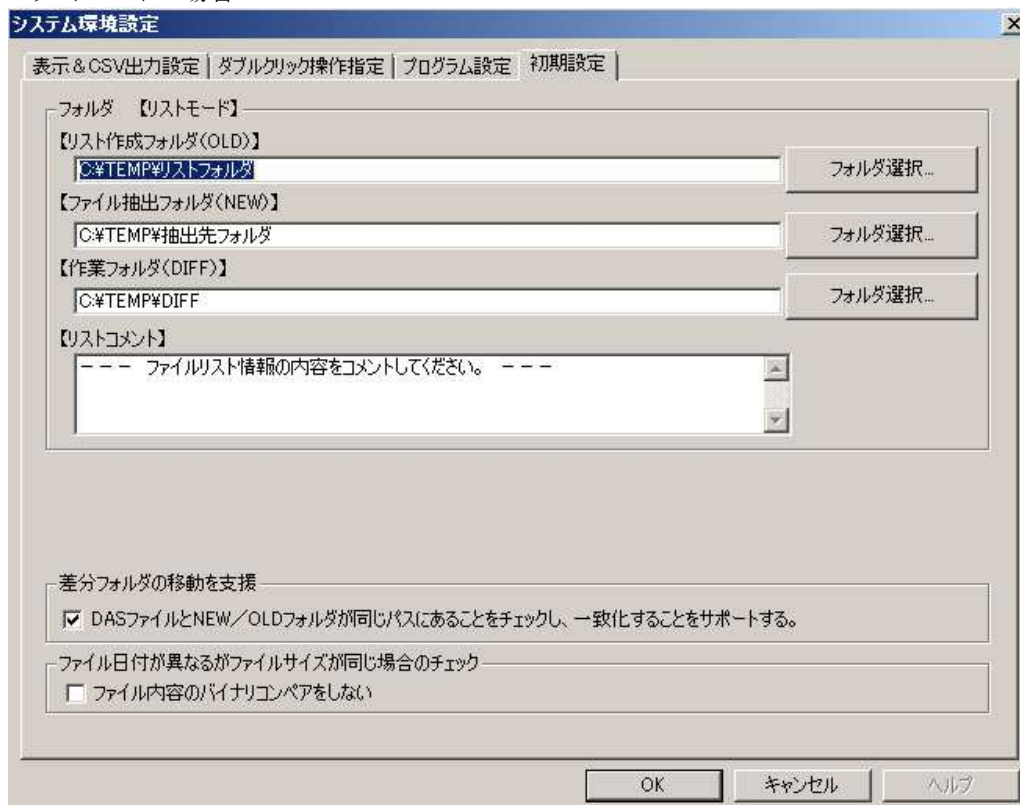
(4) 「初期設定」タブ

DAS コマンドを起動時の初期表示、またはファイルの新規作成時の初期表示する情報を指定します。

＜比較モードの場合＞

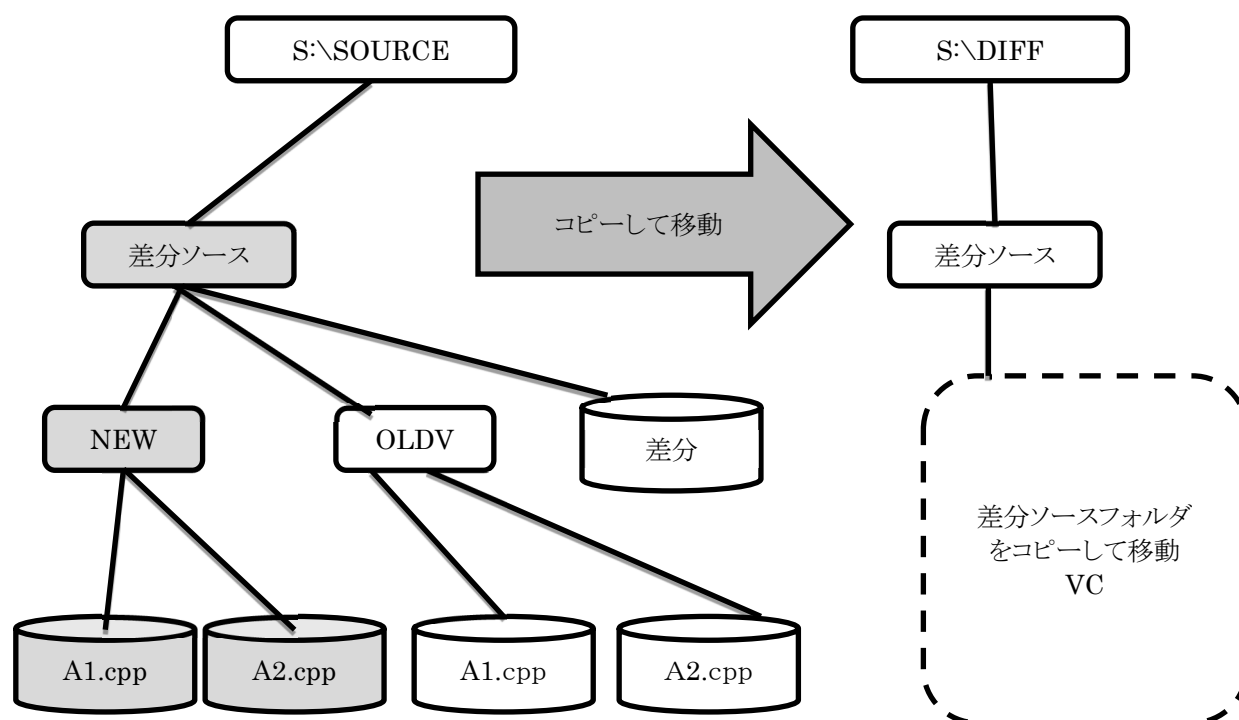


＜リストモードの場合＞



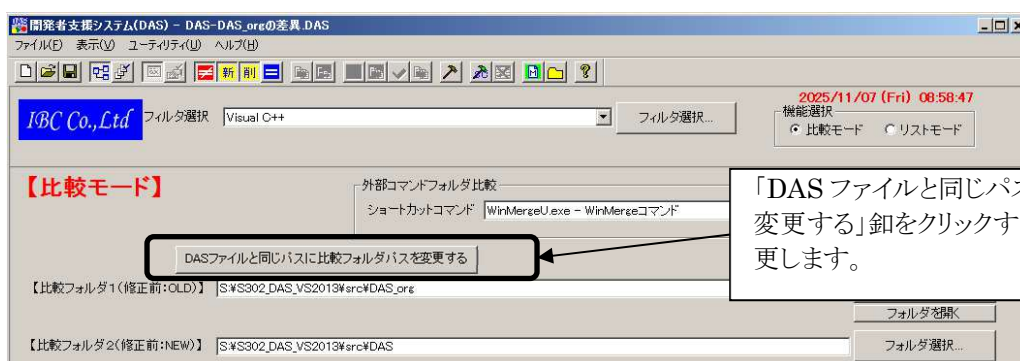
No.	名称	内容	備考
①	【比較フォルダ1(修正前:OLD)】 「フォルダ選択…」鈕	【比較フォルダ1(修正前:OLD)】のフォルダを指定します。 ファイルエクスプローラーからフォルダをドラッグ&ドロップするか、「フォルダ選択…」鈕をクリックして抽出先フォルダを指定してください。	
②	【比較フォルダ2(修正前:NEW)】 「フォルダ選択…」鈕	【比較フォルダ2(修正前:NEW)】のフォルダを指定します。 ファイルエクスプローラーからフォルダをドラッグ&ドロップするか、「フォルダ選択…」鈕をクリックして抽出先フォルダを指定してください。	
③	【作業フォルダパス(DIFF)】 「フォルダ選択…」鈕	【作業フォルダパス(DIFF)】のフォルダを指定します。 ファイルエクスプローラーからフォルダをドラッグ&ドロップするか、「フォルダ選択…」鈕をクリックして抽出先フォルダを指定してください。	
④	【コメント】	比較モード、またはリストモードで作成したファイル情報の内容を指定します。	
⑤	ファイル抽出フォルダ【比較モード】 「フォルダ選択…」鈕	ファイル抽出コピー時に使用するフォルダパスを指定します。 ファイルエクスプローラーからフォルダをドラッグ&ドロップするか、「フォルダ選択…」鈕をクリックして抽出先フォルダを指定してください。	
⑥	DAS ファイルと NEW/OLD フォルダが同じパスにあることをチェックし、一致化することをサポートする。	チェックボックスをチェックすると、本機能が有効になります。 詳細は、次頁の説明を参照ください。	
⑦	ファイル日付が異なるがファイルサイズが同じ場合のチェック	ファイル内容のバイナリコンペアをしない。 指定しない場合、ファイルのバイナリ比較を行い、内容が一致するかを判定します。	
⑧	OK 鈕	「OK」鈕をクリックすると表示内容を設定しダイアログを閉じます。	
⑨	キャンセル鈕	「キャンセル」鈕をクリックするとなにもせずにダイアログを閉じます。	

【説明】

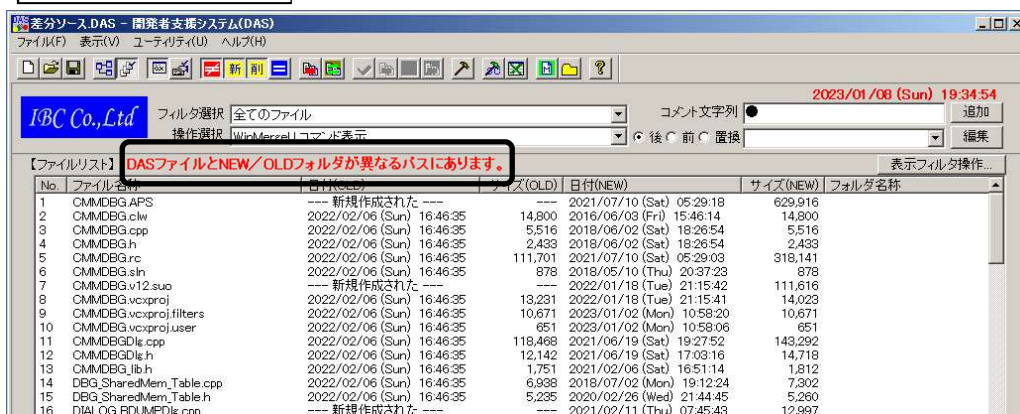


※ 上図のようにフォルダパス=S:\SOURCE から S:\DIFF へ差分ソースフォルダをコピーした場合、差分.das ファイルの比較フォルダ1、比較フォルダ2は、S:\SOURCE\NEW、S:\SOURCE\OLDV のままなので、S:\DIFF\NEW、S:\DIFF\OLDV に変更が必要になる。

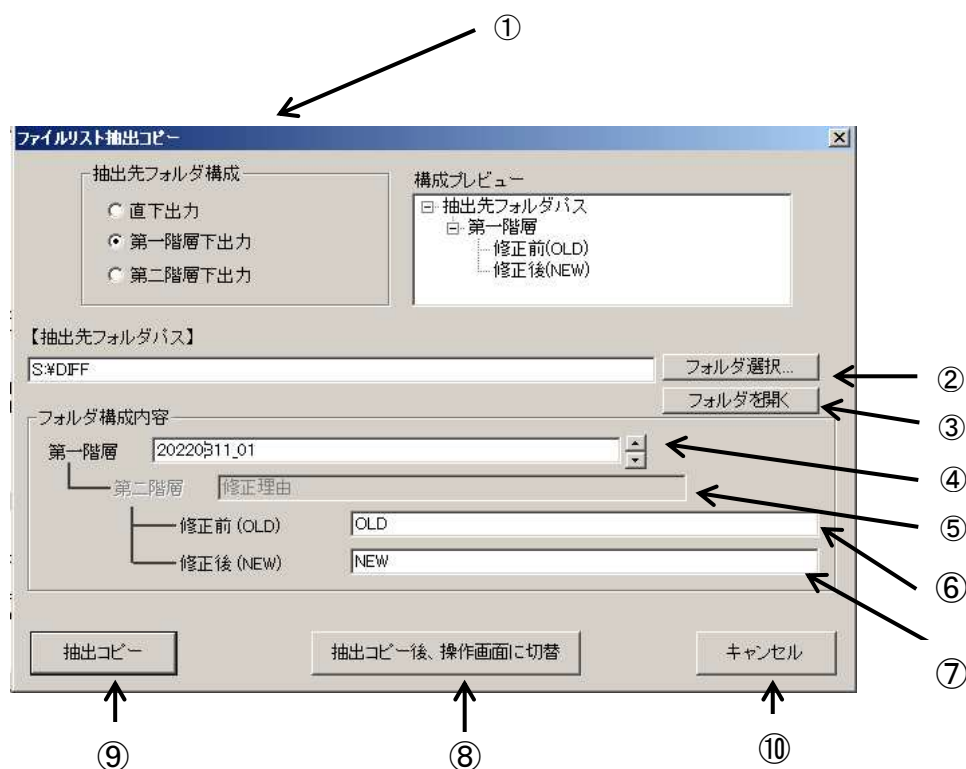
操作画面



ファイルリスト画面



2. 2. 7 ファイルリスト抽出コピーダイアログ

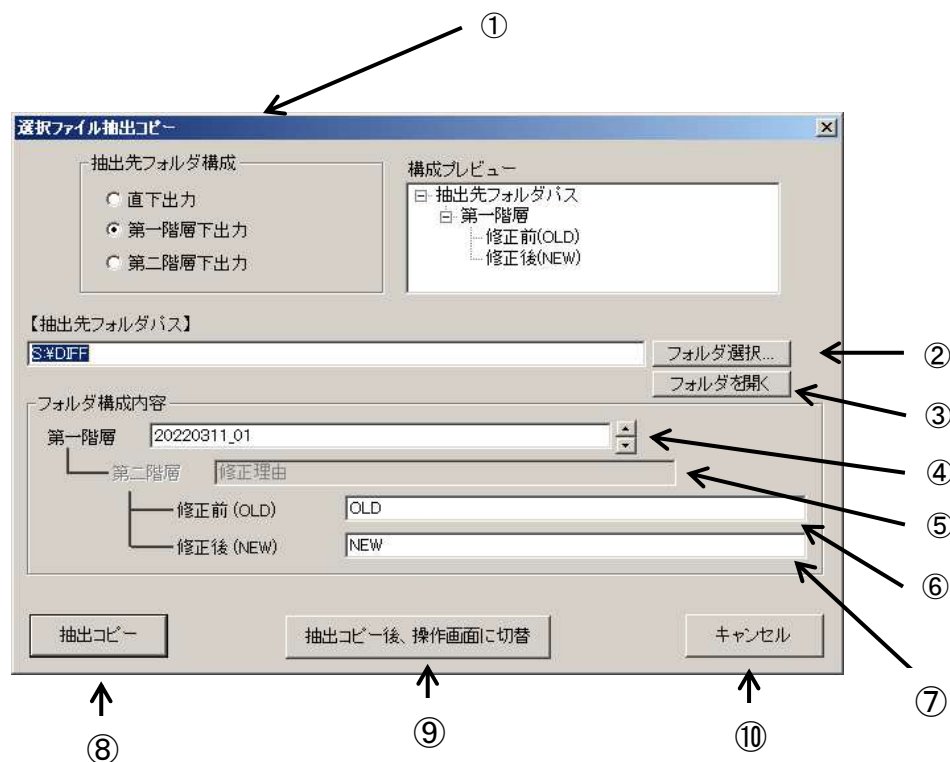


抽出先フォルダ構成

抽出先フォルダ構成 <input checked="" type="radio"/> 直下出力 <input type="radio"/> 第一階層下出力 <input type="radio"/> 第二階層下出力	構成プレビュー 抽出先フォルダパス 第一階層 修正前(OLD) 修正後(NEW)
抽出先フォルダ構成 <input type="radio"/> 直下出力 <input checked="" type="radio"/> 第一階層下出力 <input type="radio"/> 第二階層下出力	構成プレビュー 抽出先フォルダパス 第一階層 修正前(OLD) 修正後(NEW)
抽出先フォルダ構成 <input type="radio"/> 直下出力 <input type="radio"/> 第一階層下出力 <input checked="" type="radio"/> 第二階層下出力	構成プレビュー 抽出先フォルダパス 第一階層 第二階層 修正前(OLD) 修正後(NEW)

No.	名称	内容	備考
①	抽出先フォルダ構成	抽出先フォルダ構成を指定します。	
②	抽出先フォルダパス 「フォルダ選択」釦	抽出先フォルダパスを指定します。 ファイルエクスプローラからフォルダをドラッグ&ドロップするか、「フォルダ選択…」釦をクリックして抽出先フォルダを指定してください。	
③	「フォルダを開く」釦	抽出先フォルダパスをファイルエクスプローラで開きます。	
④	第一階層	構成プレビューの第一階層のフォルダ名を指定します。	
⑤	第二階層	構成プレビューの第二階層のフォルダ名を指定します。	
⑥	修正前(OLD)	構成プレビューの修正前(OLD)のフォルダ名を指定します。	
⑦	修正後(NEW)	構成プレビューの修正後(NEW)のフォルダ名を指定します。	
⑧	「抽出コピー」釦	「抽出コピー」釦をクリックすると、抽出先フォルダのフォルダ構成で指定したフォルダへファイルリストに表示されているファイルをコピーします。	
⑨	「抽出コピー後、操作画面に切替」釦	「抽出コピー」釦をクリックすると、抽出先フォルダのフォルダ構成で指定したフォルダへファイルリストに表示されているファイルをコピー後、操作画面に切替を行う。	
⑩	「キャンセル」釦	「キャンセル」釦をクリックすると、何もせずにダイアログを閉じます。	

2. 2. 8 選択ファイル抽出コピーダイアログ



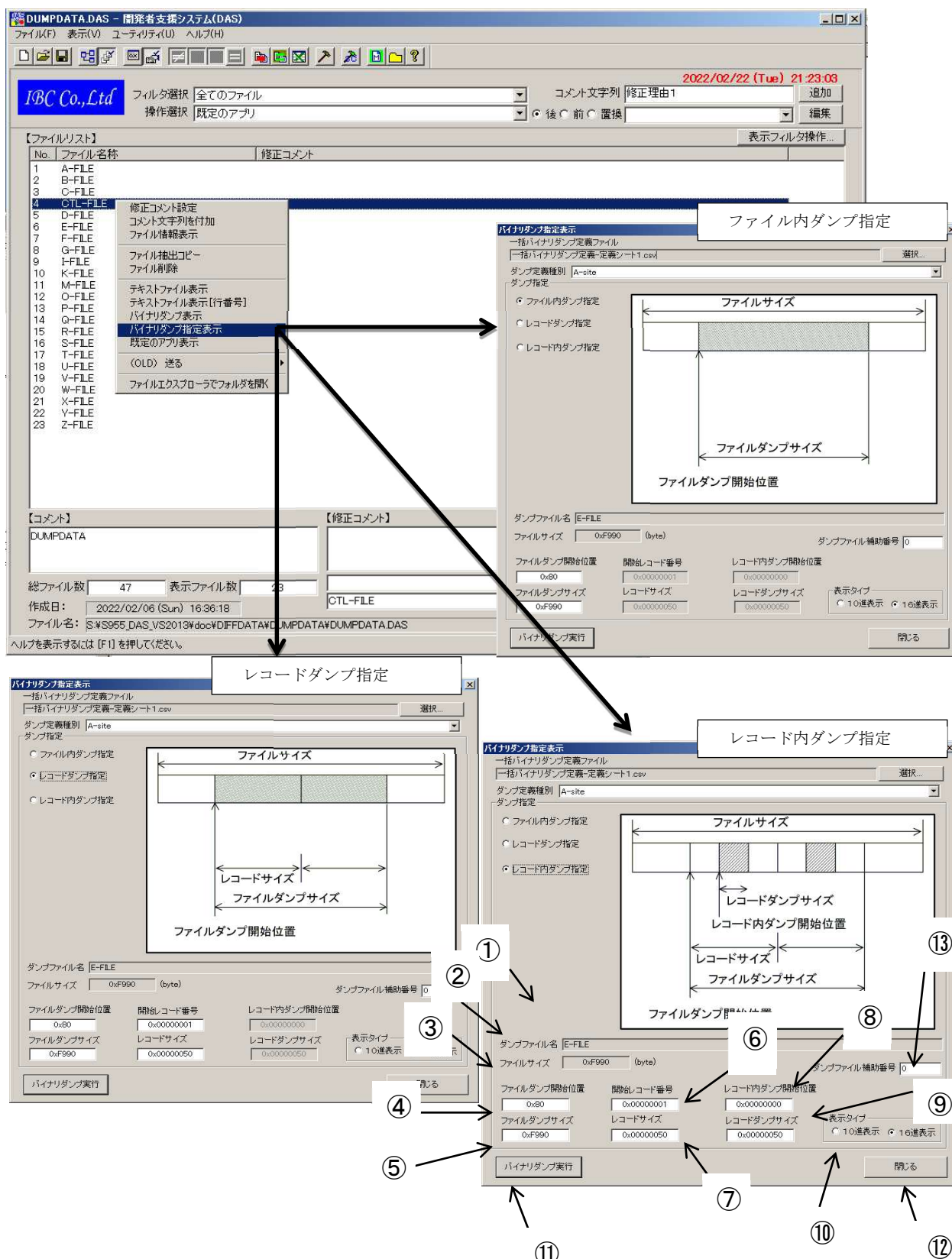
抽出先フォルダ構成

<p>抽出先フォルダ構成</p> <p><input checked="" type="radio"/> 直下出力</p> <p><input type="radio"/> 第一階層下出力</p> <p><input type="radio"/> 第二階層下出力</p>	<p>構成プレビュー</p> <p>抽出先フォルダパス</p> <p>第一階層</p> <p>修正前(OLD)</p> <p>修正後(NEW)</p>
<p>抽出先フォルダ構成</p> <p><input type="radio"/> 直下出力</p> <p><input checked="" type="radio"/> 第一階層下出力</p> <p><input type="radio"/> 第二階層下出力</p>	<p>構成プレビュー</p> <p>抽出先フォルダパス</p> <p>第一階層</p> <p>修正前(OLD)</p> <p>修正後(NEW)</p>
<p>抽出先フォルダ構成</p> <p><input type="radio"/> 直下出力</p> <p><input type="radio"/> 第一階層下出力</p> <p><input checked="" type="radio"/> 第二階層下出力</p>	<p>構成プレビュー</p> <p>抽出先フォルダパス</p> <p>第一階層</p> <p>第二階層</p> <p>修正前(OLD)</p> <p>修正後(NEW)</p>

No.	名称	内容	備考
⑪	抽出先フォルダ構成	抽出先フォルダ構成を指定します。	
②	抽出先フォルダパス 「フォルダ選択」釦	抽出先フォルダパスを指定します。 ファイルエクスプローラからフォルダをドラッグ&ドロップするか、「フォルダ選択…」釦をクリックして抽出先フォルダを指定してください。	
③	「フォルダを開く」釦	抽出先フォルダパスをファイルエクスプローラで開きます。	
④	第一階層	構成プレビューの第一階層のフォルダ名を指定します。	
⑤	第二階層	構成プレビューの第二階層のフォルダ名を指定します。	
⑥	修正前(OLD)	構成プレビューの修正前(OLD)のフォルダ名を指定します。	
⑦	修正後(NEW)	構成プレビューの修正後(NEW)のフォルダ名を指定します。	
⑧	「抽出コピー」釦	「抽出コピー」釦をクリックすると、抽出先フォルダのフォルダ構成で指定したフォルダへファイルリストに表示されているファイルをコピーします。	
⑨	「抽出コピー後、操作画面に切替」釦	「抽出コピー」釦をクリックすると、抽出先フォルダのフォルダ構成で指定したフォルダへファイルリストに表示されているファイルをコピー後、操作画面に切替を行う。	
⑩	「キャンセル」釦	「キャンセル」釦をクリックすると、何もせずにダイアログを閉じます。	

2. 2. 9 バイナリダンプ指定表示ダイアログ

ファイルリストから選択したファイルのバイナリダンプ方法(3種類)を指定して表示します。

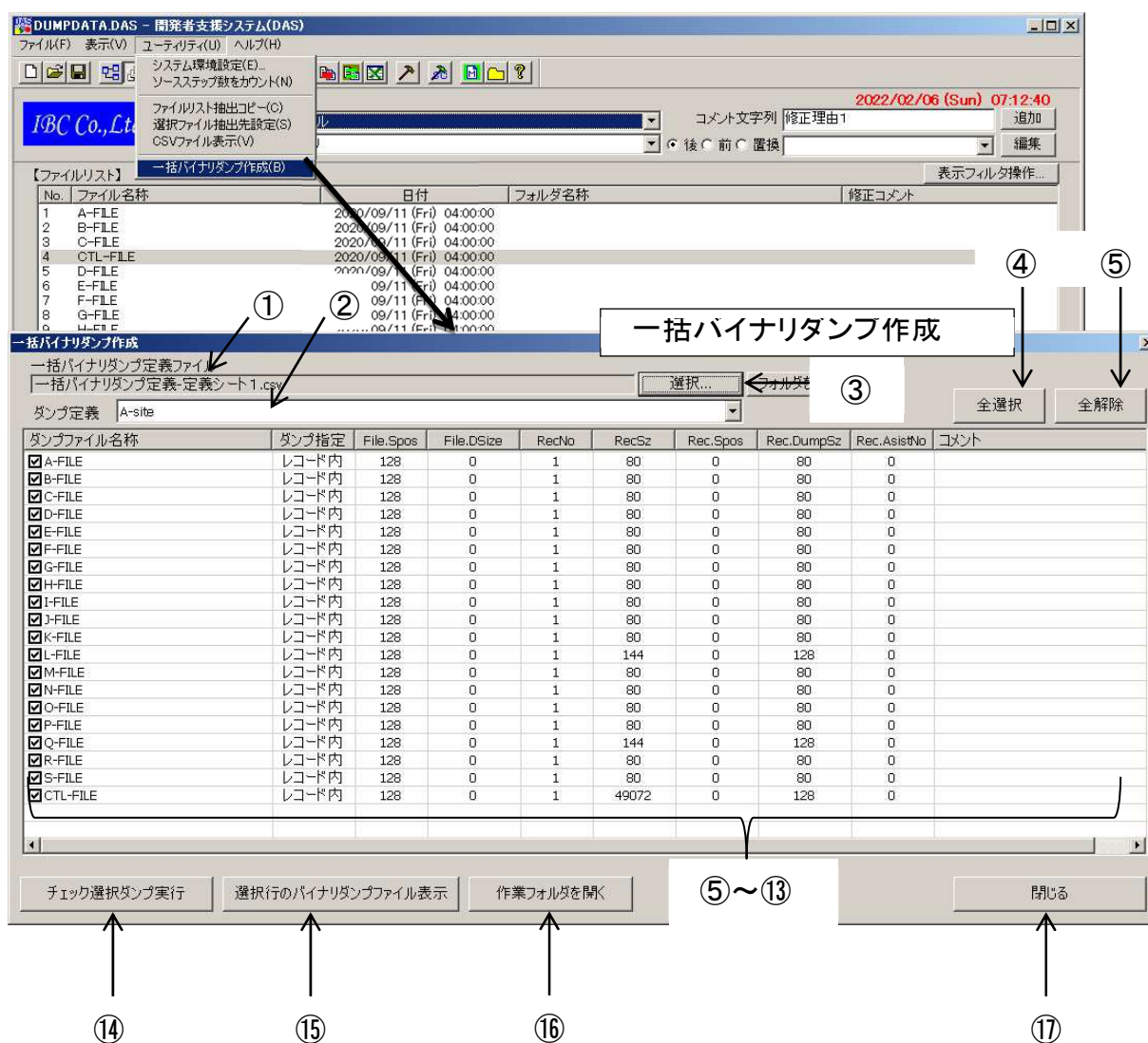


- ・ ファイル内ダンプ指定
ファイルを指定位置から連続でダンプします。
- ・ レコードダンプ指定
ファイルを指定位置からレコードサイズを指定して、レコード毎に開始レコード番号から順番に付番して表示します。
- ・ レコード内ダンプ指定
レコード内の指定位置からレコードダンプサイズを指定して、レコード毎に開始レコード番号から順番に付番してレコードの一部を抽出してダンプします。

No.	名称	内容	備考
①	ダンプ定義種別	一括バイナリダンプ定義ファイルに定義したダンプ定義種別を表示します。	
②	ダンプファイル名	バイナリダンプ対象のファイル名称を表示します。	
③	ファイルサイズ	バイナリダンプ対象のファイルのサイズを報じます、	
④	ファイルダンプ開始位置	ファイルのダンプ開始位置を0相対のバイトで指定します。	必須項目
⑤	ファイルダンプサイズ	バイナリダンプするサイズをバイトで指定します。	必須項目
⑥	開始レコード番号	バイナリダンプしたレコードの開始レコード番号を指定します。	「レコードダンプ指定」 「レコード内ダンプ指定」
⑦	レコードサイズ	1レコードのサイズを指定します。	「レコードダンプ指定」 「レコード内ダンプ指定」
⑧	レコード内ダンプ開始位置	レコード内ダンプ開始位置を0相対のバイトで指定します。	「レコードダンプ指定」
⑨	レコードダンプサイズ	レコード内ダンプサイズをバイトで指定します。	「レコードダンプ指定」
⑩	表示タイプ	数値の表示を10進／16進切り替えて表示します。	
⑪	ダンプ実行	「ダンプ実行」鈕をクリックすると指定に従って、ダンプを実行します。	
⑫	閉じる	ダイアログを閉じます。	
⑬	ダンプファイル補助番号	バイナリダンプファイル名称に付加する補助番号です。 同じバイナリファイルのパラメータを変更してダンプする場合に有効です。	

2. 2. 10 一括バイナリダンプ作成ダイアログ

あらかじめ定義したファイルのダンプ方法に従って、指定したファイルのバイナリダンプを作成します。

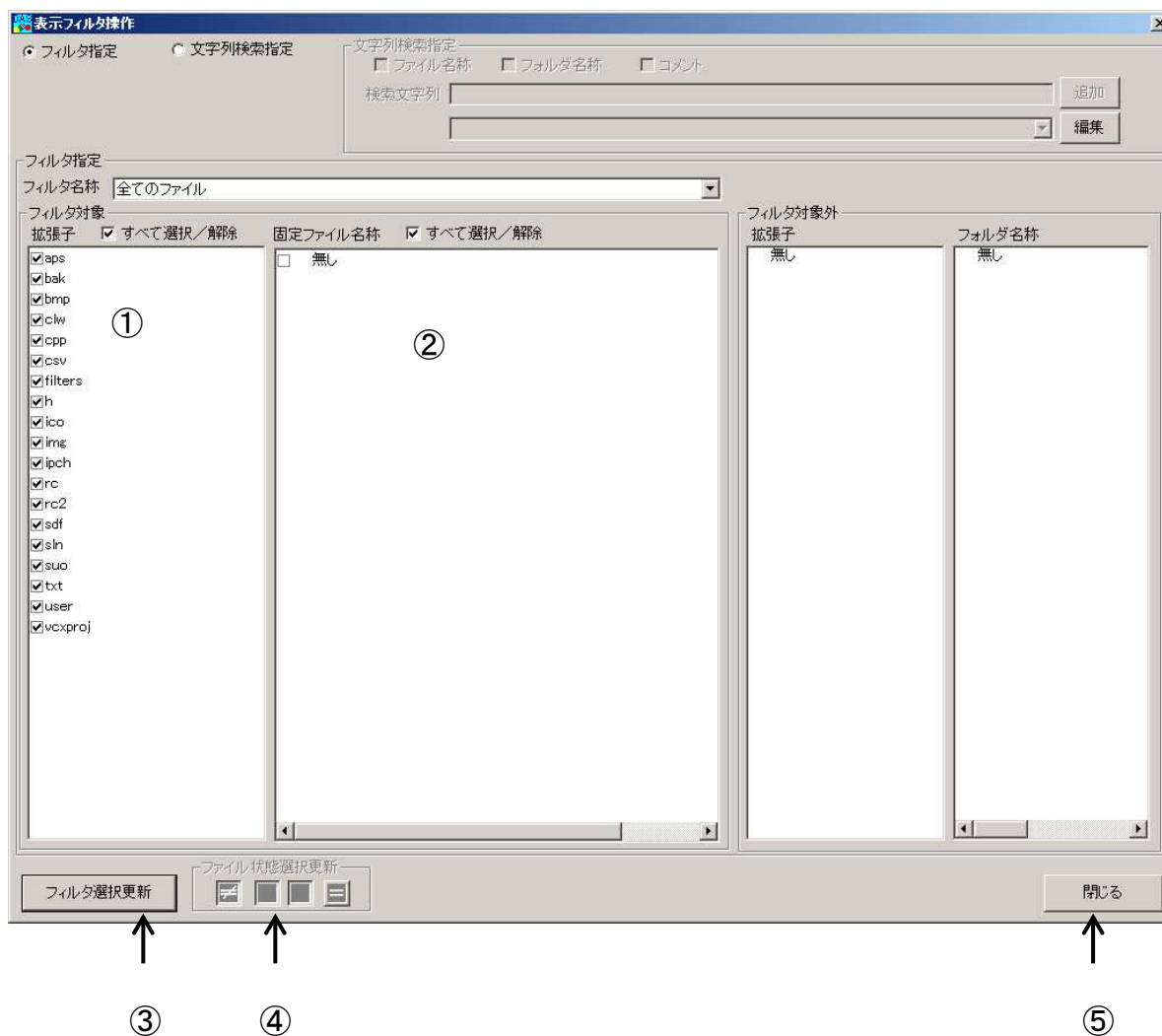



No.	名称	内容	備考
①	一括バイナリダンプ定義ファイル	使用中の一括バイナリダンプ定義ファイルを表示します。	
②	ダンプ定義種別	使用中のダンプ定義種別を表示します。	
③	選択…鉤	使用中の一括バイナリダンプ定義ファイルを変更するために使用します。	
④	ダンプファイル名称	バイナリダンプ対象のファイル名称を表示します。	
⑤	ファイルサイズ	バイナリダンプ対象のファイルのサイズを報じます、	
⑥	ファイルダンプ開始位置	ファイルのダンプ開始位置を0相対のバイトを表示します。	
⑦	ファイルダンプサイズ	バイナリダンプするサイズをバイトを表示します。	
⑧	開始レコード番号	バイナリダンプしたレコードの開始レコード番号を表示します。	レコードダンプ指定 レコード内ダンプ指定
⑨	レコードサイズ	1レコードのサイズを表示します。	レコードダンプ指定 レコード内ダンプ指定
⑩	レコード内ダンプ開始位置	レコード内ダンプ開始位置を0相対のバイトで表示します。	レコード内ダンプ指定
⑪	レコードダンプサイズ	レコード内ダンプサイズをバイトで表示します。	レコード内ダンプ指定
⑫	ダンプファイル補助番号	バイナリダンプファイル名称に付加する補助番号です。 同じバイナリファイルパラメータを変更してダンプする場合に有効です。	
⑬	コメント	ダンプ内容のコメントを表示します。	
⑭	チェック選択ダンプ実行	チェック選択したダンプファイルのバイナリダンプファイルを作成します。	
⑮	選択行のバイナリダンプファイル表示	選択行のバイナリダンプファイルを作成、表示します。 ※ 指定したファイルと同じ名前のファイルが複数存在する場合、同じダンプ方法でダンプファイルを作成します。 同じ名前のファイルが複数存在する場合は、最初に作成したバイナリダンプファイルを表示します。	
⑯	作業フォルダを開く	バイナリダンプファイルは、作業フォルダパス(DIFF)下に作成します。バイナリダンプファイルを見る場合は、作業フォルダパスを開いてください。	
⑰	閉じる	ダイアログを閉じます。	

2. 2. 11 表示フィルタ操作ダイアログ

(1) フィルタ指定

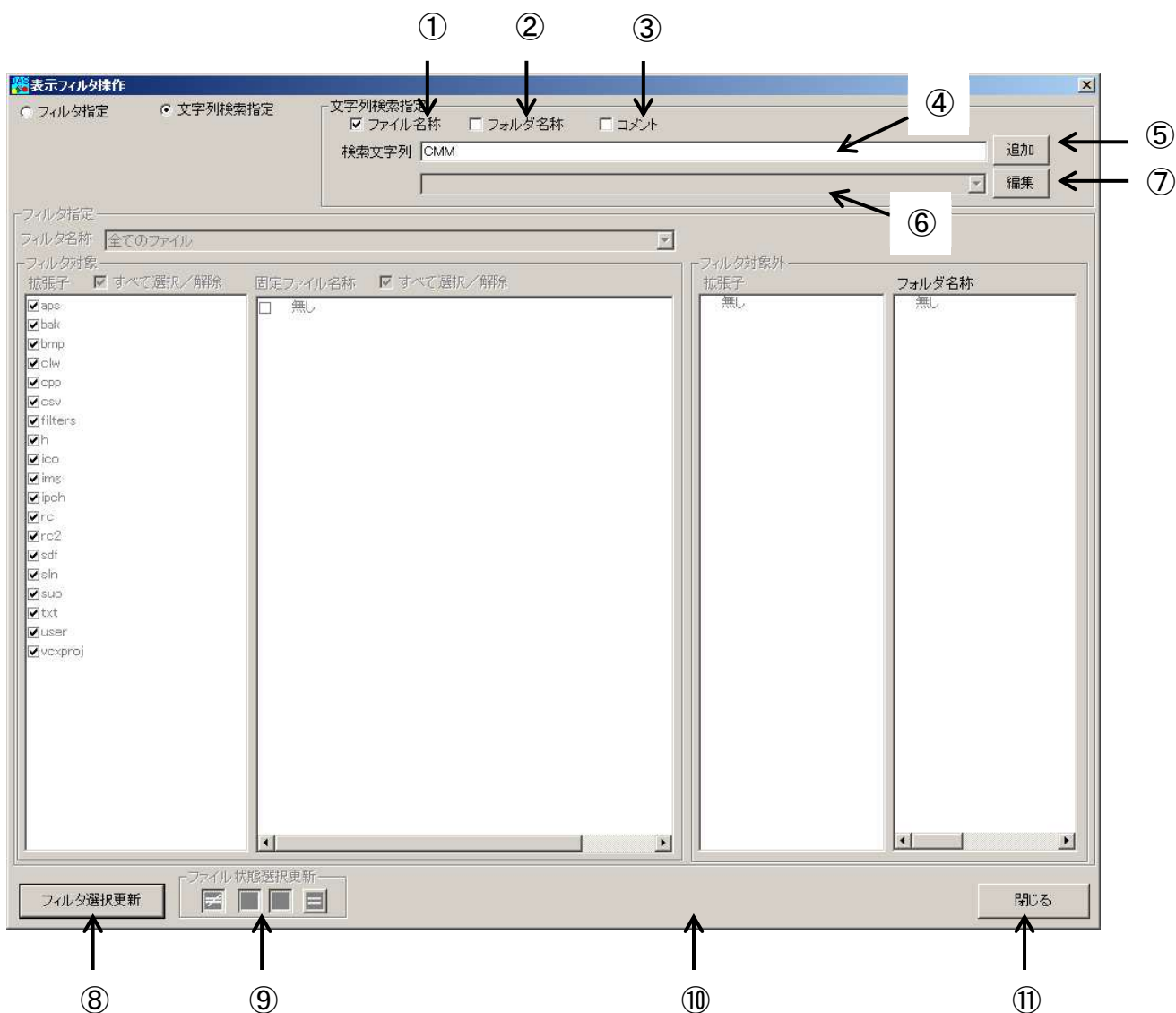
拡張子、または固定ファイル名称を選択して【ファイルリスト】の表示対象ファイルを更新します。




No.	名称	内容	備考
①	拡張子	表示対象とする拡張子を指定します。	
②	固定ファイル名称	表示対象とする固定ファイル名称を指定します。	
③	フィルタ選択更新	選択された①、②の条件でファイルリストを更新します。	
④		ファイル表示状態選択更新鈕に従って、【ファイルリスト】の表示対象ファイルを更新します。	
⑤	「閉じる」鈕	「閉じる」鈕をクリックすると、表示フィルタ操作ダイアログを閉じます。	

(2) 文字列検索指定

文字列検索指定(ファイル名称、フォルダ名称、コメント)に従って、検索文字列を検索し、条件に一致したファイルを表示対象とします。






No.	名称	内容	備考
①	「ファイル名称」チェック釦	【ファイルリスト】のファイル名称に検索文字列を含んでいれば、該当ファイルを表示対象とします。	
②	「フォルダ名称」チェック釦	【ファイルリスト】のフォルダ名称に検索文字列を含んでいれば、該当ファイルを表示対象とします。	
③	「コメント」チェック釦	【ファイルリスト】の修正コメントに検索文字列を含んでいれば、該当ファイルを表示対象とします。	
④	検索文字列入力テキスト	検索文字列を直接キー入力して指定します。	
⑤	「追加」釦	検索文字列入力テキストに指定した検索文字列を検索文字列コンボボックスに追加します。	
⑥	検索文字列コンボボックス	検索文字列コンボボックスから検索文字列を選択すると、検索文字列入力テキストに自動入力します。	
⑦	「編集」釦	「編集」釦をクリックすると、2.2.12 検索文字列リスト編集ダイアログを開きます。 検索文字列リスト編集ダイアログで、検索文字列コンボボックスをリスト編集できます。	
⑧	フィルタ選択更新	選択された①、②の条件でファイルリストを更新します。	
⑨		ファイル表示状態選択更新釦に従って、【ファイルリスト】の表示対象ファイルを更新します。	
⑩	「閉じる」釦	「閉じる」釦をクリックすると、表示フィルタ操作ダイアログを閉じます。	
⑪	「DAS.ini を開く」釦	「DAS.ini を開く」釦をクリックすると、3.1 初期値ファイル(DAS.ini)を開きます。	

2. 2. 12 検索文字列／コメント文字列リスト編集ダイアログ

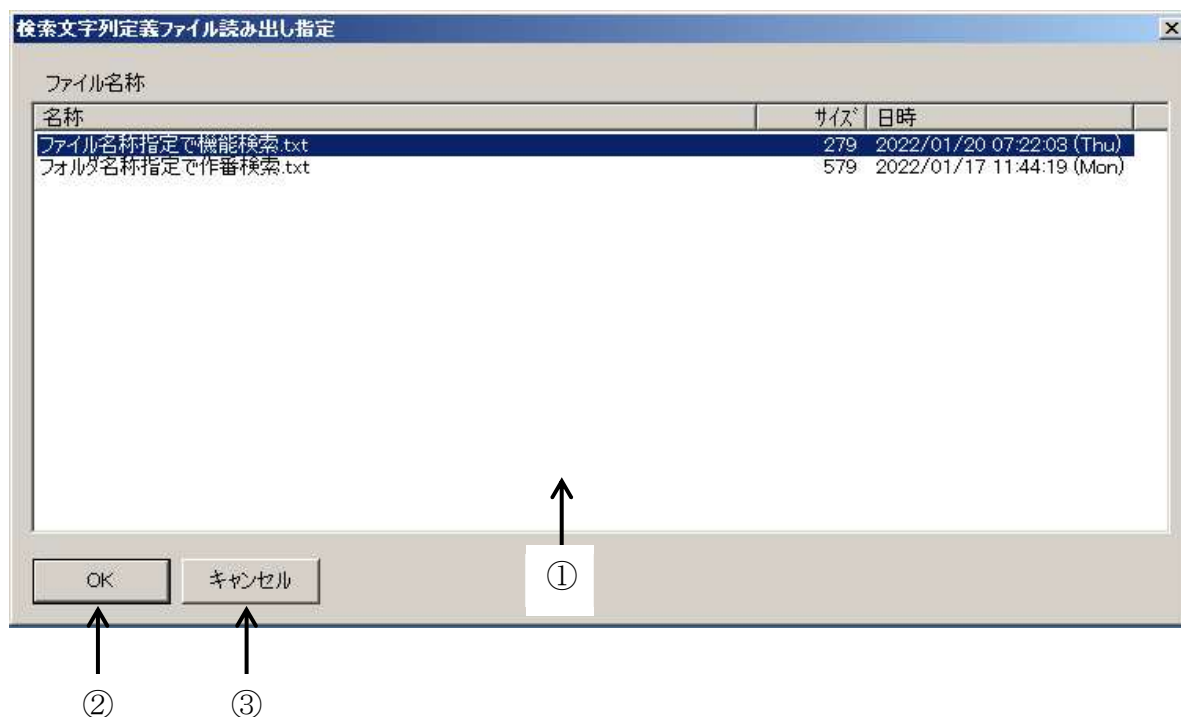
拡張子、または固定ファイル名称を選択してファイルリストをフィルタする。



No.	名称	内容	備考
①		選択行の検索文字列を一番上の行に移動します。	
②		選択行の検索文字列を1つ上の行に移動します。	
③		選択行の検索文字列を1つ下の行に移動します。	
④		選択行の検索文字列を一番下の行に移動します。	
⑤		選択行の検索文字列を削除します。	
⑥	検索文字列入力テキスト	追加する検索文字列を入力します。	
⑦	「追加」釦	選択行の次の行に検索文字列を追加します。	
⑧	「OK」釦	「OK」釦をクリックすると、検索文字列リスト編集ダイアログを閉じます。	
⑨	「読み出し」釦	「読み出し」釦をクリックすると、検索文字列定義ファイルを検索文字列リストに読み出します。	
⑩	「書き出し」釦	「書き出し」釦をクリックすると、検索文字列リストの検索文字列をファイル名称を指定して検索文字列定義ファイルとして書き出します。	
⑪	「ファイル開く」釦	「ファイル開く」釦をクリックすると、検索文字列定義ファイルをテキストファイルエディタで開きます。	
⑫	「フォルダ開く」釦	「フォルダ開く」釦をクリックすると、検索文字列定義ファイルの格納ディレクトリをファイルエクスプローラで開きます。	
⑬	「キャンセル」釦	「キャンセル」釦をクリックすると、検索文字列リスト編集ダイアログを閉じます。	

2. 2. 13 検索文字列／コメント文字列定義ファイル読み出し指定ダイアログ

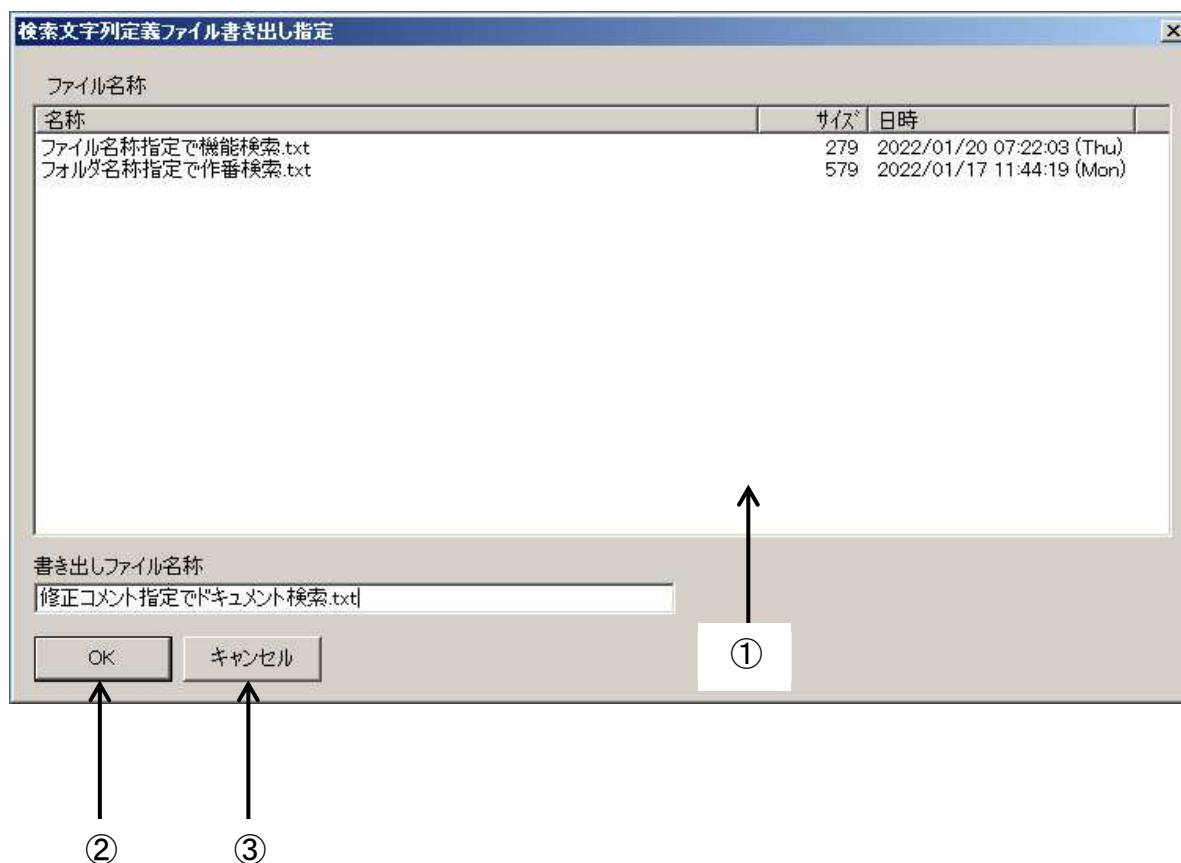
指定した検索文字列定義ファイルを検索文字列リストに読み出します。



No.	名称	内容	備考
①	ファイル名称リスト	読み出したい検索文字列定義ファイルを行選択します。	
②	「OK」釦	「OK」釦をクリックすると、ダイアログを閉じて、2.2.12 検索文字列編集ダイアログの検索文字列リストに登録し、ダイアログを閉じます。	
③	「キャンセル」釦	「キャンセル」釦をクリックすると、検索文字列定義ファイル読み出しダイアログを閉じます。	

2. 2. 14 検索文字列／コメント文字列定義ファイル書き出しダイアログ

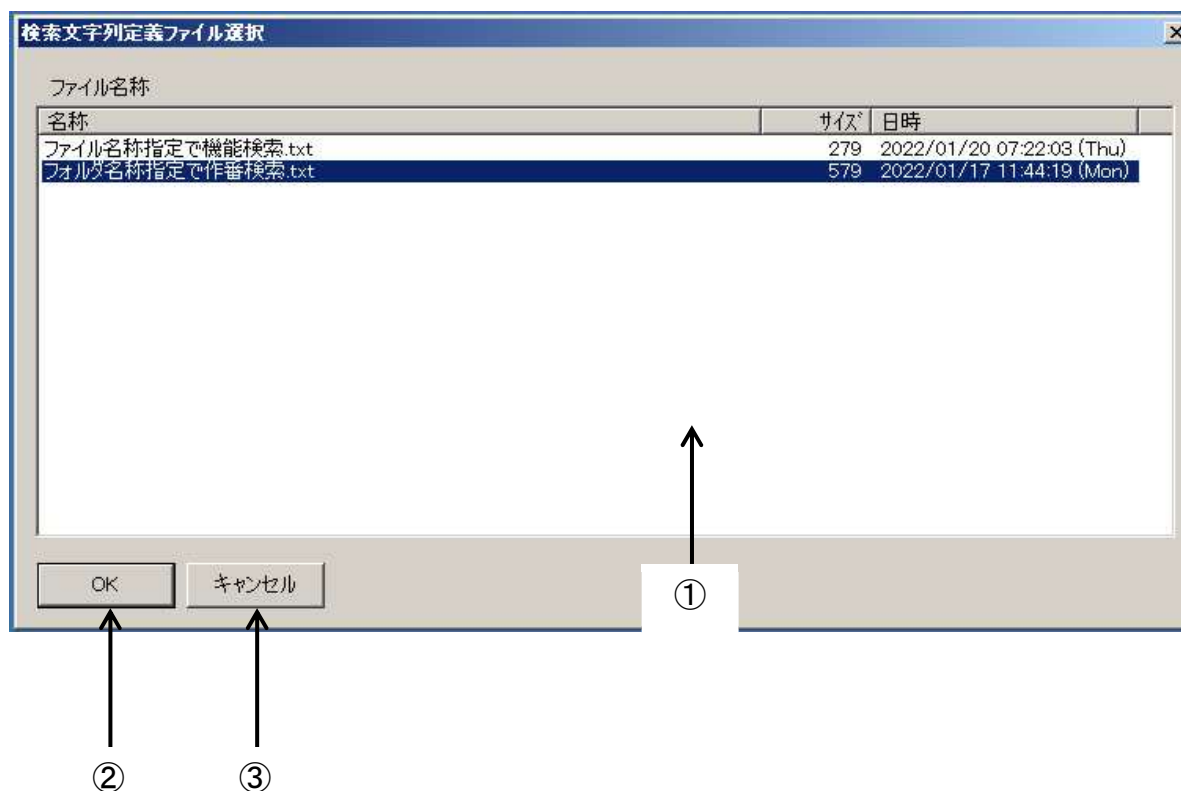
検索文字列リストの内容を指定した検索文字列定義ファイルに書き出します。



No.	名称	内容	備考
①	ファイル名称リスト	検索文字列定義ファイルを行選択すると、書き出しファイル名称入力テキストに自動入力します。	
②	「OK」釦	「OK」釦をクリックすると、書き出しファイル名称入力テキストに指定したファイルに検索文字列リストの定義を書込み、ダイアログを閉じます。	
③	「キャンセル」釦	「キャンセル」釦をクリックすると、検索文字列定義ファイル書き出しダイアログを閉じます。	

2. 2. 15 検索文字列／コメント文字列定義ファイル選択ダイアログ

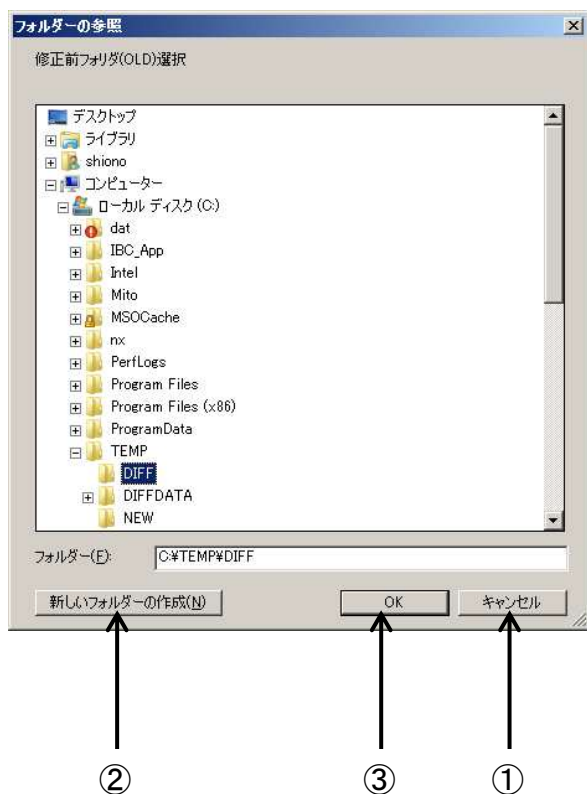
指定した検索文字列定義ファイルをテキストエディタで開きます。



No.	名称	内容	備考
①	ファイル名称リスト	テキストエディタで開く検索文字列定義ファイルを選択します。	
②	「OK」釦	「OK」釦をクリックすると、指定したファイル名称をテキストエディタで開き、ダイアログを閉じます。	
③	「キャンセル」釦	「キャンセル」釦をクリックすると、検索文字列定義ファイル選択ダイアログを閉じます。	

2. 2. 16 フォルダ選択ダイアログ(フォルダーの参照)

「フォルダ選択...」を選択すると下記のダイアログを表示します。



No.	名称	内容	備考
①	「OK」鈕	「OK」鈕をクリックすると、フォルダー(F)のテキストボックスに表示されているパスを選択します。	
②	「キャンセル」鈕	「キャンセル」鈕をクリックすると、フォルダ選択ダイアログを閉じます。	
②	「新しいフォルダーの作成(N)」	「新しいフォルダーの作成(N)」を選択すると、選択中のフォルダの下に「新しいフォルダー」という名称でフォルダを作成します。 そのままフォルダ名称を変更してください。 フォルダー(F)のテキストには、フォルダ名称の変更が反映されないため、一度、別フォルダを選択し、再度、作成したフォルダを選択するようにしてください。	

2. 2. 17 バージョン情報ダイアログ



No.	名称	内容	備考
①	「OK」釦	「OK」釦をクリックすると、開発者支援システムのバージョン情報ダイアログを閉じます。	

3. 定義

3.1 初期値ファイル(DAS.ini)の定義

DASシステムの初期値を定義するファイルです。

ここでは、初期値ファイルの定義方法について、説明します。

No.	指定項目	指定項目名称	指定内容
	[DAS]	セクション名称【固定】	セクション名称を指定します。
1	Command_Excel	CSV ファイルフルパス	CSV ファイルを開くプログラムへのフルパスを指定します。 デフォルト=指定無し:Windows シェルに従う
2	Command_NotePad	テキストファイルフルパス	テキストファイルプログラムへのフルパスを指定します。 デフォルト=C:\Windows¥notepad.exe
3	Command_Windiff	windiff コマンドフルパス	ファイル比較プログラム(1) (windiff コマンド) へのフルパスを設定します。 デフォルト=C:\Win32App¥DAS¥windiff.exe
4	Command_DF	DF コマンドフルパス	ファイル比較プログラム(2) (DF コマンド) へのフルパスを指定します。 デフォルト=C:\Win32App¥DAS¥DF.exe
5	Command_Diff	diff コマンドフルパス	ファイル比較プログラム(3) (diff コマンド) へのフルパスを指定します。 デフォルト=C:\Win32App¥DAS¥diff.exe
6	Command_Menu_Windiff	windiff コマンドメニュー文字列	ファイル比較プログラム(1)のメニュー文字列を指定します。 指定のない場合、デフォルト=" ファイル比較の DF コマンド表示"となります。
7	Command_Menu_DF	DF コマンドメニュー文字列	ファイル比較プログラム(2)のメニュー文字列を指定します。 指定のない場合、デフォルト="Windows SDK の windiff コマンド表示"となります。
8	Command_Menu_Diff	diff コマンドメニュー文字列	ファイル比較プログラム(3)のメニュー文字列を指定します。 指定のない場合、デフォルト=" UNIX の diff コマンド表示"となります。
9	Function_Default_mode	前回操作時機能選択の選択項目	前回操作時の機能選択の選択項目を格納します。 デフォルト=0 (=0:比較モード、=1:リストモード)
10	Radio_Default_ope_mode1	前回操作時操作選択の選択項目	前回操作時の比較モードの操作選択の選択項目を格納します。 デフォルト=1 (=1:ファイル比較プログラム(2) 表示 (windiff コマンド))
11	Radio_Default_ope_mode2	前回操作時操作選択の選択項目	前回操作時のリストモードの操作選択の選択項目を格納します。 デフォルト=1 (=4:既定のアプリ)
12	Default_Copy_Path	前回操作時の抽出先フォルダ	前回操作時の抽出先フォルダを格納します。 デフォルト= 特に無し
13	Default_Comment_String	デフォルトコメント文字列	デフォルトコメント文字列を指定します。 デフォルト="●"
14	StepCountMode	ソースステップ数カウントモード	ソースステップ数をカウントするかどうかを立上げ時のデフォルトとして指定する。 デフォルトは、ソースステップ数をカウントしない。(=0)です。 変更する場合は、ソースステップ数をカウントする。(=1)を指定します。 ユーティリティ(U) ーステップ数をカウント(N)の指定により、変更可能です。
15	Default_OldPath【比較モード】	前回操作時の比較フォルダ1(修正前: OLD)	新規ファイル作成時の比較フォルダ1(修正前: OLD)の初期値を指定します。
16	Default_NewPath【比較モード】	前回操作時の比較フォルダ2(修正後: NEW)	新規ファイル作成時の比較フォルダ2(修正後: NEW)の初期値を指定します。
17	Default_DiffPath【比較モード】	前回操作時の作業フォルダ(DIFF)	新規ファイル作成時の前回操作時の作業フォルダ(DIFF)の初期値を指定します。
18	Default_Comment【比較モード】	前回操作時のコメント	新規ファイル作成時のコメントの初期値を指定します。
19	Default_OldPath_list【リストモード】	前回操作時のリスト作成フォルダ(OLD)	新規ファイル作成時のリスト作成フォルダ(OLD)の初期値を指定します。

No.	指定項目	指定項目名称	指定内容															
20	Default_NewPath_list 【リストモード】	前回操作時のファイル抽出フォルダ (NEW)	新規ファイル作成時のファイル抽出フォルダ (NEW) の初期値を指定します。															
21	Default_DiffPath_list 【リストモード】	前回操作時の作業フォルダ (DIFF)	新規ファイル作成時の前回操作時の作業フォルダ (DIFF) の初期値を指定します。															
22	Default_Comment_list 【リストモード】	前回操作時のコメント	新規ファイル作成時のコメントの初期値を指定します。															
23	Extension_Kind	前回操作時の選択中のフィルタ	前回操作時の選択中のフィルタを格納します。															
24	Extension_Kind_001 から Extension_Kind_128	フィルタ名称の定義	フィルタ名称を定義します。															
	[フィルタ名称]	フィルタ名称	フィルタ名称に対するフィルタ定義をします。 以下フィルタの内容を指定します。 フィルタ名称をカンマで区切り複数指定すると指定したフィルタの抽出条件を組み合わせたフィルタとなります。 (例) [Visual C#,Visual Basic] Visual C# と Visual Basic の両方のフィルタ条件となります。															
25	Exclusive_Type_001 から Exclusive_Type_128	対象とする拡張子指定	ファイルのリストアップの対象となる拡張子を指定します。															
26	Fixed_Name_001 から Fixed_Name_064	対象外とする拡張子指定	ファイルのリストアップの対象としない拡張子を指定します。 obj ファイルなど抽出対象外としたい場合に指定します。															
27		対象とするファイル名称指定	ファイルのリストアップの対象とするファイルを指定します。 拡張子のないファイルは、この指定により抽出します。															
28	Exclusive_Dir_001 から Exclusive_Dir_128	対象外とするディレクトリ名称指定	リストアップの対象外とするディレクトリ名称を指定します。 .svn ディレクトリ(サブバージョン管理フォルダ)など抽出の対象外にしたいディレクトリを指定します。															
29	DefaultColWidth00_0 から DefaultColWidth00_4	比較モードの標準リストのカラム幅の記憶	【ファイルリスト】 <table><tr><th>ファイル名称</th><th>日付(OLD)</th><th>日付(NEW)</th><th>フォルダ名称</th><th>修正コメント</th></tr><tr><td>FileType_Select.dlg.cpp</td><td>2018/01/04 (Thu) 14:38:33</td><td>2018/01/25 (Thu) 08:30:48</td><td></td><td></td></tr><tr><td>FileType_Select.dlg.h</td><td>2018/01/04 (Thu) 14:38:32</td><td>削除された</td><td></td><td></td></tr></table> 上図のファイルリストのファイル名称、日付 (OLD)、日付 (NEW)、フォルダ名称、修正コメントのカラム幅を記憶します。	ファイル名称	日付(OLD)	日付(NEW)	フォルダ名称	修正コメント	FileType_Select.dlg.cpp	2018/01/04 (Thu) 14:38:33	2018/01/25 (Thu) 08:30:48			FileType_Select.dlg.h	2018/01/04 (Thu) 14:38:32	削除された		
ファイル名称	日付(OLD)	日付(NEW)	フォルダ名称	修正コメント														
FileType_Select.dlg.cpp	2018/01/04 (Thu) 14:38:33	2018/01/25 (Thu) 08:30:48																
FileType_Select.dlg.h	2018/01/04 (Thu) 14:38:32	削除された																
30	DefaultColWidth11_0 から DefaultColWidth11_1	比較モード、リストモードのコメントリストのカラム幅	【ファイルリスト】 <table><tr><th>ファイル名称</th><th>修正コメント</th></tr><tr><td>FileType_Select.dlg.cpp</td><td></td></tr><tr><td>FileType_Select.dlg.h</td><td></td></tr></table> 上図のファイルリストのファイル名称、修正コメントのカラム幅を記憶します。	ファイル名称	修正コメント	FileType_Select.dlg.cpp		FileType_Select.dlg.h										
ファイル名称	修正コメント																	
FileType_Select.dlg.cpp																		
FileType_Select.dlg.h																		
31	DefaultColWidth22_0 から DefaultColWidth22_3	リストモードの標準リストのカラム幅の記憶	【ファイルリスト】 <table><tr><th>ファイル名称</th><th>日付</th><th>フォルダ名称</th><th>修正コメント</th></tr><tr><td>FileType_Select.dlg.cpp</td><td>2018/01/04 (Thu) 14:38:33</td><td></td><td></td></tr><tr><td>FileType_Select.dlg.h</td><td>2018/01/04 (Thu) 14:38:32</td><td></td><td></td></tr></table> 上図のファイルリストのファイル名称、日付、フォルダ名称、修正コメントのカラム幅を記憶します。	ファイル名称	日付	フォルダ名称	修正コメント	FileType_Select.dlg.cpp	2018/01/04 (Thu) 14:38:33			FileType_Select.dlg.h	2018/01/04 (Thu) 14:38:32					
ファイル名称	日付	フォルダ名称	修正コメント															
FileType_Select.dlg.cpp	2018/01/04 (Thu) 14:38:33																	
FileType_Select.dlg.h	2018/01/04 (Thu) 14:38:32																	
32	DumpDefFileName	一括バイナリダンプ定義ファイル (1)	一括バイナリダンプ定義ファイルを定義します。 「2.2.9 バイナリダンプ指定表示ダイアログ」、「2.2.10 一括バイナリダンプ作成ダイアログ」で使用する定義ファイルです。															
33	Record_Header_FileInfo	レコード毎ヘッダ (ファイル)	レコード毎に付加するヘッダにファイルファイルダンプ位置情報を付加しない指示をします。 デフォルト=0 (=0:出力する、=1:出力しない) 詳細は、2.2.6 システム環境設定ダイアログ「表示&CSV 出力設定」を参照のこと。															
34	Record_Header_RecInfo	レコード毎ヘッダ (レコード)	レコード毎に付加するヘッダにレコード情報を付加しない指示をします。 デフォルト=0 (=0:出力する、=1:出力しない) 詳細は、2.2.6 システム環境設定ダイアログ「表示&CSV 出力設定」を参照のこと。															

3. 2 ソースステップ数カウント対象定義ファイル(DAS_TextStepDef.ini)の定義

ソースステップ数をカウントする拡張子、または、固定ファイル名称を指定します。

ここでは、初期値ファイルの定義方法について、説明します。
検索文字列定義ファイルは、SJIS コードで作成してください。

No.	指定項目	指定項目名称	指定内容
1	Extend_Type.TextStep_001 から Extend_Type.TextStep_128	拡張子	拡張子を指定します。
2	FixedFile.TextStep_001 から FixedFile.TextStep_128	固定ファイル名称	固定ファイル名称を指定します。

3. 3 検索文字列定義ファイル(任意.txt)の定義

検索文字列リストのシステムの初期値を定義するファイルです。

ここでは、初期値ファイルの定義方法について、説明します。
検索文字列定義ファイルは、SJIS コードで作成してください。

No.	指定項目	指定項目名称	指定内容
1	検索文字列	検索文字列	検索文字列を指定します。 No.2,No.3 は、無効行として扱われます。検索文字列として扱いません。
2	空行	改行のみの行	検索文字列は定義されていません。 無効行として扱われます。
3	先頭文字= #	コメント行	1文字目(#)は、コメント行として扱います。 無効行として扱われます。

3. 4 コメント文字列定義ファイル(任意.txt)の定義

コメント文字列リストのシステムの初期値を定義するファイルです。

ここでは、初期値ファイルの定義方法について、説明します。
コメント文字列定義ファイルは、SJIS コードで作成してください。

No.	指定項目	指定項目名称	指定内容
1	コメント文字列	コメント文字列	コメント文字列を指定します。 No.2,No.3 は、無効行として扱われます。コメント文字列として扱いません。
2	空行	改行のみの行	コメント文字列は定義されていません。 無効行として扱われます。
3	先頭文字= #	コメント行	1文字目(#)は、コメント行として扱います。 無効行として扱われます。

3.5 一括バイナリダンプ定義ファイル(一括バイナリダンプ定義.csv)の定義

一括バイナリダンプ定義ファイルの初期値を定義するファイルです。

一括バイナリダンプ定義ファイルの作成は、「一括バイナリダンプ定義.xls」EXCEL ファイルを使用してしてください。

(「3.3 一括バイナリ定義ファイル(一括バイナリダンプ定義.xls)」を参照のこと。)

ここでは、一括バイナリダンプ定義ファイルの定義方法について、説明します。

No.	指定項目	指定内容																
1	ダンプ定義種別	ダンプ定義種別を定義します。 例) プロジェクト名称等																
2	ダンプ定義種別詳細	ダンプ定義種別詳細を定義します。 例) プロジェクトのサブ項目等																
3	No.	No.を定義します。 例) プロジェクト内の一貫番号																
4	ダンプ指定	ダンプ指定(1, 2, 3)を行います。 <table><tr><th>ダンプ指定</th><th>表示項目</th><th>表示内容</th><th>指定 No.</th></tr><tr><td>=1</td><td>ファイル内</td><td>ファイル内ダンプ指定</td><td>5,6,(11)</td></tr><tr><td>=2</td><td>レコード</td><td>レコードダンプ指定</td><td>5,6,7,8,(11)</td></tr><tr><td>=3</td><td>レコード内</td><td>レコード内ダンプ指定</td><td>5,6,7,8,9,10,(11)</td></tr></table> (*1) (11)は、ダンプファイル名称が同じ場合にバイナリダンプファイルを識別するための番号です。 =0 を指定した場合は、ダンプファイル補助番号は使用されません。	ダンプ指定	表示項目	表示内容	指定 No.	=1	ファイル内	ファイル内ダンプ指定	5,6,(11)	=2	レコード	レコードダンプ指定	5,6,7,8,(11)	=3	レコード内	レコード内ダンプ指定	5,6,7,8,9,10,(11)
ダンプ指定	表示項目	表示内容	指定 No.															
=1	ファイル内	ファイル内ダンプ指定	5,6,(11)															
=2	レコード	レコードダンプ指定	5,6,7,8,(11)															
=3	レコード内	レコード内ダンプ指定	5,6,7,8,9,10,(11)															
5	ファイルダンプ開始位置	ファイルダンプ開始位置を指定します。																
6	ファイルダンプサイズ	ファイルダンプサイズを指定します。																
7	開始レコード番号	開始レコード番号を指定します。																
8	レコードサイズ	レコードサイズを指定します。																
9	レコード内ダンプ開始位置	レコード内ダンプ開始位置を指定します。																
10	レコードダンプサイズ	レコードダンプサイズを指定します。																
11	ダンプファイル補助番号	ダンプファイル補助番号(1～)を指定します。 ダンプファイル名称が同じ場合にバイナリダンプファイルを識別するための番号です。 =0 を指定した場合は、ダンプファイル補助番号は使用されません。																
	ダンプファイル名称	ダンプファイル名称を指定します。																
	コメント	ダンプ指定に対するコメントを指定します。																

3.6 一括バイナリダンプ定義ファイル作成(一括バイナリダンプ定義.xls)の定義

一括バイナリダンプ定義ファイルを作成するために使用するファイルです。
作成ファイル名称は、「一括バイナリダンプ定義ファイル名-ワークシート名.csv」となります。

ここでは、一括バイナリダンプ定義ファイルの定義方法について、説明します。

No.	ダンプ定義種別	No.	ダンプ定義	ファイル内ダンプ開始位置	ファイル内ダンプサイズ	ダンプ開始レコード番号	レコードサイズ	レコード内ダンプ開始位置	レコードダンプサイズ	ダンプファイル補助番号	ダンプファイル名称	コメント
1	A-site	1	3	128	0	1	80	0	80	0	A-FILE	ファイル内レコードダンプ
2	A-site	2	3	128	0	1	80	0	80	0	B-FILE	ファイル内レコードダンプ
3	A-site	3	3	128	0	1	80	0	80	0	C-FILE	ファイル内レコードダンプ
4	A-site	4	3	128	0	1	80	0	80	0	D-FILE	ファイル内レコードダンプ
5	A-site	5	3	128	0	1	80	0	80	0	E-FILE	ファイル内レコードダンプ

データの定義内容は、「3.3 一括バイナリダンプ定義ファイル(一括バイナリダンプ定義.csv)の定義」を参照してください。

3. 7 空フォルダ削除コマンド(DeleteEmptyDirectory.bat)

サイトフォルダを作成するためのバッチファイルです。

C:\¥Win32App¥DAS¥DeleteEmptyDirectory.bat ファイルを本ツールで抽出したフォルダの直下にファイルコピーします。

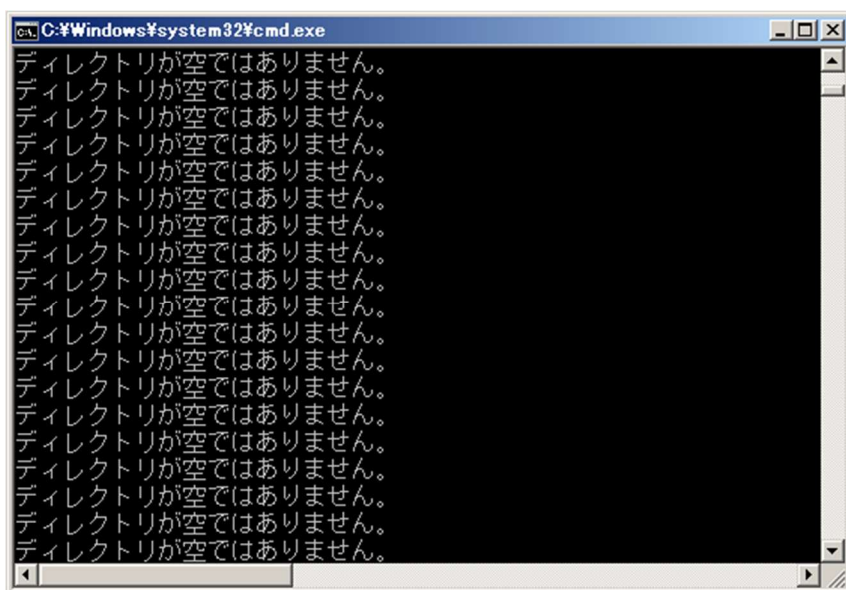
C:\¥Win32App¥DAS¥DeleteEmptyDirectory.bat ファイルを本ツールで抽出したフォルダの直下にファイルコピーします。

ファイルを本ツールで抽出したフォルダの直下にある DeleteEmptyDirectory.bat コマンドをダブルクリックして実行します。

本バッチファイルを実行すると、下記の通りコマンドプロンプトのウィンドウに「ディレクトリが空ではありません。」のメッセージを表示します。

このメッセージは、ディレクトリが空でない場合に表示されます。

空のディレクトリは、このメッセージが出力されずに削除されます。



バッチコマンドが終了すると、コマンドプロンプトのウィンドウは閉じます。

3. 8 修正コメント CSV ファイル(****-修正コメント.csv)

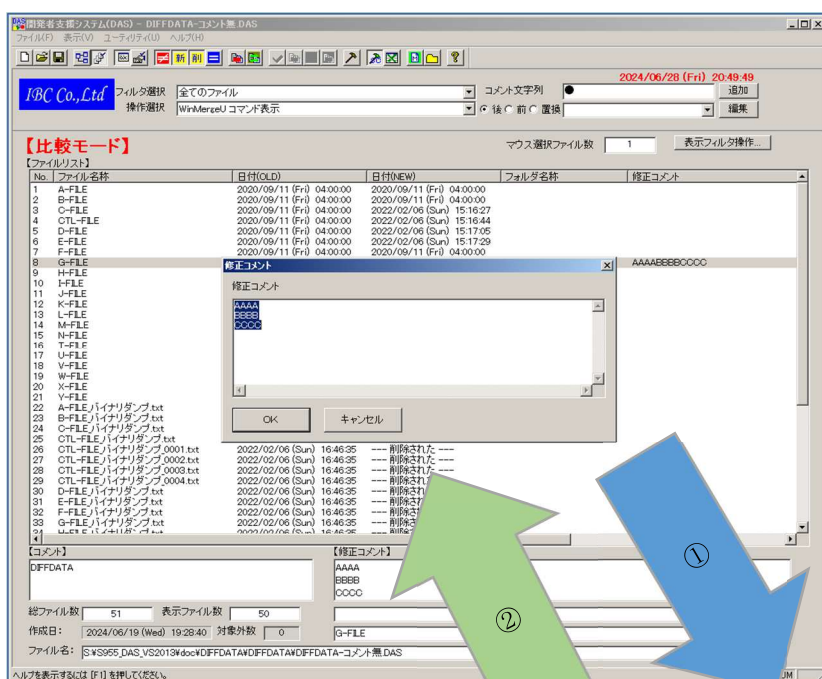
修正コメント CSV ファイルは、修正コメントとして設定したデータを CSV ファイルとして出力したものです。

「ファイル(F)」メニューの「修正コメント」書き出し(W)を選択すると、作業フォルダ(DIFF)で指定したパスの直下に CSV ファイルを作成します。ファイル名称は、D_A_S_cmt_temp.csv(固定名称)です。

作成したファイルは、EXCEL により表示しますので、修正コメント CSV ファイルとして任意の場所に名前を付けて保存してください。

保存したファイル名称の末尾は、'-修正コメント.csv'にしてください。

「ファイル(F)」メニューの「修正コメント」読み出し(R)を選択すると、保存した CSV ファイルを読み込むことができます。



修正コメント CSV ファイル(.csv)

フォルダ名称¥ファイル名称,AAAA,BBBB,CCCC

修正コメントの改行毎にカンマ(,)で置き換えます。

入力文字列にカンマ(,)を指定した場合、そのまま出力されます。

但し、読み出し時には、カンマ(,)毎に改行コードが埋め込まれ、「修正コメント」ダイアログに表示されます。

- ① 「修正コメント」書き出し(W)の時の変換
改行コード → カンマ(,) に変換
- ② 「修正コメント」読み出し(R)の時の変換
カンマ(,) → 改行コード に変換

(注) 「修正コメント」は、フォルダ名称¥ファイル名称 に対応するファイルが【ファイルリスト】に存在しない場合は、使用されません。修正コメントデータは存在します。

3. 9 修正コメントマージマクロシートファイル(修正コメントマージマクロシート(原本).xlsm)

修正コメントマージマクロシートファイルは、2つの修正コメント CSV ファイルとして出力したものをマージするため EXCEL ファイルです。

「修正コメントマージマクロシート(原本).xlsm」ファイルは、コピーして使用してください。

- ・ 「MASTER」シートと「TRANSACTION」シートに修正コメント CSV ファイルの内容を設定します。
- ・ 「シーとマージ実行」シートの「シートマージ実行」釦を押下すると、「MASTER」シートと「TRANSACTION」シートをマージして「MERGE」シートを作成します。

修正コメント CSV ファイル(.csv) — 「MASTER」シート

フォルダ名称¥ファイル名称, AAAA, BBBB, CCCC

↓

修正コメント CSV ファイル(.csv) — 「TRANSACTION」シート

フォルダ名称¥ファイル名称, XXXX, YYYY, ZZZZ

↓

修正コメント CSV ファイル(.csv) — 「MERGE」シート

フォルダ名称¥ファイル名称, AAAA, BBBB, CCCC, XXXX, YYYY, ZZZZ

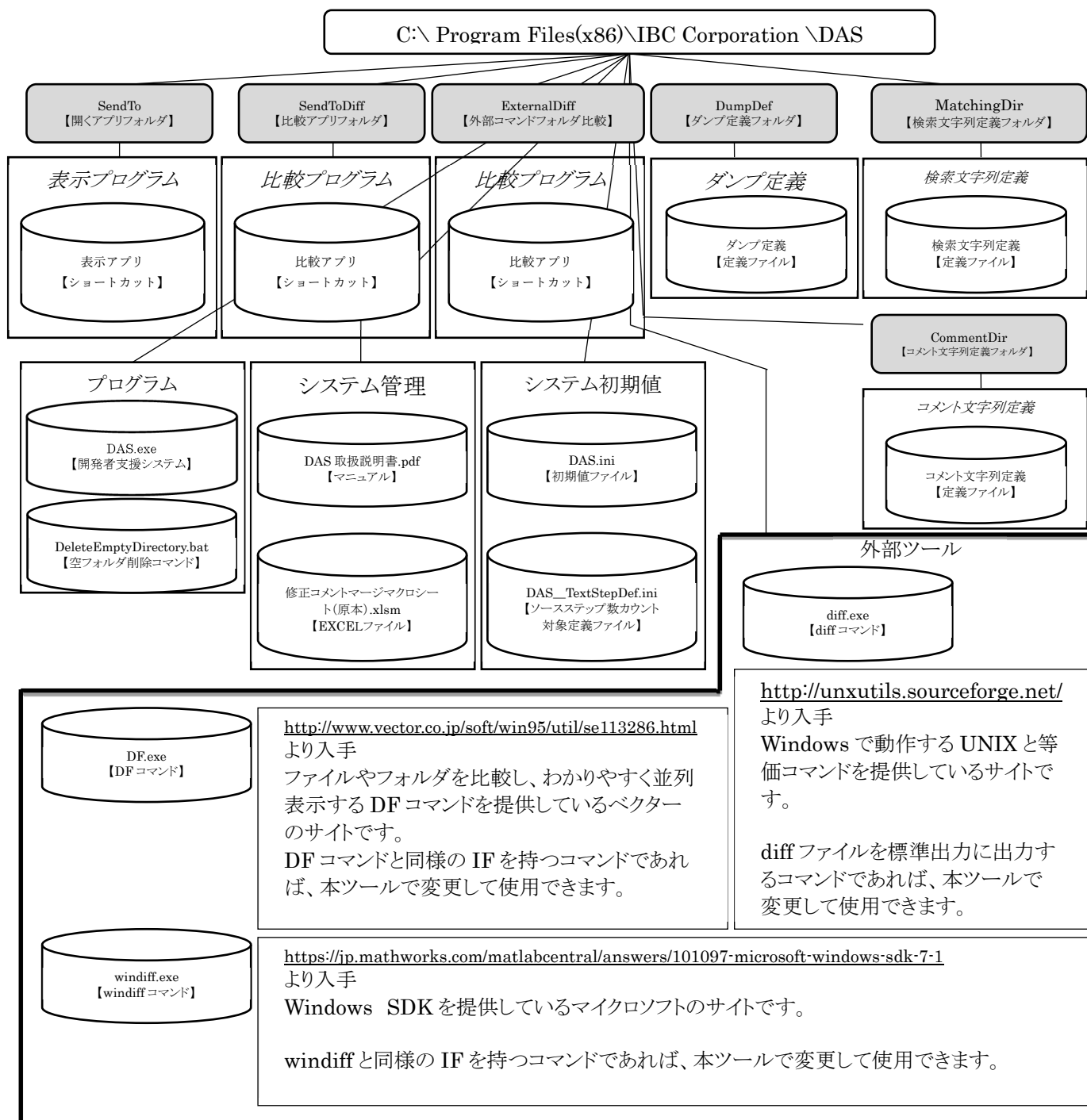
↓

4. ファイル／フォルダ構成

4.1 フォルダ構成

DAS のフォルダ構成は、下記の通りです。

DAS をインストールするディレクトリは、C:\Program Files(x86)\IBC Corporation\DAS (変更可)です。



※ WinMerge に変更して使用することもできます。

<http://www.geocities.co.jp/SiliconValley-SanJose/8165/winmerge.html>

より入手

WinMerge を提供しているサイトです。

4. 2 ファイル構成

DAS のファイルの一覧を下表に示す。

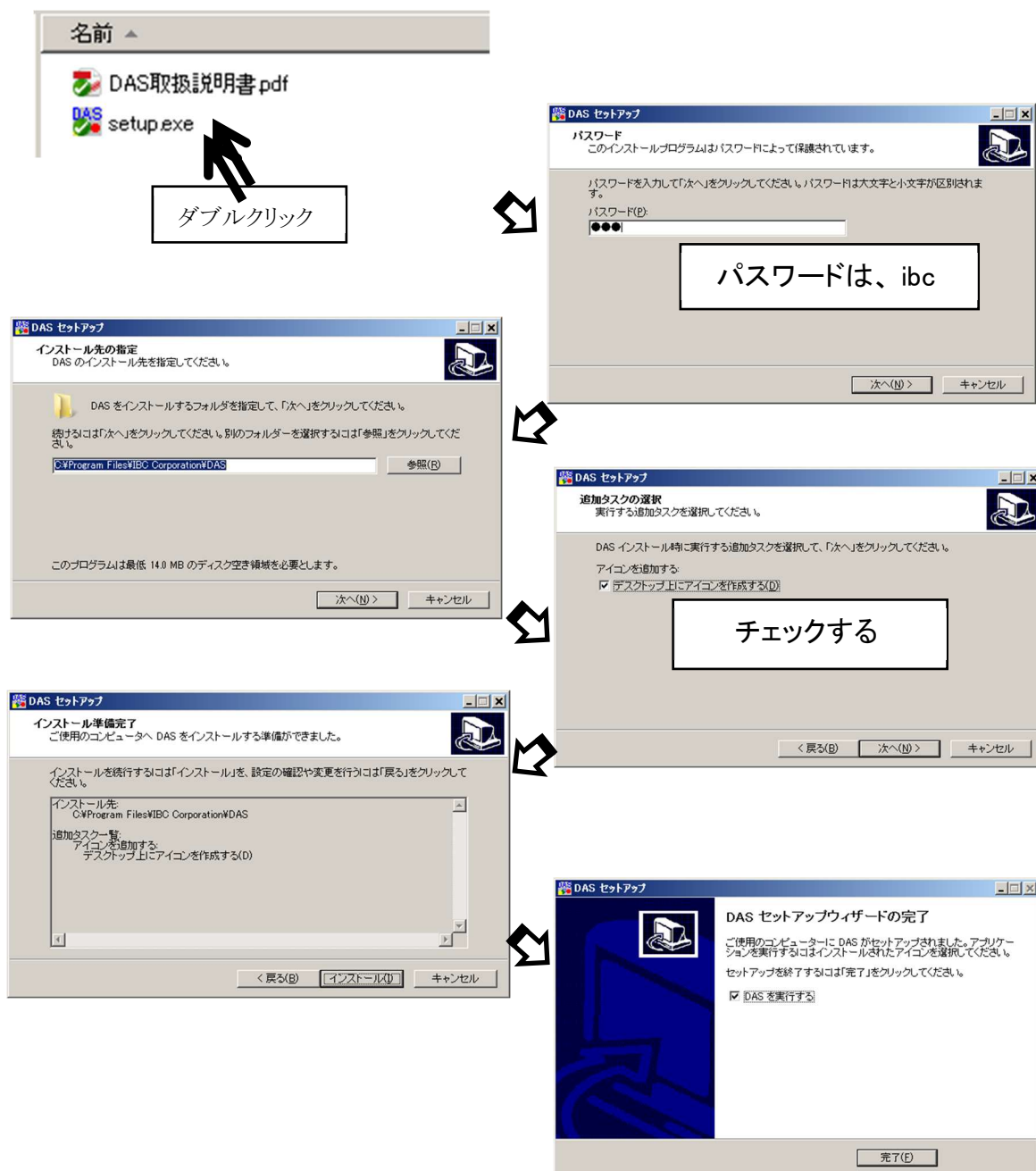
No.	ファイル	ファイル名称	ファイル内容
	C:\ Program Files(x86)\IBC Corporation \DAS	DAS フォルダ	
1	DAS.exe	開発者支援システム	開発者支援システムプログラム
2	DeleteEmptyDirectory.bat	空フォルダ削除コマンド	空フォルダ(ファイルの入っていないフォルダ)の 削除コマンド
3	DAS.ini	初期設定ファイル	
4	DAS_TextStepDef.ini	ソースステップ数カウント対象定 義ファイル	
5	DAS 取扱説明書.pdf	DAS 取扱説明書	
6	修正コメントマージマクロシート(原本).xlsm	修正コメントマージマクロ シートファイル	
	外部ツール		
7	diff.exe	diff コマンド	標準出力に差分を出力するコマンド
8	windiff.exe	windiff コマンド	GUI で差分を表示するコマンド
9	DF.exe	DF コマンド	GUI で差分を表示するコマンド
10	実行ファイル 【任意】	登録アプリ表示用の実行 プログラム	ショートカット、.exe ファイル、.bat ファイルなどを格 納

5. インストール方法

5.1 インストール概要

(1) DAS のインストール

DAS のインストールは、下記の手順で行います。



※ DAS プログラムのインストールはこれで完了です。

「(2) DAS のカスタマイズ」(次ページ)を行い、使用目的に従い、使いやすい環境を作ってください。

(2) DAS のカスタマイズ

(b)～(e)の登録フォルダは、2. 2. 1 比較モード、2. 2. 2 リストモードの操作画面の DAS システムフォルダのフォルダを開く釦で開くことができます。

(a) 「ユーティリティ(U)ーシステム環境設定(E)...」によるカスタマイズ

DAS で使用するプログラムの設定をしてください。

No.	項目	説明	参照項目
1	テキストエディタプログラム	【必須】 テキストファイルを表示する場合に使用するテキストエディタプログラムを指定します。	同上
2	ファイル比較プログラム(1)	デフォルトで DF コマンドを設定しています。 自分の好きな比較プログラムを指定できます。 メニューに表示する文字列も指定できます。	同上
3	ファイル比較プログラム(2)	デフォルトで windiff コマンドを設定しています。 ※ 【推奨】 WinMergeU プログラムをインストールし、設定ください。 自分の好きな比較プログラムを指定できます。 メニューに表示する文字列も指定できます。	同上
4	ファイル比較プログラム(3)	デフォルトで diff コマンドを設定しています。 結果を標準出力に出力するプログラムを指定できます。	同上
5	比較フォルダ1 比較フォルダ2 作業フォルダパス コメント	初期表示するフォルダパス、コメント文字列を指定できます。	2. 2. 6 システム環境設定ダイアログの初期設定タブ
6	差分フォルダの移動を支援	支援内容に対する説明は、P.50 の【説明】を参照してください。	同上

(b) SendTo フォルダへのショートカットの登録

ファイルを開くためのプログラムを SendTo フォルダに登録してください。

No.	項目	説明	参照項目
1	SendTo フォルダ	ファイルを開くためのプログラムのショートカットを登録します。 例えば、バイナリエディタのショートカットを登録しておけば、ファイルを開くときに登録したバイナリエディタのショートカットを指定できます。 ファイルリスト画面のファイルを選択し、右クリックするとメニューが表示されます。 リストモードの場合、(OLD) 送る :ファイルを開く 比較モードの場合、(OLD) 送る :ファイルを開く (NEW) 送る :ファイルを開く	2. 2. 1 比較モード 2. 2. 2 リストモード のファイルリスト画面 4. 1 フォルダ構成

(c) SendToDiff フォルダへのショートカットの登録

比較プログラムを SendToDiff フォルダに登録してください。

No.	項目	説明	参照項目
1	SendToDiff フォルダ	ファイル比較するためのプログラムのショートカットを登録します。 例えば、WinMergeU のショートカットを登録しておけば、ファイルを比較するときに登録した WinMergeU のショートカットを指定できます。 ファイルリスト画面のファイルを選択し、右クリックするとメニューが表示されます。OLD、NEW 両方にファイルが存在する場合に使用できます リストモードの場合、使用できません 比較モードの場合、(比較) 送る :ファイル比較 フォルダ(比較) :フォルダ比較 比較フォルダ(比較):フォルダ比較	2. 2. 1 比較モード 2. 2. 2 リストモード のファイルリスト画面 4. 1 フォルダ構成

(d) ExternalDiffフォルダへのショートカットの登録

比較プログラムを ExternalDiff フォルダに登録してください。

No.	項目	説明	参照項目
1	ExternalDiff フォルダ	<p>ファイル比較するためのプログラムのショートカットを登録します。</p> <p>例えば、WinMergeU のショートカットを登録しておけば、ファイルを比較するときに登録した WinMergeU のショートカットを指定できます。</p> <p>ファイルリスト画面のファイルを選択し、右クリックするとメニューが表示されます。OLD、NEW 両方にファイルが存在する場合に使用できます</p> <p>リストモードの場合、使用できません</p> <p>比較モードの場合、(比較)送る :ファイル比較 フォルダ(比較) :フォルダ比較 比較フォルダ(比較):フォルダ比較</p>	<p>2. 2. 1 比較モードの操作画面</p> <p>4. 1 フォルダ構成</p>

(e) CommentDirフォルダへのコメント文字定義ファイルを登録

ファイルリストにおいて、修正コメントに設定する文字列をあらかじめ作成しておくことができます。

あとで、使用時に登録してください。

No.	項目	説明	参照項目
1	CommentDirフォルダ	ファイルリスト画面において、修正コメントの入力を支援する機能です。	<p>2. 2. 1 比較モード</p> <p>2. 2. 2 リストモードのファイルリスト画面</p> <p>4. 1 フォルダ構成</p>

(f) MatchingDirフォルダへの検索文字列定義ファイルを登録

ファイルリストにおいて、ファイルを検索するための検索文字列をあらかじめ作成しておくことができます。

DAS でファイルリストを保存しておけば、DAS ファイルを開き、表示フィルタ操作の文字列検索指定により、簡単に目的のファイルを検索できるように設定しておくことができます。

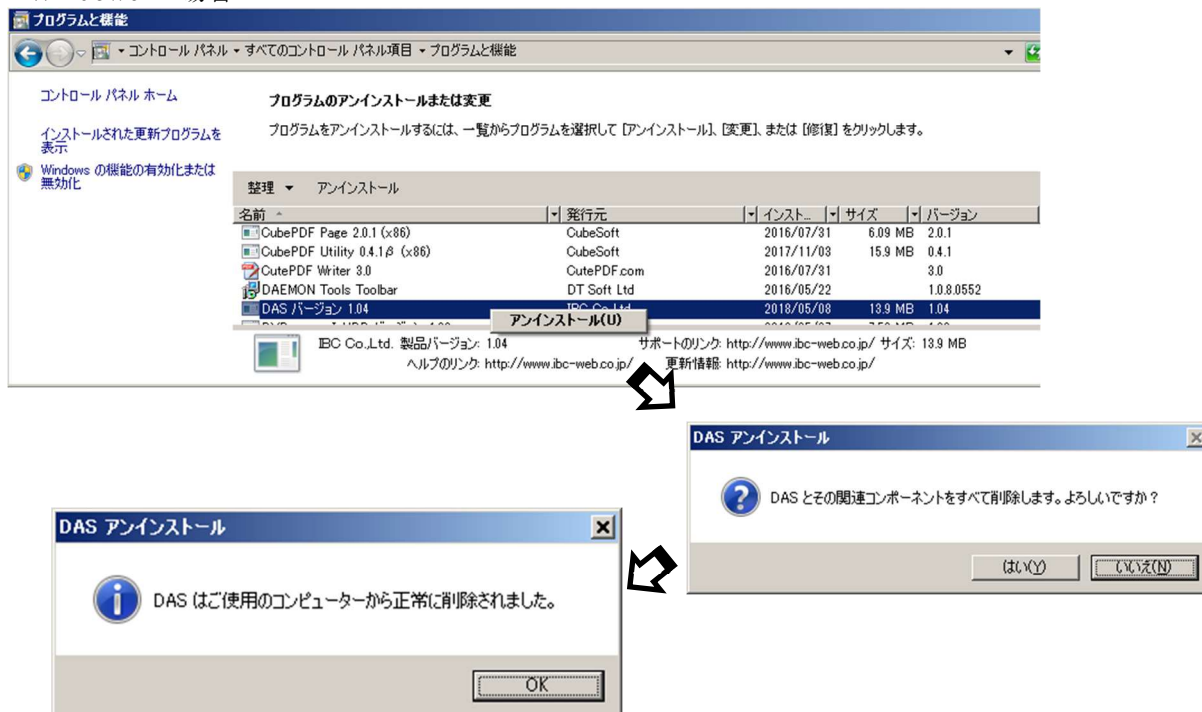
あとで、使用時に登録してください。

No.	項目	説明	参照項目
1	MatchingDirフォルダ	<p>ファイルリスト画面において、検索を支援する機能です。</p> <p>検索は、表示フィルタ操作鈕をクリックし、表示フィルタ操作ダイアログで行います。</p> <p>文字列検索は、ファイル名称、フォルダ名称、修正コメントに対して行うことができます。</p>	<p>2. 2. 1 比較モード</p> <p>2. 2. 2 リストモードのファイルリスト画面</p> <p>2. 2. 11 表示フィルタ操作ダイアログ</p> <p>4. 1 フォルダ構成</p>

5.2 アンインストール概要

DAS のアンインストールは、下記の手順で行います。

<Windows7の場合>



<Windows10の場合>



アンインストールをクリックすると
Windows7と同様に操作して
削除します。

6. 困った時の対処方法

No.	現象	対処方法	備考
1	CSV ファイルの作成を失敗する	ファイル一覧表などの一時ファイルを作成後し、ファイルを開いたまま再度、作成しようとした場合に発生します。 一度、名前を変えて保存してから、再操作ください。	
2	Windows 10 において DAS が文字化けする	システムドライブ:\Windows\System32\FNTCACHE.DAT を削除して Windows を再起動する。	
3	ツールに関する問い合わせ	下記のメールアドレスに問い合わせてください。 tom-shiono@ibc-web.co.jp	
4	拡張子(das)ファイルをファイルエクスプローラでダブルクリック実行すると「予期せぬファイル形式です。」というメッセージを表示して開けない。	DAS アプリケーションのファイルの関連付けが正しく設定されていない場合に発生します。 拡張子(das)のアプリとの関連付けを再設定してください。	
5	DAS Ver.1.18 以降のバージョンのソースステップ数カウント	DAS Ver.1.18 以降のバージョンにおいて、ソースステップ数は、指定がなければカウントしないようにしました。 ファイル情報作成時のリストアップ速度は、その分、高速化されています。	
6	フォルダ作成に失敗する	指定されたフォルダが存在しない場合もありますが、フォルダを作成する権限がない場合、フォルダ作成を失敗することがあります。 作成権限をフォルダに設定しておくようにしてください。	
7	ファイルが開けない、開こうとするとプログラムが終了してしまう	ファイルが開けない、開こうとするとプログラムが終了してしまう場合、DAS の新しいバージョンで作成したファイルを旧バージョンのプログラムでは開けません。 最新の DAS プログラムは、古いバージョンの DAS で作成したファイルを一度保存してから使用するようにしてください。	